

---

平成 15 年度  
兵庫教育大学大学院  
学位論文

論文題目

新学習指導要領をふまえた高等学校音楽科における授業研究  
生徒の日本音楽に対する意識調査と箏を用いた授業

主任指導教官            鈴木 寛  
兵庫教育大学大学院    学校教育研究科  
教科・領域教育専攻    芸術系コース(音楽)  
M02198A                 大串 和久

---

---

# 目 次

## 序論

はじめに.....	4
1 . 授業における日本音楽の取り扱いのあゆみ.....	5
2 . 授業における日本音楽の取り扱いの現状.....	6
3 . 日本音楽の捉え方；日常生活との関連.....	7
4 . 日本音楽の捉え方；日本らしさや心地よさとの関連.....	8
5 . 仮説.....	9
6 . 授業実践；和楽器「箏」の体験.....	9
7 . 本研究の2つの柱.....	9

## 調査・分析と授業実践

1 . 予備調査	
【1】調査目的.....	11
【2】調査対象・方法	
(1) 対象者.....	11
(2) 質問紙.....	11
(3) 調査の手続き.....	14
(4) 調査日程.....	14
(5) 回答方法・所要時間.....	14
(6) データ処理.....	14
(7) 結果と考察.....	15
2 . 本調査	
【1】調査目的.....	27
【2】調査対象・方法	
(1) 対象者.....	27
(2) 質問紙.....	28
(3) 音声・映像視聴曲.....	28
(4) 調査の手続き.....	36
(5) 調査日程.....	36

---

( 6 ) 回答方法・所要時間.....	36
【 3 】 分析	
( 1 ) データ処理.....	37
( 2 ) 結果と考察.....	39
( 3 ) まとめと反省.....	80
3 . 授業実践	
【 1 】 目的.....	81
【 2 】 方法と内容.....	81
【 3 】 授業の実際と考察.....	84
参考文献.....	99
資料	
謝辞	

---

# 序論

はじめに

- 1．授業における日本音楽の取り扱いのあゆみ
- 2．授業における日本音楽の取り扱いの現状
- 3．日本音楽の捉え方；日常生活との関連
- 4．日本音楽の捉え方；日本らしさや心地よさとの関連
- 5．仮説
- 6．授業実践；和楽器「箏」の体験
- 7．本研究の2つの柱

---

## はじめに

新教育課程の開始となり、「ゆとり」「こころの教育」が求められ、社会からも一層大きな期待が教育界へ寄せられている。高等学校新学習指導要領（＝以下、新指導要領）第2章第7節第1款<sup>1</sup>にある通り、高等学校（＝以下、高校）の芸術の授業を通じ、「生涯にわたり芸術を愛好し、感性を高め、豊かな情操を養う」には、芸術の「幅広い」活動の実践にあると考える。

これまでその「幅」を狭めてきた、或いはバランスを崩してきた原因の一つに「日本音楽<sup>2</sup>の取り扱い」があり、特に表現領域において顕著であった。明石要一は、海外の中・高校生たちとの交流の中で、日本を代表する演奏や踊りをなにひとつできなかった日本の子どもたちの姿から学校や地域に根付いた共通の体験活動の大切さを痛感している<sup>3</sup>。また池辺晋一郎は、多国籍の音楽家が集う懇親の場において日本の音楽家たち（作曲家をはじめとする西洋音楽の第一人者）が誰一人として日本音楽を披露できなかったこと、日本音楽が年末年始だけの定番という現状、教員養成や楽器の調達等の山積する問題点にふれながらも今回の新指導要領を歓迎する意向を伝えた<sup>4</sup>。これらは決してその子どもたちや音楽家といった当事者だけでなく、西洋音楽一辺倒の音楽人生を送ってきた自分自身や多くの音楽教育者にも共通する問題点として見逃せない事実であると思われる。

幸い、近年この指導要領改訂をふまえ、箏、和太鼓を中心に三味線、尺八、篠笛、三線、竜笛、箏、箏等雅楽の楽器まで広範囲にわたり、授業や指導者対象講習会で和楽器<sup>5</sup>が扱われるようになってきている。教育の場から外へ目を向けてみても、日本音楽と西洋音楽、さらにポピュラー音楽との融合も含めた若手の日本音楽演奏家によるマスメディアへの新たな発信が加わり、広い年齢層の耳が日本音楽に傾けられている。日本人でありながら和楽器にほとんど無縁であった時代からすれば、たいへん大きな変化といえよう。一方、学校現場では多くの音楽教師が日本音楽についての専門的な

---

<sup>1</sup> 文部科学省，1999『高等学校学習指導要領』

<sup>2</sup> 新指導要領では『我が国の伝統音楽』という表記を用いているが、本論文では以後『日本音楽』の表記を用い、新日本音楽、現代邦楽、ニューウェーブまでを含めることとする。ただし、『日本の伝統音楽』の表記を用いる場合は、新日本音楽、現代邦楽、ニューウェーブを含まない。

<sup>3</sup> 明石要一 2003.2.15 『今どきの子ども・アジア交流・表現できない日本らしさ』 日本経済新聞

<sup>4</sup> 池辺晋一郎 2001.2.7 『子供たちに邦楽を、教育の新しい試み』 読売新聞

<sup>5</sup> 本論文では、新指導要領「3 内容の取り扱い(4)」に使用されている『和楽器』と同義で用い、『邦楽器』という表記は用いないこととする。

---

知識や演奏の経験が乏しいことから、「和楽器の体験」だけがクローズアップされ、楽器の演奏のみに重点がおかれてしまう傾向や日本音楽の価値や特性について明快な認識を持たないままの指導になりがちで、日本音楽そのものの音楽性が軽視される傾向に対する危惧も指摘されている<sup>6</sup>。

自分自身にとっても芸術的活動の「幅」を広げるための良い機会が巡ってきたものと捉え、和楽器の演奏、日本音楽の歴史・特色等広く研究をすすめ、この2年間前向きに取り組んできた。これらをどのように授業で取り扱い伝えていったらよいかという現場での最優先課題をクリアしていくためには、そもそも受け手側の生徒たちは日本音楽をどう捉えているのか、彼らが日本音楽から遠ざかる憂慮があるとすればその理由は何なのかまでを掘り下げていく必要があると考える。日常生活・衣食住のあらゆるところで文化の西洋化がすすみ、家庭内はもちろん、教育の場においても幼少時から耳にする音楽のほとんどが「西洋音楽」が基本である今日、生徒たちの実態と日本音楽との関連を探ることで、今後の取り組みへの方向性が見出せることとなるであろう。日本音楽を重視するあまり逆にバランスを欠くことの無いよう、適正な「芸術的活動の『幅広い』実践」へむけ検証したい。

## 1 . 授業における日本音楽の取り扱いのあゆみ

日本音楽の取り扱いの現状を探る前に、まずは自分自身も含め何故西洋音楽中心の音楽環境に育ってきたのかを、日本の音楽教育の略史<sup>7</sup>に基づき簡単に確認する。明治の唱歌教育は、西洋音楽の積極的な導入をすすめる「官」を主導として生まれ、明治後期から「民」が主体となる大正にかけ、新たな欧米からの思想を受け、唱歌教育から音楽教育への脱皮の兆しがみられる。童謡運動を経て、やがて昭和の軍国主義と国民学校の音楽、戦後の教育改革へと進み、教科書は国定から検定へと移行していく。昭和22年、占領軍指示により学習指導案が発行され、昭和33年、指導要領改訂により日本音楽が共通教材として取り入れられる。民間教育団体の、わらべうたから出発

---

<sup>6</sup> 望月由美子 2003 「音色特性を重視した日本音楽の指導」平成14年度上越教育大・大学院学校教育研究科学位論文

<sup>7</sup> 中等科音楽教育研究会(編) 2000 「第3部 資料編 . 音楽教育の歩み」『中等科音楽教育法 中学校・高等学校教員養成課程用』音楽之友社

---

する音楽教育が提唱されたのもこのころである。現在の新教育課程に至るまで、国際化が教育界にも叫ばれ、日本音楽指導についても徐々に強調されてきた。今回の改定は、これまでの柔軟な表現から一転、「扱うようにする」と明記され、学校教育における日本音楽の位置が確立されたといえよう。テキストに含まれる量も増加、指導者向け講習会も盛んに行われ活況を呈しているのが昨今の現状である。

## 2. 授業における日本音楽の取り扱いの現状

京都府立須知高等学校の竹内好宏が平成 15 年 9 月に府下 10 校（普通科）に実施したアンケートによると、日本音楽の指導については 6 校が実施、実施していない 4 校の理由の一つに生徒の不人気を挙げている<sup>8</sup>。また、日本音楽を授業に取り入れた実践例・研究発表等は、中学校に比べ高校の方が総じて少ない。雑誌『教育音楽』中学・高校版<sup>9</sup>で取り上げたその数は 2001 年 4 月～2003 年 6 月の中で、中学校 70 に対して高等学校 32 と半数にも満たない<sup>10</sup>。

これは、高校では中学校よりも 1 年新課程開始が遅れたことが一因として挙げられる。2003 年 4 月から高校でも実践が始まったことで今後は日本音楽をテーマにした公開授業や研究会がより多く催され、成果や問題点について活発に論じられることとなる。しかし、むしろ、多くの場合 1 校 1 人が原則で、中学校のように複数名が同じ「音楽」の授業を担当する場合に起こる「進度を揃える」「内容を統一する」等の制約に縛られないことが大きな理由であると考えられる。良い意味で、指導要領に対して神経質にこだわることなく、むしろ教員独自の専門性を生かした個性豊かで活発な授業展開が実施しやすい環境にあるわけだが、反面、自分自身がそうであるように音楽人生において全くと言っていいほど日本音楽に触れてこなかった場合、授業でのその扱いが希少になる懸念がある。幼少時から浴びるほど聴き徹底して腕を磨いてきた西洋音楽と同様に、今から日本音楽の研鑽を積み、西洋音楽とは異なる日本音楽の良さを、まずは教師自身が感じ取ること　これが授業への取り組みの第一歩であると考

---

<sup>8</sup> 竹内好宏，2003 『インタラクティブ演奏ツールと邦楽演奏教育への応用』兵庫教育大学音楽教育学会平成 15 年度研究大会

<sup>9</sup> 音楽之友社

<sup>10</sup> あくまでも授業（総合的な学習の時間を含む）に限定し放課後の部活動に関わる報告・発表は含まれていない。発表者・所属等一覧表は参考文献 p.102-p.103 に掲載。

---

---

える。

この第一歩を踏み込んだうえで、新指導要領に示す「音楽 2 内容 A 表現 (2) 器楽」に着目し具体的な授業展開を考えてみる。西洋音楽の演奏が、例えばピアノのように、その楽器の特色を最も表現しやすい「本物」の楽器で行なわれているのと同様に、日本音楽も代替楽器や簡易楽器ではない「本物」を用いて行なわれるのが理想であろう。しかし、現場では予算面の問題があり完備はもちろん、部分的な用意も簡単には実現できない。寄付に頼り、学校間で賃借しあう等苦慮しているのが現実である。また、折角用意できた和太鼓の大音響が他教科の授業進行を妨げる事態や、密集した近隣住宅からの苦情を気にしながらの演習は新たな問題点でもある。

このように様々な問題を抱えての「日本音楽を扱った授業」について、受け手側の高校生は果たしてどう思っているのだろうか。

### 3 . 日本音楽の捉え方 ; 日常生活との関連

澤口俊之は、音楽的知性を含める多重知性の発達について、「60%程度の遺伝と環境要因による可塑的変容、特に幼少期の著しさ」「適切な環境の重要性」を強調している<sup>11</sup>。また、R.T.C.プラットは「音楽的才能の遺伝」<sup>12</sup>の中で、J.フリーマンが「家庭環境や両親の態度が子どもの音楽や芸術の才能の発達に重大な影響を及ぼすことを数多くの研究で明示している」<sup>13</sup>と述べている。幼少時または現時点における当事者の環境が、日本音楽の捉え方や意思決定になんらかの関連を示すだろうか。まずは、環境の中から日常生活における『和』と『洋』<sup>14</sup>に着目してみる。

日本では衣食住の殆どが西洋化されている中、「衣」に関しては正月初詣・成人式・夏の浴衣姿が年間に僅かながらも若年層に「和服」を結びつけていたが、近年、和風ブランドという言葉が示すように 20~30 歳代の日本文化回帰が消費行動に現れてきている。この行動の背景には「和み」を求める心理があり、伝統を素直に味わう傾向にあるとされ、今後「和」を見直す動きが生活全般に広がり英国のタータンチェック

---

<sup>11</sup> 澤口俊之, 1999 『幼児教育と脳』文藝春秋

<sup>12</sup> Pratt.R.T.C. 1987 「音楽的才能の遺伝」『音楽と脳』サイエンス社

<sup>13</sup> Freeman.J. 1974 Musical and artistic talent in children. Psychology of Music,2-1,1

<sup>14</sup> 『和』は広義に「日本」を、『洋』は広義に「西洋」を意味するものとする。



---

のように世界に認知されるモチーフとなり得る、としている<sup>15</sup>。10代の高校生にはこの「日本文化回帰」的傾向が及んでいるのか、そしてその実態と日本音楽に対する接し方に関連はあるのだろうか。

「食」では和食ブームが注目を集め、和の食材を用いたイタリア料理、海外の食材を用いた和食が脚光を浴びてはいるものの、純粋な日本料理とは趣を異にする。昨今の健康ブームとも相まって、和の食材や調理法が海外でも話題になり逆輸入される例もあるくらいである。永山久夫は、和食は身体によいだけなのではなく、心のなごやかさにも関係があると力説する<sup>16</sup>。また、摂取の実態について青木尚美らは、医大生対象の食生活調査において、朝食は和食と洋食ほぼ同数であったが昼食・夕食は男女とも圧倒的に和食が多かったと報告している。「衣」と同様に高校生の「食」の実態と日本音楽への接し方に関連はあるのだろうか。

「住」については、眞木内隆らによると、住宅産業の台頭により、需要者の意向・要求に従い、洋風の居間、ダイニングキッチン、和室、個室という間取りが支配的となり、地方都市でも中央文化の影響を受け、洋室の普及、個室・居間の確保がなされ、座敷の排斥論とは逆行して続き間座敷は戦前以上に規模が拡大した<sup>17</sup>。一方、多村正則は生活に対する意識について、その変化傾向を需要動向調査より建具との関連で検討し、住生活意識の変化では和室指向の減少と洋室指向の増加が顕著であると指摘している<sup>18</sup>。日々の生活の場に関して、和・洋の違いに対し高校生がどれだけ意識しているか、そのことと日本音楽の捉え方に関連はあるのだろうか。

#### 4．日本音楽の捉え方；日本らしさや心地よさとの関連

津軽三味線、和太鼓そして三線を始めとした沖縄ブーム等、その興味関心の矛先を「和」へ向ける傾向がでてきている。ただ、マスメディアの煽りからつくりあげられた一過性のブームという憂慮（熱しやすく冷めやすい）も現段階では否定できず、真の意味で日常に定着するかどうかは未だ不明である。そもそも高校生は、どのような

---

<sup>15</sup> 日本経済新聞〔編〕 2003.1.18

<sup>16</sup> 永山久夫 2002.11.14 講演『和食はこころを豊かにする』岐阜県 県民文化ホール未来会館

<sup>17</sup> 眞木内隆／細田恵美，2001『日本の住宅・住環境における今後の課題』中央大学商学部 2001年度卒業論文

<sup>18</sup> 多村正則 1999.3.19『建具の支援事業について』石川県田鶴浜町農村環境改善センター

---

---

音楽に対して日本らしさというものを感じているのだろうか。また、日本音楽を視聴して心地よいと感じるのだろうか。日本音楽の受け入れ易さのきっかけが、その音楽の日本らしさや心地よさと関連があるならば、今後の取り扱い曲の選曲、編曲時に活かされるのではないだろうか。

## 5 . 仮説

以上の点から、3つの仮説を立て検証する。

仮説1 日本音楽に対する生徒の志向は、日常生活及び音楽環境やそれらに付随する意見と関連がある。

仮説2 生徒がより「日本らしさ」を感じるのは、日本の伝統音楽だけとは限らない。

仮説3 生徒がより「日本らしさ」を感じる演奏は、視聴して心地よい。

## 6 . 授業実践；和楽器「箏」の体験

授業における日本音楽の取り組みに関して、箏に偏る傾向を指摘する声もあがっているが、利点が多いからこそ多く採用されているのであり、今後のさらなる普及の可能性も多く含まれることから、あえて箏に絞り、実体験を通して日本音楽の特徴にふれさせ、生徒にとっての日本音楽導入の足がかりとしたい。

## 7 . 本研究の2つの柱

本研究は、上記3つの仮説を、質問紙により調査・検証するとともに、実際に授業

---

---

で箏を用いて日本音楽に親しむ機会の提供に役立つ工夫を検討・実践することにある。

## 調査・分析と授業実践

- 1 . 予備調査
- 2 . 本調査
- 3 . 授業実践

- 箏を用いた授業

---

# 1 . 予備調査

## 【1】 調査目的

高校の新指導要領「音楽」の授業の中で日本音楽を取り扱う(題材名「和楽器『箏』の体験」)にあたり、高校生の音楽経験の実態とともに、衣食住における「和」との関わり、日本音楽との関わり・意識等について調査することを目的とする。西洋化の進んだ日常生活並びに小・中学校を旧課程ですごしてきた現高校生が、和の生活や日本音楽をどう捉えているか、また学校外においてどのように関わりをもっているか、今後の和楽器の演奏に対してどの程度の興味・関心を抱いているか、等を質問項目 50 問、基礎データ項目 3 問で構成した。

## 【2】 調査対象・方法

### (1) 対象者

後述する本調査対象者は新課程受講者、すなわち平成 15 年度の「音楽」授業の中で「和楽器『箏』の体験」を受講する高校生(原則として1年次生)である。本調査実施校全7校のうち2校を予備調査対象校として同一校で実施するため、予備調査は「音楽」以外の受講者である音楽・選択者(2年次生あるいは3年次生)合計163名を被験者として本研究に参加してもらった。内訳は表1のとおりである。

表1 被験者数

学校名(順不同)	学年	男子数	女子数	合計数
埼玉県立鴻巣女子高等学校	2	0	13	13
	3	0	24	24
兵庫県立夢野台高等学校	2	49	77	126
	合計	49	114	163

### (2) 質問紙

まず基礎データとして、性別、学年、音楽経験(学校外でのレッスン)の計3項目を質問し、日常生活や学校内外での日本音楽体験の実態把握とともにどのような

意見をもっているか、以下の通りカテゴリーを分類し、質問紙<sup>19</sup>を作成した。なお、項目名は表2の通りである。

ア 「和」にかかわる実態（計15項目）

(ア) 生活実態（6項目）；衣食住に関わる日常生活の実態

(イ) 音楽環境（4項目）；日本音楽の経験や家庭における音楽環境

(ウ) 鑑賞教材（5項目）；小中学校（旧課程）共通鑑賞及び表現教材の中から

イ 「和」に対する意見（計35項目）

(ア) 生活（11項目）；衣食住に関わる日常生活に対する意見

(イ) 鑑賞（10項目）；音響・映像や音楽の鑑賞に対する意見

(ウ) 伝統・郷土（7項目）；日本音楽や郷土の伝統芸能に対する意見

(エ) 演奏（7項目）；日本音楽を演奏することに対する意見

表2 日本の伝統音楽に関するアンケート 項目一覧

\* 上記ア(ア)～イ(エ)の順に掲載。出題順とは一部異なる。

種別	項目名	C. 「和」にかかわる実態（行動・実状項目）
生活実態	朝食実態	01) 平日の朝食は主に和食を食べる（*学期中=登校日の平日）
"	昼食実態	02) 休日の昼食は主に和食を食べる
"	衣服実態	03) 日本の祭りや花火大会には浴衣・甚平等の和装をして出かけることが多い
"	ドラマ	04) テレビドラマは時代劇よりも現代ものをみる
"	上履	05) 宿泊施設が（自らの選択の有無にかかわらず）洋室タイプであった場合、室内ではスリッパに履き替える
"	入浴実態	06) 宿泊先の部屋風呂がシャワーのみなら大浴場に行って湯船につかる
音楽環境	機会僅少	07) 日頃、日本音楽に親しむ機会がない
"	身内	08) 自分の身内に日本音楽の愛好者がいる
"	幼少記憶	09) 幼少時に自宅で、または近所で日本音楽（の音色）が聞こえていた記憶がある
"	所持	10) 自宅に、自分が自由に扱える和楽器がある
鑑賞教材	春の海	11) 箏と尺八の曲「春の海」をよくおぼえている
"	六段	12) 箏曲「六段の調べ」をよくおぼえている
"	越天楽	13) 雅楽「越天楽(えてんらく)」をよくおぼえている
"	勸進帳	14) 長唄「勸進帳(かんじんちょう)」をよくおぼえている
"	鹿の遠音	15) 尺八本曲「鹿の遠音(とおね)」をよくおぼえている

<sup>19</sup> 予備調査質問紙は巻末資料1-1を参照

種別	項目名	D. 「和」に対する意見 (意見項目)
生活	朝食	01) 平日の朝食は和食の方が好きだ (*学期中=登校日の平日)
"	昼食	02) 休日の昼食は和食の方が好きだ
"	衣服	03) 帰宅後や休日の服装は、和装の方が好きだ
"	入浴	04) 入浴に関して、シャワーだけよりは浴槽につかるほうが好きだ
"	デザート	08) 3時のおやつ、といえば和菓子よりもケーキだ
"	飲料	09) お茶の時間、といえば日本茶よりもコーヒー・紅茶だ
"	居住	12) 日常生活では和室にいるより洋間で生活する方が好きだ
"	宿泊予約	13) 宿泊施設を自ら予約できるとしたら、和室タイプを予約する
"	宿泊夕食	14) 宿泊先で夕食を選べるなら、和食にする
"	宿泊朝食	15) 宿泊先で朝食を選べるなら、和食にする
"	旅行	16) 旅行券をプレゼントされるなら、国内旅行より海外旅行だ
鑑賞	映画	05) 映画を見るなら邦画だ
"	時代劇・映像	06) 日本の時代劇で、背景に自動車が走っていたら違和感を感じる
"	時代劇・BGM	07) 日本の時代劇で、BGMにオーケストラの音楽が流れていたら違和感を感じる
"	和食店	10) 和食のレストランで、BGMに西洋音楽が流れていたら違和感を感じる
"	レストラン	11) 洋食のレストランで、BGMに日本音楽が流れていたら違和感を感じる
"	有料演奏	31) 入場料を支払ってでも聴きたい日本音楽(の演奏会)がある
"	洋風アレンジ	32) 和楽器で西洋音楽の楽曲を演奏する(例えば箏で「美女と野獣」を演奏することには違和感を感じる)
"	和風アレンジ	33) 西洋(音楽を奏でる)楽器で日本音楽の楽曲を演奏する(例えばピアノで「六段の調べ」を演奏することには違和感を感じる)
"	英訳	34) 日本人作詞・作曲の楽曲、例えば「ふるさと」を英語の歌詞で歌うのには違和感を感じる
"	和訳	35) 外国人作詞・作曲の楽曲、例えば「カントリーロード」を日本語の歌詞で歌うのには違和感を感じる
伝統・郷土	日本音楽・鑑賞	17) 日本音楽を鑑賞することは好きだ
"	演奏世代	18) 日本音楽は若い世代が演じるものではない
"	堅苦しさ	19) 日本音楽は堅苦しい
"	疎遠	20) 日本音楽には親しみがもてない
"	癒し	21) 日本音楽は心を癒してくれる
"	祭好き	22) 夏祭り、秋祭りなど日本の「お祭り」が好きだ
"	囃子	23) どこからともなく「お囃子(はやし)」が聞こえてくると、そわそわしてくる
演奏	伝統自演	24) 自国の伝統音楽がなにかしら演じられる方がよい
"	自他不問	25) 自国他国に限らず、好きな音楽を演じてみたい
"	学外	26) 学校以外の場でも日本音楽にふれてみたい
"	箏自演	27) 実際に自分で箏を演奏したい

種別	項目名	D. 「和」に対する意見（意見項目）
演奏	三味線自演	28) 実際に自分で三味線を演奏したい
"	尺八自演	29) 実際に自分で尺八を演奏したい
"	和太鼓自演	30) 実際に自分で和太鼓を演奏したい

### （３）調査の手続き

各調査対象校の音楽科担当者に事前に概略を説明し理解を得たうえで、実際に対象校を訪れ、調査の目的・方法について直接説明し協力を依頼した。同担当者及び対象校管理職（校長）の了承を得た上で、表１に挙げる生徒を対象に実施した。

### （４）調査日程

両校とも平成 15 年 9 月第 1 週（＝ 2 学期当初当該授業内）に実施。行事日程の関係上、曜日によっては開講の無いクラスもあり、各学年全クラスには至っていない。

### （５）回答方法・所要時間

基礎データのうち、性別、学年は該当番号に、音楽経験（学校外でのレッスン）は有無を答え、有りの場合は具体的な楽器名等や年数を記入させた。

行動・実状項目については 5 件法を用い「ほとんどその通り＝1」「だいたいその通り＝2」「どちらともいえない＝3」「あまりそうではない＝4」「まったくそうではない＝5」の中からもっとも当てはまる、近い、と思える番号にをつける。同様に、意見項目も「非常にそう思う＝1」「ややそう思う＝2」「どちらともいえない＝3」「あまりそう思わない＝4」「まったくそう思わない＝5」の中から選ぶ。欠損値がでないよう、空欄（未記入）及び同問複数回答の注意を重ねるとともに、回答時間の超過（直感ではなく熟慮がゆえの書き換え）や不足（無変動）にも考慮を入れながら 10～15 分程度の幅をもたせた。

### （６）データ処理

各項目 5 段階の評定尺度を得点化し数値データとした上で、表 1 被験者 163 名のうち、欠損値を含む個人データ（女子 3 名）を除いた 160 名分を用い分析を行った。

ア 異なるグループ間における全体平均値の差（分散分析）

(ア)学校別 (イ)男女別 (ウ)音楽経験別<sup>20</sup>

イ 項目の平均値と標準偏差<sup>21</sup>

ウ 異なるグループ間における各項目毎の平均値の差（t<sup>22</sup>検定）

(ア)男女別 (イ)音楽経験別

エ GP<sup>23</sup>分析；個人合計上位下位 25% による各項目毎の平均値の差（t検定）

(7) 結果と考察

ア 異なるグループ間における全体平均値の差（分散分析）

表3の通り、男女別、音楽経験別平均に有意な差は無かった。学校別については差が認められ、地域の生活スタイルの違いが現れているものと思われる。

表3 分散分析：一元配置

(ア)学校別概要					有意							
グループ	標本数	合計	平均	分散	変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F	境界値
鴻巣女子	34	96.44	2.84	0.10	グループ間	0.68	1	0.68	5.49	0.02		3.90
夢野台	126	337.28	2.68	0.13	グループ内	19.63	158	0.12				
合計					合計	20.31	159					

(イ)男女別概要					有意でない							
グループ	標本数	合計	平均	分散	変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F	境界値
男子	49	129.16	2.64	0.17	グループ間	0.40	1	0.40	3.14	0.08		3.90
女子	111	304.56	2.74	0.11	グループ内	19.91	158	0.13				
合計					合計	20.31	159					

(ウ)音楽経験別概要					有意でない							
グループ	標本数	合計	平均	分散	変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F	境界値
無し	52	138.8	2.67	0.13	グループ間	0.13	1	0.13	1.04	0.31		3.90
有り	108	294.92	2.73	0.13	グループ内	20.18	158	0.13				
合計					合計	20.31	159					

イ 項目の平均値と標準偏差

表4の平均値及び標準偏差から、生活実態や日本音楽に対する経験、志向が全般に低い傾向にあることが伺われる。しかし、D18「日本音楽を演奏す

<sup>20</sup> 経験者を日本音楽と西洋音楽に分けるべきだが、日本音楽については1名のみ（女子；和太鼓）だったため「有り」にまとめた。

<sup>21</sup> 基本統計量一覧は巻末1-2を参照

<sup>22</sup> t分布を用いた検定法の総称

<sup>23</sup> Good-Poor analysis 上位郡下位郡分析



る世代」については、若者が演じることに對して高い数値が現れている。昨今演奏会のみならず TV 等マスメディアからも多彩な発信を続ける若き日本音楽の演奏家から受ける影響も考えられる。また D22「日本の祭り」の好感度も、調査が祭りのシーズンにかかる時期であったこともあり高い値が出た。

**表4** 各項目の平均値と標準偏差

項目番号	項目名	合計	標本数	平均値	標準偏差	中央値	最頻値
C01	朝食実態	426	160	2.66	1.39	2.5	1
C02	昼食実態	456	160	2.85	0.89	3	3
C03	衣服実態	369	160	2.31	1.29	2	1
C04	ドマ	239	160	1.49	0.82	1	1
C05	上履	500	160	3.13	1.25	3	3
C06	入浴実態	566	160	3.54	1.28	3	5
C07	機会僅少	383	160	2.39	1.24	2	2
C08	身内	293	160	1.83	1.17	1	1
C09	幼少記憶	320	160	2.00	1.31	1	1
C10	所持	223	160	1.39	1.05	1	1
C11	春の海	244	160	1.53	1.06	1	1
C12	六段	249	160	1.56	1.04	1	1
C13	越天楽	352	160	2.20	1.49	1	1
C14	勸進帳	273	160	1.71	1.25	1	1
C15	鹿の遠音	232	160	1.45	0.98	1	1
D01	朝食	504	160	3.15	1.24	3	3
D02	昼食	484	160	3.03	0.96	3	3
D03	衣服	263	160	1.64	0.79	1	1
D04	入浴	589	160	3.68	1.20	4	5
D05	映画	449	160	2.81	1.10	3	3
D06	時代劇・映像	681	160	4.26	1.04	5	5
D07	時代劇・BGM	601	160	3.76	1.28	4	5
D08	デザート	414	160	2.59	1.09	3	3
D09	飲料	370	160	2.31	1.21	2	1
D10	和食店	552	160	3.45	1.17	3	3
D11	レストラン	559	160	3.49	1.22	4	3
D12	居住	400	160	2.50	1.14	3	3
D13	宿泊予約	443	160	2.77	0.99	3	3
D14	宿泊夕食	506	160	3.16	1.07	3	3
D15	宿泊朝食	555	160	3.47	1.14	3	3
D16	旅行	397	160	2.48	1.34	3	1
D17	日本音楽・鑑賞	460	160	2.88	1.13	3	3
D18	演奏世代	640	160	4.00	0.93	4	5
D19	堅苦しさ	485	160	3.03	1.07	3	3
D20	疎遠	498	160	3.11	0.96	3	3
D21	癒し	496	160	3.10	0.99	3	3
D22	祭好き	669	160	4.18	1.08	5	5
D23	囃子	452	160	2.83	1.28	3	3
D24	伝統自演	522	160	3.26	1.04	3	3
D25	自他不問	314	160	1.96	1.00	2	1
D26	学外	473	160	2.96	1.08	3	3
D27	箏自演	486	160	3.04	1.27	3	4
D28	三味線自演	500	160	3.13	1.31	3	4
D29	尺八自演	452	160	2.83	1.29	3	2
D30	和太鼓自演	513	160	3.21	1.35	3	3
D31	有料演奏	293	160	1.83	1.04	1	1
D32	洋風アレンジ	415	160	2.59	1.09	2	2
D33	和風アレンジ	413	160	2.58	1.09	2	2
D34	英訳	393	160	2.46	1.11	2	2
D35	和訳	320	160	2.00	0.98	2	2

ウ 異なるグループ間における各項目毎の平均値の差（t検定）

(ア)男女別

表5を各項目毎にみても有意な差が認められた（太字表示）のは、計8項目あり、中でも「衣服実態」「越天楽」「祭好き」「囃子」「箏自演」「和太鼓自演」の6項目（網掛表示）は女子が高かった。祭りへの参加も、和楽器の演奏も女子生徒の積極的な姿勢がこの数字から浮かび上がってくる。

表5 男女別

t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

男子		女子	男子		女子	男子		女子
朝食実態			昼食実態			衣服実態		
平均	2.61	2.68	平均	2.84	2.86	平均	1.29	2.76
分散	2.12	1.85	分散	0.85	0.78	分散	0.42	1.55
観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00
自由度	158.00		自由度	158.00		自由度	158.00	
t	-0.30		t	-0.12		t	<b>-7.81</b>	有意
P(T<=t)	0.76		P(T<=t)	0.90		P(T<=t)	0.00	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	
男子			男子			男子		
トマ			上履			入浴実態		
平均	1.63	1.43	平均	3.04	3.16	平均	3.84	3.41
分散	0.61	0.68	分散	1.41	1.65	分散	1.72	1.55
観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00
自由度	158.00		自由度	158.00		自由度	158.00	
t	1.43		t	-0.56		t	<b>1.99</b>	有意
P(T<=t)	0.15		P(T<=t)	0.57		P(T<=t)	0.05	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	
男子			男子			男子		
機会僅少			身内			幼少記憶		
平均	2.82	2.21	平均	2.02	1.75	平均	2.27	1.88
分散	2.03	1.22	分散	1.60	1.26	分散	1.82	1.65
観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00
自由度	158.00		自由度	158.00		自由度	158.00	
t	<b>2.93</b>	有意	t	1.36		t	1.71	
P(T<=t)	0.00		P(T<=t)	0.18		P(T<=t)	0.09	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	
男子			男子			男子		
所持			春の海			六段		
平均	1.43	1.38	平均	1.39	1.59	平均	1.41	1.62
分散	1.29	1.02	分散	1.03	1.15	分散	1.00	1.11
観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00
自由度	158.00		自由度	158.00		自由度	158.00	
t	0.28		t	-1.09		t	-1.20	
P(T<=t)	0.78		P(T<=t)	0.28		P(T<=t)	0.23	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	
男子			男子			男子		
越天楽			勸進帳			鹿の遠音		
平均	1.65	2.44	平均	1.57	1.77	平均	1.31	1.51
分散	1.36	2.43	分散	1.46	1.60	分散	0.88	0.98
観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00	観測数	49.00	111.00
自由度	158.00		自由度	158.00		自由度	158.00	
t	<b>-3.17</b>	有意	t	-0.91		t	-1.24	
P(T<=t)	0.00		P(T<=t)	0.37		P(T<=t)	0.22	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	

	男子	女子
朝食		
平均	3.08	3.18
分散	1.49	1.59
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.46	
P(T<=t)	0.65	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
昼食		
平均	3.04	3.02
分散	1.00	0.89
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	0.14	
P(T<=t)	0.89	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
衣服		
平均	1.80	1.58
分散	0.62	0.61
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	1.63	
P(T<=t)	0.10	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
入浴		
平均	3.73	3.66
分散	1.53	1.41
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	0.37	
P(T<=t)	0.71	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
映画		
平均	2.71	2.85
分散	1.21	1.22
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.70	
P(T<=t)	0.48	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
時代劇・映像		
平均	4.29	4.24
分散	1.04	1.09
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	0.24	
P(T<=t)	0.81	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
時代劇・BGM		
平均	3.61	3.82
分散	1.74	1.59
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.95	
P(T<=t)	0.35	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
デザート		
平均	2.82	2.49
分散	0.90	1.29
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	1.78	
P(T<=t)	0.08	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
飲料		
平均	2.12	2.40
分散	1.36	1.50
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-1.32	
P(T<=t)	0.19	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
和食店		
平均	3.27	3.53
分散	1.74	1.20
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-1.33	
P(T<=t)	0.19	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
レストラン		
平均	3.27	3.59
分散	1.78	1.33
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-1.58	
P(T<=t)	0.12	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
居住		
平均	2.45	2.52
分散	1.54	1.20
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.38	
P(T<=t)	0.71	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
宿泊予約		
平均	2.73	2.78
分散	1.03	0.95
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.29	
P(T<=t)	0.77	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
宿泊夕食		
平均	3.29	3.11
分散	1.29	1.08
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	0.97	
P(T<=t)	0.33	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
宿泊朝食		
平均	3.55	3.43
分散	1.25	1.32
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	0.61	
P(T<=t)	0.55	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
旅行		
平均	2.43	2.50
分散	1.50	1.92
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.33	
P(T<=t)	0.74	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
日本音楽・鑑賞		
平均	2.94	2.85
分散	1.52	1.17
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	0.47	
P(T<=t)	0.64	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
演奏世代		
平均	3.92	4.04
分散	1.20	0.73
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.74	
P(T<=t)	0.46	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
堅苦しさ		
平均	3.02	3.04
分散	1.19	1.13
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.09	
P(T<=t)	0.93	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
祭好き		
平均	3.51	4.48
分散	1.51	0.74
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	<b>-5.71</b>	有意
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
自他不問		
平均	2.08	1.91
分散	1.24	0.88
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	1.01	
P(T<=t)	0.32	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
三味線自演		
平均	2.90	3.23
分散	2.18	1.50
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-1.46	
P(T<=t)	0.15	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
有料演奏		
平均	1.71	1.88
分散	1.08	1.09
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.94	
P(T<=t)	0.35	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
英訳		
平均	2.43	2.47
分散	1.54	1.11
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.21	
P(T<=t)	0.83	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
疎遠		
平均	3.18	3.08
分散	0.90	0.93
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	0.62	
P(T<=t)	0.53	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
囃子		
平均	2.45	2.99
分散	1.71	1.54
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	<b>-2.51</b>	有意
P(T<=t)	0.01	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
学外		
平均	2.80	3.03
分散	1.54	1.01
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-1.25	
P(T<=t)	0.21	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
尺八自演		
平均	2.69	2.88
分散	1.84	1.58
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.86	
P(T<=t)	0.39	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
洋風アレンジ		
平均	2.59	2.59
分散	1.37	1.13
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.01	
P(T<=t)	0.99	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
和訳		
平均	2.14	1.94
分散	1.21	0.84
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	1.23	
P(T<=t)	0.22	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
癒し		
平均	3.00	3.14
分散	1.04	0.94
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.85	
P(T<=t)	0.40	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
伝統自演		
平均	3.14	3.32
分散	1.25	1.02
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.96	
P(T<=t)	0.34	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
箏自演		
平均	2.57	3.24
分散	1.63	1.49
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	<b>-3.16</b>	有意
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
和太鼓自演		
平均	2.88	3.35
分散	1.98	1.68
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	<b>-2.07</b>	有意
P(T<=t)	0.04	
t 境界値	1.98	

	男子	女子
和風アレンジ		
平均	2.55	2.59
分散	1.42	1.10
観測数	49.00	111.00
自由度	158.00	
t	-0.23	
P(T<=t)	0.82	
t 境界値	1.98	

(1)音楽経験別

表6を見ると、有意な差が見られた(太字表示)のは「六段」「越天楽」「勸進帳」等の9項目中、「機会僅少」「自他不問」の2項目(網掛表示)で、経験者の方が低かった。今回の経験者の中には日本音楽の者がいなかったのも、この結果から西洋音楽経験者は、より日本音楽に親しむ時間がとれない、西洋(他国)の音楽にこだわって臨んでいることを表している。しかし、一方では、「衣服実態」「上履」「祭好き」等7項目で経験者が高く、西洋音楽経験者の方が、より「浴衣」を着用し、「スリッパ」に履き替え、「日本の祭」に参加している、という予想に反した結果が出ている。

表6 音楽経験別

t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	無し	有り		無し	有り		無し	有り
<b>朝食実態</b>			<b>昼食実態</b>			<b>衣服実態</b>		
平均	2.83	2.58	平均	2.94	2.81	平均	1.75	2.57
分散	2.22	1.78	分散	0.80	0.79	分散	1.13	1.70
観測数	52.00	108.00	観測数	52.00	108.00	観測数	52.00	108.00
自由度	158.00		自由度	158.00		自由度	158.00	
t	1.04		t	0.91		t	<b>-3.96</b>	有意
P(T<=t)	0.30		P(T<=t)	0.37		P(T<=t)	0.00	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	
<b>トナ</b>			<b>上履</b>			<b>入浴実態</b>		
平均	1.52	1.48	平均	2.83	3.27	平均	3.46	3.57
分散	0.57	0.72	分散	1.48	1.56	分散	1.98	1.48
観測数	52.00	108.00	観測数	52.00	108.00	観測数	52.00	108.00
自由度	158.00		自由度	158.00		自由度	158.00	
t	0.27		t	<b>-2.11</b>	有意	t	-0.52	
P(T<=t)	0.79		P(T<=t)	0.04		P(T<=t)	0.60	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	
<b>機会僅少</b>			<b>身内</b>			<b>幼少記憶</b>		
平均	2.67	2.26	平均	1.88	1.81	平均	2.04	1.98
分散	1.99	1.28	分散	1.44	1.35	分散	1.53	1.83
観測数	52.00	108.00	観測数	52.00	108.00	観測数	52.00	108.00
自由度	158.00		自由度	158.00		自由度	158.00	
t	<b>2.00</b>	有意	t	0.40		t	0.26	
P(T<=t)	0.05		P(T<=t)	0.69		P(T<=t)	0.80	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	
<b>所持</b>			<b>春の海</b>			<b>六段</b>		
平均	1.46	1.36	平均	1.38	1.59	平均	1.31	1.68
分散	1.16	1.07	分散	0.91	1.22	分散	0.61	1.27
観測数	52.00	108.00	観測数	52.00	108.00	観測数	52.00	108.00
自由度	158.00		自由度	158.00		自由度	158.00	
t	0.57		t	-1.17		t	<b>-2.12</b>	有意
P(T<=t)	0.57		P(T<=t)	0.25		P(T<=t)	0.04	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	

	無し	有り
越天楽		
平均	1.87	2.36
分散	1.73	2.40
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-1.99	有意
P(T<=t)	0.05	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
勸進帳		
平均	1.40	1.85
分散	0.95	1.79
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-2.15	有意
P(T<=t)	0.03	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
鹿の遠音		
平均	1.48	1.44
分散	1.39	0.75
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	0.28	
P(T<=t)	0.78	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
朝食		
平均	3.12	3.17
分散	1.40	1.64
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.24	
P(T<=t)	0.81	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
昼食		
平均	3.13	2.97
分散	0.94	0.91
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	1.00	
P(T<=t)	0.32	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
衣服		
平均	1.69	1.62
分散	0.65	0.61
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	0.54	
P(T<=t)	0.59	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
入浴		
平均	3.69	3.68
分散	1.51	1.42
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	0.08	
P(T<=t)	0.94	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
映画		
平均	2.77	2.82
分散	0.89	1.38
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.29	
P(T<=t)	0.77	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
時代劇・映像		
平均	4.25	4.26
分散	1.29	0.98
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.05	
P(T<=t)	0.96	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
時代劇・BGM		
平均	3.79	3.74
分散	1.78	1.58
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	0.22	
P(T<=t)	0.83	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
デザート		
平均	2.65	2.56
分散	0.78	1.39
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	0.53	
P(T<=t)	0.59	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
飲料		
平均	2.13	2.40
分散	1.33	1.51
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-1.29	
P(T<=t)	0.20	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
和食店		
平均	3.29	3.53
分散	1.74	1.19
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-1.21	
P(T<=t)	0.23	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
レストラン		
平均	3.33	3.57
分散	1.79	1.33
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-1.20	
P(T<=t)	0.23	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
居住		
平均	2.63	2.44
分散	1.41	1.24
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	1.04	
P(T<=t)	0.30	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
宿泊予約		
平均	2.81	2.75
分散	0.94	0.99
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	0.35	
P(T<=t)	0.73	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
宿泊夕食		
平均	3.29	3.10
分散	1.15	1.14
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	1.03	
P(T<=t)	0.30	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
宿泊朝食		
平均	3.44	3.48
分散	1.19	1.35
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.20	
P(T<=t)	0.84	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
旅行		
平均	2.65	2.40
分散	1.49	1.92
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	1.13	
P(T<=t)	0.26	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
堅苦しさ		
平均	2.96	3.06
分散	1.10	1.16
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.57	
P(T<=t)	0.57	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
祭好き		
平均	3.75	4.39
分散	1.68	0.80
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	<b>-3.63</b>	有意
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
自他不問		
平均	2.27	1.81
分散	1.30	0.79
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	<b>2.76</b>	有意
P(T<=t)	0.01	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
三味線自演		
平均	2.94	3.21
分散	1.86	1.65
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-1.22	
P(T<=t)	0.22	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
有料演奏		
平均	1.65	1.92
分散	0.90	1.16
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-1.50	
P(T<=t)	0.14	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
日本音楽・鑑賞		
平均	2.98	2.82
分散	1.47	1.17
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	0.82	
P(T<=t)	0.41	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
疎遠		
平均	3.15	3.09
分散	0.84	0.96
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	0.38	
P(T<=t)	0.71	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
囃子		
平均	2.48	2.99
分散	1.59	1.60
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	<b>-2.39</b>	有意
P(T<=t)	0.02	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
学外		
平均	2.85	3.01
分散	1.11	1.21
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.89	
P(T<=t)	0.37	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
尺八自演		
平均	2.77	2.85
分散	1.87	1.57
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.38	
P(T<=t)	0.70	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
洋風アレンジ		
平均	2.62	2.58
分散	1.06	1.27
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	0.17	
P(T<=t)	0.86	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
演奏世代		
平均	3.90	4.05
分散	1.27	0.68
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.91	
P(T<=t)	0.37	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
癒し		
平均	3.06	3.12
分散	0.92	1.00
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.38	
P(T<=t)	0.71	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
伝統自演		
平均	3.17	3.31
分散	1.09	1.09
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-0.75	
P(T<=t)	0.45	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
箏自演		
平均	2.81	3.15
分散	1.84	1.49
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-1.59	
P(T<=t)	0.11	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
和太鼓自演		
平均	3.04	3.29
分散	2.00	1.72
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	-1.09	
P(T<=t)	0.28	
t 境界値	1.98	

	無し	有り
和風アレンジ		
平均	2.77	2.49
分散	1.08	1.22
観測数	52.00	108.00
自由度	158.00	
t	1.52	
P(T<=t)	0.13	
t 境界値	1.98	

	無し	有り		無し	有り
	英訳			和訳	
平均	2.65	2.36	平均	2.13	1.94
分散	1.29	1.19	分散	1.14	0.86
観測数	52.00	108.00	観測数	52.00	108.00
自由度	158.00		自由度	158.00	
t	1.57		t	1.21	
P(T<=t)	0.12		P(T<=t)	0.23	
t 境界値	1.98		t 境界値	1.98	

エ GP 分析；個人合計上位下位 25% による各項目毎の平均値の差（t 検定）

表 7 の通り「上履」「機会僅少」「映画」「和食店」「レストラン」「洋風アレンジ」「和風アレンジ」「英訳」「和訳」の 9 項目（網掛表示）で有意な差は見られなかったが、音楽との関わりが問われる項目も含まれることから本調査においても引き続き質問項目に含めることとした。

表 7 GP 分析

t-検定：一対の標本による平均の検定ツール

上位25% 下位25%		上位25% 下位25%		上位25% 下位25%	
朝食実態		昼食実態		衣服実態	
平均	3.33 2.20	平均	3.13 2.50	平均	2.58 1.80
分散	2.33 1.19	分散	0.83 0.77	分散	2.05 1.34
観測数	40.00 40.00	観測数	40.00 40.00	観測数	40.00 40.00
自由度	39.00	自由度	39.00	自由度	39.00
t	3.72	t	3.15	t	2.65
P(T<=t)	0.00	P(T<=t)	0.00	P(T<=t)	0.01
t 境界値	2.02	t 境界値	2.02	t 境界値	2.02

上位25% 下位25%		上位25% 下位25%		上位25% 下位25%	
ドラマ		上履		入浴実態	
平均	1.80 1.15	平均	3.33 3.03	平均	4.00 2.88
分散	0.63 0.18	分散	1.76 1.36	分散	1.13 2.06
観測数	40.00 40.00	観測数	40.00 40.00	観測数	40.00 40.00
自由度	39.00	自由度	39.00	自由度	39.00
t	4.46	t	1.05 有意でない	t	4.53
P(T<=t)	0.00	P(T<=t)	0.30	P(T<=t)	0.00
t 境界値	2.02	t 境界値	2.02	t 境界値	2.02

上位25% 下位25%		上位25% 下位25%		上位25% 下位25%	
機会僅少		身内		幼少記憶	
平均	2.60 2.25	平均	2.38 1.18	平均	2.85 1.45
分散	1.22 2.55	分散	2.14 0.20	分散	2.34 1.07
観測数	40.00 40.00	観測数	40.00 40.00	観測数	40.00 40.00
自由度	39.00	自由度	39.00	自由度	39.00
t	1.28 有意でない	t	4.68	t	4.52
P(T<=t)	0.21	P(T<=t)	0.00	P(T<=t)	0.00
t 境界値	2.02	t 境界値	2.02	t 境界値	2.02



上位25% 下位25%		
所持		
平均	1.70	1.10
分散	1.86	0.40
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	2.45	
P(T<=t)	0.02	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
春の海		
平均	1.78	1.15
分散	1.56	0.44
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	2.64	
P(T<=t)	0.01	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
六段		
平均	2.08	1.05
分散	2.02	0.10
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	4.44	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
越天楽		
平均	3.10	1.68
分散	2.45	1.46
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	4.40	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
勸進帳		
平均	2.65	1.08
分散	2.59	0.12
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	6.05	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
鹿の遠音		
平均	1.80	1.05
分散	1.65	0.10
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	3.50	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
朝食		
平均	3.95	2.60
分散	1.23	1.53
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	5.10	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
昼食		
平均	3.60	2.50
分散	1.17	0.77
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	5.93	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
衣服		
平均	1.83	1.35
分散	0.92	0.39
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	2.90	
P(T<=t)	0.01	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
入浴		
平均	4.05	3.38
分散	1.48	1.73
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	2.56	
P(T<=t)	0.01	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
映画		
平均	2.98	2.65
分散	1.26	1.62
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	1.25	有意でない
P(T<=t)	0.22	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
時代劇・映像		
平均	4.53	3.80
分散	0.82	1.55
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	3.90	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
時代劇・BGM		
平均	4.05	3.33
分散	1.69	1.81
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	2.66	
P(T<=t)	0.01	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
デザート		
平均	3.10	2.13
分散	1.48	0.88
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	4.23	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
飲料		
平均	2.90	1.85
分散	1.43	1.36
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	3.70	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
和食店		
平均	3.33	3.33
分散	1.46	1.51
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	0.00	有意でない
P(T<=t)	1.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
レストラン		
平均	3.43	3.55
分散	1.84	1.59
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	-0.42	有意でない
P(T<=t)	0.68	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
居住		
平均	3.10	1.98
分散	1.68	1.05
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	4.35	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
宿泊予約		
平均	3.23	2.38
分散	1.20	0.86
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	3.60	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
宿泊夕食		
平均	3.88	2.78
分散	1.14	1.20
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	4.87	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
宿泊朝食		
平均	4.05	2.83
分散	1.43	1.48
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	4.96	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
旅行		
平均	2.83	2.18
分散	1.84	1.79
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	2.15	
P(T<=t)	0.04	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
日本音楽・鑑賞		
平均	3.65	2.05
分散	1.41	0.97
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	7.47	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
演奏世代		
平均	4.45	3.90
分散	0.56	1.22
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	2.81	
P(T<=t)	0.01	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
堅苦しさ		
平均	3.28	2.63
分散	1.44	1.21
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	2.66	
P(T<=t)	0.01	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
疎遠		
平均	3.60	2.50
分散	0.81	0.97
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	5.21	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
癒し		
平均	3.53	2.53
分散	1.08	1.03
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	4.31	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
祭好き		
平均	4.53	3.83
分散	0.61	1.69
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	2.82	
P(T<=t)	0.01	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
囃子		
平均	3.40	1.88
分散	1.63	1.29
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	5.50	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
伝統自演		
平均	3.85	2.55
分散	0.90	1.13
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	5.73	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
自他不問		
平均	1.58	2.30
分散	0.87	1.09
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	-3.24	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
学外		
平均	3.80	2.08
分散	0.98	0.94
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	9.45	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
箏自演		
平均	4.05	2.00
分散	1.02	0.92
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	9.17	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
三味線自演		
平均	4.23	2.15
分散	0.79	1.31
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	8.60	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
尺八自演		
平均	3.98	1.78
分散	1.00	0.49
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	10.07	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

	上位25%	下位25%
和太鼓自演		
平均	4.15	2.30
分散	0.85	1.86
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	7.06	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
有料演奏		
平均	2.60	1.13
分散	1.17	0.27
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	7.79	
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
洋風アレンジ		
平均	2.65	2.45
分散	1.52	1.38
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	0.80	有意でない
P(T<=t)	0.43	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
和風アレンジ		
平均	2.60	2.45
分散	1.22	1.28
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	0.60	有意で
P(T<=t)	0.56	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
英訳		
平均	2.48	2.25
分散	1.23	1.73
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	0.87	有意でない
P(T<=t)	0.39	
t 境界値	2.02	

上位25% 下位25%		
和訳		
平均	2.05	1.93
分散	0.92	1.20
観測数	40.00	40.00
自由度	39.00	
t	0.53	有意でない
P(T<=t)	0.60	
t 境界値	2.02	

なお、質問アンケート実施中にあった「数字の大きい(5)方が強く賛成する感じがする」という生徒の声・感想から、本調査では「ほとんどその通り = 1」「非常にそう思う = 1」をそれぞれ、「ほとんどその通り = 5」「非常にそう思う = 5」に置き換え、記載順は数字昇順にて載せることとした。

---

## 2 . 本調査

### 【3】 調査目的

予備調査は、日本音楽への接し方や捉え方について質問文によってのみ行われた。本調査では、同じ質問項目を用いてデータを取り各項目間の関連を探る。さらに音声及び映像視聴を伴う質問項目 30 曲分（計 60 項目）を追加設定した。視聴曲は、楽曲伝統分類（音階・リズム等）と形態伝統分類（演奏楽器・演奏形態等）を日本音楽、非日本音楽、両者混合の 3 種類に分類し、これらを視聴してどれだけ日本らしさを感じるか、心地よいと感じる度合いが演奏・曲によってどう違うか、これらの結果と生活実態・意見、男女間、音楽経験有無による関連があるかを調査し考察する事を目的とする。

### 【4】 調査対象・方法

#### （1）対象者

新課程受講者、すなわち平成 15 年度の「音楽」授業の中で「和楽器『箏』の体験」を受講する高校生（原則として 1 年次生。カリキュラム上、2・3 年次で履修する学校有り）で、下記の 7 学校 64 学級（内数字は各学級毎人員）、合計 1030 名の生徒が被験者として本研究の被験者として参加した。男女・学年別内訳は表 1 のとおりである。

埼玉県立鴻巣女子高等学校 1 年生 6 学級(15,15,3,12,10,7) 女子 62 名

兵庫県立夢野台高等学校 1 年生 7 学級(19,18,15,16,13,23,21)

男子 41 名 女子 84 名

兵庫県立明石南高等学校 1 年生 6 学級(2,22,18,16,22,13) 2 年生 2 学級  
(19,40) 男子 68 名 女子 84 名

兵庫県立三木北高等学校 1 年生 5 学級(40,40,14,10,16)

男子 55 名 女子 65 名

兵庫県立星陵高等学校 1 年生 9 学級(19,20,19,20,18,18,20,20,27)

---

---

男子 82 名 女子 99 名

兵庫県立明石北高等学校 1 年生 6 学級 (16, 14, 12, 10, 9, 22)

2 年生 9 学級 (10, 18, 10, 14, 15, 11, 11, 12, 12)

3 年生 5 学級 (11, 3, 8, 5, 4) 男子 41 名 女子 84 名

兵庫県立加古川西高等学校 1 年生 9 学級 (19, 17, 18, 17, 18, 17, 18, 17, 22)

男子 53 名 女子 110 名

表 1 被験者数

学年	男子数	女子数	合計数
1	320	534	854
2	62	83	145
3	8	23	31
合計	390	640	1030

## ( 2 ) 質問紙<sup>24</sup>

基礎データ (性別、学年、音楽経験) 計 3 項目、「和」にかかわる実態 (行動・実状項目) 計 15 項目、「和」に対する意識 (意見) 計 35 項目については、予備調査と同様である。

これに、実音視聴を伴う質問項目 30 曲分 (各曲約 30 秒前後。1 曲につき 2 項目ずつを同時に問う計 60 項目) を設定した。2 項目とは、「日本度」「心地よさ度」と表記し、前者は「視聴して日本らしさを感じる度合い」、後者は「視聴して心地よいと感じる度合い」とした。次項 ( 3 ) に、その詳細を示す。

## ( 3 ) 音声・映像視聴曲

視聴曲の選曲にあたり、次の通り検討を進めた。まず最初に、「日本らしさ」を感じる要素として、「音階」と「楽器」の 2 点に着目してみる。「音階」については、新指導要領音楽 内容の中で「音階」という用語は、A 表現 ( 3 ) 創作ア「いろいろな音階による旋律の創作」の 1 箇所に表記されている。内容の取り扱いの文中には、その「いろいろな音階」について「日本の音階を含める」等の詳細は明記されていない。そこで、平成 15 年度版「音楽」の教科書 3 社 3 冊の中から「日本の音階」にかかわる用

---

<sup>24</sup> 本調査質問紙は巻末資料 2-1、項目名一覧は p.12-p.14 を参照。

語を抜き出し、表2へまとめてみる。

表2

平成15年度版「音楽」使用教科書「日本の音階」

【発行所 = 五十音順】 教科書名	「日本の音階」にかかわる表記・掲載事項（掲載順）
【音楽之友社】 新・高校生の音楽	陽音階・陰音階・民謡音階・都節音階・律音階・沖縄音階・四七抜き音階 (音階ではないが、平調子・雲井調子・本調子・二上がり・三下がり、の記載あり)
【教育芸術社】 Mousa 1	民謡音階・律音階・都節音階・沖縄音階 (音階ではないが、本雲井調子・平調子、の記載あり)
【教育出版】 Tutti 1	民謡音階・都節音階・律音階・沖縄音階 (音階ではないが、平調子、の記載あり)

次に、「楽器」という用語については、新指導要領の中で、A表現(2)器楽ア「いろいろな楽器の体験と奏法の工夫」、B鑑賞ア「声や楽器の特性と表現上の効果」の2箇所に表記されている。内容の取り扱いの文中には、(4)「我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて」と、(6)「主として箏曲、三味線音楽、尺八音楽など」とが、和楽器の関連事項として表記されている。そして、教科書には表3の通り、和楽器に関して、楽器名、図解、写真等が掲載されている。

表3

平成15年度版「音楽」使用教科書「和楽器」

【発行所 = 五十音順】 教科書名	「和楽器」にかかわる表記・掲載事項（掲載順）
【音楽之友社】 新・高校生の音楽	和太鼓、こきりこ、びんざさら、くわがね、三線、細棹三味線、篠笛、能管、小鼓、大鼓、締太鼓、鉦、琵琶、箏、尺八、津軽三味線
【教育芸術社】 Mousa 1	箏、箏、尺八、細棹三味線、笛、小鼓、大鼓、締太鼓、津軽三味線、三線、竜笛、高麗笛、能管、神楽笛、篠笛
【教育出版】 Tutti 1	三線、三味線、尺八、箏、つけ太鼓、大胴、鉦、篠笛、琵琶、箏、箏、竜笛

これらに表記された「日本の音階」「和楽器」を含む、または全く含まない演奏に対して、高校生が「日本らしさを感じる度合い = 日本度」と「心地よさを感じる度合い = 心地よさ度」を短時間で判断するのに適した曲を、まずは小・中学校の共通教材(旧課程)の中から抽出する(p.30表5 = 音源はCD、MD、オーディオカセットテープ)。

現在の高校1年生は小・中学校を旧課程で過ごしており、その共通教材曲に触れてきたことが、それらの曲を既知曲として記憶に止めている可能性が考えられる。この既知曲であることが、調査に対して緊張することなく、即断すなわち回答時間の短縮を導き出せるよう期待したい。

表 5

## 音声聴取曲・候補一覧 小・中学校 共通教材（旧課程）から抜粋

番号	学年	内容	曲名 *【 】内は演奏楽器	作詞者	作曲者
1	小1	表現	うみ	林柳波	井上武士
2	小1	表現	日のまる	高野辰之	高野辰之
3	小1	表現	かたつむり	-	-
4	小1	表現	ひらいたひらいた(わらべうた)	-	-
5	小2	表現	春がきた	高野辰之	岡野貞一
6	小2	表現	夕やけこやけ	中村雨紅	草川信
7	小2	表現	かくれんぼ	林柳波	下総皖一
8	小2	表現	虫のこえ	-	-
9	小3	表現	うさぎ（日本古謡）	-	-
10	小3	表現	春の小川	高野辰之	岡野貞一
11	小3	表現	茶つみ	-	-
12	小3	表現	ふじ山	-	-
13	小4	表現	さくらさくら（日本古謡）	-	-
14	小4	表現	もみじ	高野辰之	岡野貞一
15	小4	表現	とんび	葛原しげる	梁田貞
16	小4	表現	まきばの朝	-	船橋栄吉
17	小5	表現	子もり歌（日本古謡；陰旋法）	-	-
18	小5	表現	子もり歌（日本古謡；陽旋法）	-	-
19	小5	表現	こいのぼり	-	-
20	小5	表現	スキーの歌	林柳波	橋本国彦
21	小5	表現	冬げしき	-	-
22	小5	鑑賞	荒城の月	土井晩翠	滝廉太郎
23	小5	鑑賞	花	武島羽衣	滝廉太郎
24	小5	鑑賞	管弦楽のための木挽歌	-	小山清茂
25	小6	表現	越天楽今様（日本古謡）	慈鎮和尚・作歌	-
26	小6	表現	ふるさと	高野辰之	岡野貞一
27	小6	表現	おぼろ月夜	高野辰之	岡野貞一
28	小6	表現	われは海の子	-	-
29	小6	鑑賞	この道	北原白秋	山田耕筰
30	小6	鑑賞	春の海【箏・尺八】	-	宮城道雄
31	小6	鑑賞	春の海【フルート・ハープ】	-	宮城道雄
32	小6	鑑賞	春の海【箏・バイオリン】	-	宮城道雄
33	小6	鑑賞	赤とんぼ	三木露風	山田耕筰
34	小6	鑑賞	待ちぼうけ	北原白秋	山田耕筰
35	中1	表現	赤とんぼ	三木露風	山田耕筰
36	中1	表現	さくらさくら（日本古謡）	-	-
37	中1	表現	花の街	江間章子	團伊玖磨
38	中1	鑑賞	春「四季」から【箏アンサンブル】	-	ビヴァルディ
39	中1	鑑賞	雅楽「越天楽」 日本古曲	-	-
40	中2	表現	荒城の月	土井晩翠	滝廉太郎
41	中2	表現	夏の思い出	江間章子	中田喜直
42	中2	表現	浜辺の歌	林 古溪	成田為三
43	中2	鑑賞	箏曲「六段の調」	-	八橋検校
44	中2	鑑賞	尺八曲「鹿の遠音」	-	-
45	中3	表現	早春賦	吉丸一昌	中田 章
46	中3	表現	花	武島羽衣	滝廉太郎
47	中3	鑑賞	長唄「勸進帳」	-	四世 杵屋六三郎

また、共通教材ではないが、その他にも数曲、聴取に適すると思われる候補を表6（p.31 = 音源はCD、MD）へ挙げる。

表 6

## 音声聴取曲・候補一覧 その他

番号	曲名 * ( )内は作曲者名	演奏者等
1	ソーラン節	唄；奥泉勇皇 三味線；中田皇輝
2	木曾節	木曾福島 木曾踊り保存会
3	ていんさぐぬ花	唄；島袋正雄
4	竹田の子もり唄	歌；加藤登紀
5	五木の子もり唄	唄；登坂よし
6	My Heart Will Go On	東儀秀樹
7	黒田節	唄；甲斐博光 三味線；甲斐典子
8	阿波踊り	徳島
9	ねぶた祭	青森 (青森)
10	ねぶたまつり	青森 (弘前)
11	河内音頭	大阪 (八尾)
12	唐津くんちの曳山囃子	佐賀 (唐津)
13	エイサー	沖縄
14	雨燕の舞(チャビ <sup>レ</sup> -ヤク)	アイ
15	コカラ	アイ
16	加那よ一節	沖縄 照喜名朝一 他
17	青海波	雅楽
18	祇園囃子「九段」	京都 長刀鉾囃子方
19	ノヴェンパーステップス(武満徹)	琵琶；鶴田錦史 尺八；横山勝也

そして、「日本の音階」「和楽器」を考慮しつつ、「日本度」「心地よさ度」の判断の拠り所として、さらに「映像」を加えることで、たとえ未知曲であっても、聴くこと、見ること、両方からの即断が期待できる演奏が含まれる音声・映像視聴曲一覧を、表 7 に挙げる。

表 7

## 映像・音声視聴曲・候補一覧

番号	曲名	作曲者等	演奏者
1	六段の調「初段」	八橋検校	中能島欣一
2	舞；武原はん		唄と三絃；富山清琴 箏；富山美恵子
3	京の四季		小亜希 幸子
4	いつまでも		箏；米川敏子 三味線；米川裕枝
5	初段		箏；米川敏子 三味線；米川裕枝
6	箏曲 桜狩 (山田流)		唄・箏；山勢司都子 高橋榮清 中能島弘子 唄・三絃；鳥居名美野 尺八；山口五郎
7	都山流本曲		山本邦山
8	箏曲 楽(がく) 無窮動	沢井忠夫	市川慎
9	変奏曲	沢井忠夫	市川慎
10	輪舞(ロンド)	沢井忠夫	市川慎
11	祝宴(竹取物語から)	三宅一徳	箏座
12	ZOOM	中村明一	KoKoo(コウ)
13	井岡山太陽紅	趙蔓琴	中国古箏；伍芳
14	茉莉花ジャスミン	劉文金(中国民謡)	謝琳
15	Folk Symphony伝々傳DenDenDen	三木稔	指揮；田村拓男
16	アリラン・ドレ	(韓国民謡)	崔修正
17	南道アリラン	白大雄	指揮；朴範薫
18	漁舟唱晩(ユチュウチャン)	(中国)	古箏(グーシヨ)
19	幸福な乳しぼり	(モンゴル)	ヤトガ
20	散調(サンジョ)	(韓国)	伽耶琴(ガゲム)
21	ふるさとの秋	(ベトナム)	弾箏(ダンチャイン)
22	大いなるヘルレン川	(モンゴル)	
23	ていんさぐの花	(沖縄)	
24	島唄	宮沢和史	THE BOOM
25	明けもどろ	知名定男	Nenesネ-ネ-ス
26	年中口説(ねんじゅうくとうち)	照屋林賢	りんけんバンド



表 7 (続き)

番号	曲名	作曲者等	演奏者
27	モダン	吉田健一	津軽三味線；吉田良一郎 吉田健一
28	游-YUU-	上妻宏光	津軽三味線；上妻宏光
29	津軽三味線 曲弾き合奏		木下伸市 上妻宏光 吉田良一郎 吉田健一
30	千里馬	藤舎呂悦	鼓童(藤本吉利)
31	打つ八丈		鬼太鼓座
32	海流-KAIRYU-	木下伸一	指揮；十束尚宏 演奏；東京フィルハーモニック管弦楽団 太鼓；林英哲 津軽三味線；木下伸一
33	韋駄天～鋼～烈風	Ajo	打究人 ダクト -Da.K.T.-
34	竜笛・高麗笛	*基礎奏法	
35	箏	*基礎奏法	
36	笙	*基礎奏法	
37	和琴	*基礎奏法	
38	楽箏	*基礎奏法	
39	楽琵琶	*基礎奏法	
40	鼓	*基礎奏法	
41	鉦鼓	*基礎奏法	
42	雅楽「平調越天楽」		宮内庁式部職楽部
43	雅楽「平調越天楽」 課外授業ようこそ先輩より		リコーダー(箏) 鍵盤ハーモニカ(笙) ホソコ(鞆鼓) 指導・箏；東儀秀樹
44	遭遇 番	石井眞木	指揮；石井眞木 雅楽；芝祐靖と伶楽舎 演奏；新日本フィルハーモニー交響楽団
45	GAGAKU	ウイントン・マルサリス	ウイントン・マルサリス楽団
46	ひこぼしの涙	東儀秀樹	東儀秀樹 他(箏とキーボード)
47	星空につつまれて	東儀秀樹	箏；東儀秀樹 指揮；リョウ・ケルメス 演奏；フィルハーモニー室内管弦楽団
48	虚空	石井眞木	龍笛；赤尾三千子 打楽器；細谷一郎 植松透 板倉利之
49	田楽笛即興曲	一噌幸弘	田楽笛；一噌幸弘 和太鼓；ヒダノ修一 ギター；鬼努無月
50	瀬音		十三絃；砂崎知子 十七絃；深海さとみ
51	天海	宮下伸	三十絃；宮下伸 打楽器；YASKAZ
52	ノヴェンバーステップス	武満徹	指揮；岩城宏之 演奏；NHK交響楽団 尺八；横山勝也 琵琶；鶴田錦史
53	敦盛	坂田美子	おりひめ(琵琶・尺八・ハト)

以上の、音声サンプル 66 曲、映像・音声サンプル 53 曲、計 119 曲の中から、「日本の音階」「和楽器」を考慮しつつ、「日本度」「心地よさ度」の判断の拠り所となる部分を抜き出し、同じ曲で和・洋双方の楽器を用いた演奏、和・洋の共演、和楽器による洋楽演奏、洋楽器による日本の音階を用いた演奏、和楽器の伝統的な演奏とは異なった新たな演奏等、2 曲ずつを比較対照として組み合わせ、検証による新たな発見が期待できるよう、以下に挙げる 30 曲に絞った。なお、「日本の伝統度」は、楽曲の音階(合奏時は独奏を優先)についてを「楽曲伝統分類」、演奏している楽器を「形態伝統分類」としてそれぞれ「日本の伝統音楽 = 3」「両者混合 = 2」「非日本の伝統音楽<sup>25</sup> = 1」の 3 種類に分類した。なお、新日本音楽(例；宮城道雄)、現代邦楽については「楽曲伝統分類 = 2」とする。

<sup>25</sup> 西洋音楽、近隣諸国の音楽等、日本の伝統音楽以外の音楽を示すこととする。

---

音声聴取曲 小・中学校共通教材曲（旧課程）<sup>26</sup>から計7曲（調査実施順）

1. 「春の海」 作曲；宮城道雄 尺八；山本邦山 箏；中島靖子

同曲冒頭（楽曲伝統分類2<sup>27</sup>）を、次の洋楽器のみによる演奏と比較するため、和楽器のみによる演奏（形態伝統分類3<sup>28</sup>）を1曲目に設定した。

2. 「春の海」 作曲；宮城道雄 フルート；金昌国 ハープ；桑原すみれ

西洋楽器のみの演奏であるため、形態伝統分類は1となる。

3. 「赤とんぼ」 作曲；山田耕筰 合唱；日本合唱協会

四七抜き音階を用いた冒頭部（楽曲伝統分類2）を、女声合唱・オーケストラ伴奏（形態伝統分類1）によって演奏している。

4. 「さくら」 日本古謡 指揮；栗山文昭 合唱；東京アルカディア・コール

都節（楽曲伝統分類3）で、女声合唱・ピアノ伴奏（形態伝統分類1）である。

5. 「荒城の月」 作曲；滝廉太郎 合唱；グラモフォン混声合唱団

原曲都節の短音階（楽曲伝統分類2）の冒頭部を、混声合唱（形態伝統分類1）にて演奏している。

6. 「花」 作曲；滝廉太郎 指揮；岡本仁 ピアノ；田中瑤子

合唱；くにたちカンマーコール

長音階（楽曲伝統分類1）で、ピアノ伴奏の女声合唱（形態伝統分類1）である。

7. 「四季」より「春」 作曲；ビヴァルディ 演奏；砂崎知子箏アンサンブル

楽曲伝統分類は1だが、箏のみ（形態伝統分類3）の演奏で、和楽器による西洋音楽演奏をどのように捉えるか、回答の結果に期待したい。

映像・音声視聴曲 計23曲（調査実施順）

8. 「井岡山太陽紅」 作曲；趙蔓琴 中国古箏；伍芳

一見、日本の箏と見紛うが、両分類1で、音声から音階の違いを、映像から爪や奏法の違いを捉えるか、「心地よさ」はどの程度感じるか、結果を見たい。

9. 「Folk Symphony 伝々傳 DenDenDen」 作曲；三木稔

指揮；田村拓男 演奏；オーケストラアジア

中国古箏を含む合奏（日本・中国・韓国）で（形態伝統分類2）、木曾節（楽曲伝

---

<sup>26</sup> 候補は、共通教材以外の19曲と共通教材の小・中学校全学年に及んだが、最終的には小学校高学年以降の中からのみ抽出した。理由は、p.29に示した通り、回答のしやすさが挙げられる。

<sup>27</sup> P.32 参照

<sup>28</sup> 同上P.32 参照

---

---

統分類 2 ) をモチーフにしている。

10 . シンフォニック・ヴァリエーション「南道アリラン」

作曲 ; 白大雄 指揮 ; 朴範薫 演奏 ; オーケストラアジア

演奏楽団は前曲と同じ ( 形態伝統分類 2 ) で、アリランをモチーフ ( 楽曲伝統分類 1 ) にした演奏となっている。

11 . 「島唄」 作曲 ; 宮沢和史 演奏 ; THE BOOM

沖縄音階をポップアレンジ ( 楽曲伝統分類 2 ) した男声ボーカル演奏で伴奏に三線 ( 形態伝統分類 2 ) の音色が加わるが映像はソロボーカルのみである。

12 . 「明けもどろ」 作曲 ; 知名定男 演奏 ; Nenes

前曲同様、沖縄ポップ ( 楽曲伝統分類 2 ) の民族衣装・髪型を纏った女声アンサンブルで、伴奏に三線 ( 形態伝統分類 2 ) の音色が映像とともに加わる。

13 . 「モダン」 作曲 ; 吉田健一 津軽三味線 ; 吉田良一郎 吉田健一

演奏者自身が作曲したオリジナル作品 ( 楽曲伝統分類 2 ) で、兄弟による津軽三味線のみ ( 形態伝統分類 3 ) の演奏である。

14 . 「游-YUU-」 作曲 ; 上妻宏光 津軽三味線 ; 上妻宏光 バンド共演

この曲も演奏者自身が作曲したオリジナル作品 ( 楽曲伝統分類 2 ) だが、津軽三味線とバンドの共演 ( 形態伝統分類 2 ) となっている。

15 . 「海流-KAIRYU-」 作曲 ; 木下伸一 指揮 ; 十束尚宏 演奏 ; 東京シティフィルハーモニック

管弦楽団 太鼓 ; 林英哲 津軽三味線 ; 木下伸一

この曲も演奏者自身が作曲したオリジナル作品 ( 楽曲伝統分類 2 ) で、終結部の和太鼓、三味線とオーケストラによる ( 形態伝統分類 2 ) 白熱した演奏である。

16 . 「韋駄天～鋼～烈風」 作曲 ; Ajo 太鼓演奏 ; 打究人 (ダクト -Da.K.T.-)

ダンスパフォーマンスも加わった和太鼓アンサンブル ( 形態伝統分類 3 ) で、太鼓のみで音階は含まれないが楽曲伝統分類を 2 とする。

17 . 雅楽「平調越天楽」 演奏 ; 宮内庁式部職楽部

中学校 1 年の共通教材でもあり、冒頭部を取上げ、両分類 3 である。

18 . 雅楽「平調越天楽」 箏篳 ; 東儀秀樹 他 ( リコーダー、鍵盤ハーモニカ等 )

前曲と同曲 ( 楽曲伝統分類 3 ) で、箏篳をリコーダーに、笙を鍵盤ハーモニカに置き換える等の小学生の西洋楽器による合奏 ( 形態伝統分類 2 ) である。

19 . 「遭遇 番」 作曲 ; 石井眞木 指揮 ; 石井眞木 雅楽 ; 芝祐靖と伶楽舎

---

---

演奏；新日本フィルハーモニー交響楽団

1971年作の西洋音楽と日本の伝統音楽の融合した(楽曲伝統分類2)作品で、オーケストラと雅楽との融合(形態伝統分類2)を試み大きな反響があった曲である。

20. 「G A G A K U」 作曲；ウイントン・マルサリス 演奏；ウイントン・マルサリス楽団

洋楽器による雅楽風のフレーズを取り入れた(楽曲伝統分類2)ジャズで、演奏は洋楽器のみ(形態伝統分類1)である。

21. 「ひこぼしの涙」 作曲・演奏；東儀秀樹 他(キーボード)

演奏者自身が作曲したオリジナル作品(楽曲伝統分類1)で、箏のソロとキーボード(形態伝統分類2)の伴奏によるスタジオ収録である。

22. 「星空につつまれて」 作曲；東儀秀樹 箏；東儀秀樹 指揮；マリオ・クレムス

演奏；チェコ・フィルハーモニー室内管弦楽団

前曲同様、演奏者自身が作曲したオリジナル作品(楽曲伝統分類1)で、箏とオーケストラ(形態伝統分類2)の共演によるホール収録である。

23. 「虚空」 作曲；石井眞木 龍笛；赤尾三千子

打楽器；細谷一郎 植松透 板倉利之

西洋音楽と日本の伝統音楽の融合した(楽曲伝統分類2)石井眞木1987年の室内楽作品で、龍笛と西洋打楽器(形態伝統分類2)の演奏である。

24. 「田楽笛即興曲」 作曲；一噌幸弘 田楽笛；一噌幸弘

和太鼓；ヒダノ修一 ギター；鬼努無月

演奏者自身が作曲したオリジナル作品(楽曲伝統分類2)で、田楽笛と和太鼓、ギター(形態伝統分類2)の共演である。

25. 「天海」 作曲；宮下伸 三十絃；宮下伸 打楽器；Y A S K A Z

演奏者自身が作曲したオリジナル作品(楽曲伝統分類1)で、三十絃と西洋打楽器(形態伝統分類2)の共演である。

26. 「祝宴(竹取物語から)」 作曲；三宅一徳 演奏；箏座

演奏者自身が作曲したオリジナル作品(楽曲伝統分類1)で、尺八、十七絃、キーボード、大正琴(形態伝統分類2)の演奏で、TV番組のBGMに用いられた。

27. 「ZOOM」 作曲；中村明一 演奏；KoKoo(コク-)

演奏者自身が作曲したオリジナル作品(楽曲伝統分類1)で、尺八、20絃、17絃(形態伝統分類2)の演奏で、箏は桴で叩いて演奏する。

---

---

28. 「ノヴェンバーステップス」 作曲；武満徹 指揮；岩城宏之

演奏；NHK 交響楽団 尺八；横山勝也 琵琶；鶴田錦史

尺八、琵琶、オーケストラ（形態伝統分類 2）の演奏で、第 10 段目の独奏者の即興性が存分に発揮されている部分（楽曲伝統分類 2）である。

29. 「敦盛」 作曲；坂田美子 演奏；おりひめ

演奏者自身が作曲したオリジナル作品（楽曲伝統分類 2）で、琵琶、尺八、キーボードに加え歌がメイン（形態伝統分類 2）となる。

30. 和琴による音階

和琴の音階上・下行の演奏を大きく映し出し、両分類は共に 3 である。

以上、30 曲にしぼりこみ調査を実施する。なお、表 25（p.52）に一覧をまとめた。

#### （ 4 ）調査の手続き

予備調査対象校以外の音楽科担当者には事前に概略を説明し理解を得たうえで、平成 15 年 9 月 28 日兵庫県立夢野台高等学校音楽室にて調査の目的・方法について直接説明し協力を依頼した<sup>29</sup>。その後、同対象校管理職（校長）の了承を得た上で、表 1（p.11）に挙げる生徒を対象に調査を実施した。

#### （ 5 ）調査日程

兵庫県箏曲授業研究グループにおける平成 15 年度 2 学期～3 学期の授業計画の中で同・代表者（植村幸市教諭）が所属する兵庫県立夢野台高等学校の箏 10 面を同校以外の高校へ順次ローテーションして行き、平成 16 年 3 月研究報告会が催される。この研究会に共同参画し、授業計画によっては平成 15 年 12 月や翌 16 年 1・2 月に授業実施となる学校に対しても、本調査の趣旨を理解いただき平成 15 年 10～11 月の当該授業内に実施した。

#### （ 6 ）回答方法・所要時間

基礎データの記入については、予備調査と同じく、性別、学年、音楽経験の有無及び具体的な楽器名等や年数を記入させ、行動・実状項目、意見項目も予備調査同様 5 件法を用いた。ただし、予備調査結果に記した通り、本調査では「ほとんどそ

---

<sup>29</sup> 説明会当日欠席だった 2 校へは後日直接学校へ伺い依頼した。

---

の通り = 5」「非常にそう思う = 5」に置き換え、記載順は数字昇順とした。

所要時間は、前半の行動・実状項目、意見項目は予備調査同様、欠損値がでないよう注意を促し説明を重ねるとともに、回答時間の超過や不足に可能な限り至らないよう考慮しながら 10～15 分程度の幅をもたせた。視聴項目は表 2 視聴曲一覧にある通り 14 分 14 秒である。

### 【3】分析

#### (1) データ処理

予備調査同様、各項目 5 段階の評定尺度を得点化し数値データとした上で、表 3 に挙げた通り被験者 1030 名のうち、欠損値を含む個人データを除いた 942 名のデータを用い分析を行った。質問項目のうち( - )項目については素データを 6 から差し引き数値をリコードした。

表 8 データ数一覧

・欠損値を除く有効データ(学校別)

	鴻巣女子	夢野台	明石南	三木北	星陵	明石北	加古川西	合計
有効	50	118	140	100	176	201	157	942
無効	12	7	12	20	5	26	6	88
合計	62	125	152	120	181	227	163	1030

・有効データ中の音楽経験者数(学校別と男女別)

	鴻巣女子	夢野台	明石南	三木北	星陵	明石北	加古川西	合計
無し	19	35	62	40	54	77	50	337
和・有り	6	4	3	3	3	1	7	27
洋・有り	25	79	75	57	119	123	100	578
合計	50	118	140	100	176	201	157	942

	男子	女子	合計
無し	244	93	337
和・有り	5	22	27
洋・有り	109	469	578
合計	358	584	942

ア 異なるグループ間における全体平均値の差(分散分析)

(ア)学校別 (イ)男女別 (ウ)音楽経験別<sup>30</sup>

イ 項目の平均値と標準偏差<sup>31</sup>

<sup>30</sup> 経験者を、無し・日本音楽有り・西洋音楽有り、に分けた。

<sup>31</sup> 基本統計量一覧は巻末 2-2 を参照

---

## ウ 日常生活及び音楽環境と日本音楽に対する生徒の志向の分析

### 仮説 1 の検証

仮説 1 日本音楽に対する生徒の志向は、日常生活及び音楽環境やそれらに付随する意見と関連がある。

意見項目の中から、日本音楽に対する生徒の志向を尋ねる下記 4 項目を選び出し、それぞれが実態項目、意見の中の生活項目、意見の中の鑑賞及び伝統・郷土、演奏項目とどう一致するか分析する。

日本音楽全般に対する親近感を問う項目 = D20 「日本音楽には親しみがもてない」(項目名<sup>32</sup>; 疎遠)

日本音楽の鑑賞のみに絞り、好き嫌いを問う項目 = D17 「日本音楽を鑑賞する事は好きだ」(項目名; 日本音楽・鑑賞)

日本音楽を自ら演奏する事を問う項目 = D24 「自国の伝統音楽がなにかしら演じられる方がよい」(項目名; 伝統自演)

日本音楽を自ら演奏する事の中で具体的に楽器を箏に指定した項目 = D27 「実際に自分で箏を演奏したい」(項目名; 箏自演)

## エ 比較対照となる各 2 曲計 20 組の日本らしさの平均値についての分析

### 仮説 2 の検証

仮説 2 生徒がより日本らしさを感じるのは日本の伝統音楽だけとは限らない。

視聴曲 30 曲の中から、比較対照となる 2 曲ずつ 20 組を選び出し、生徒が判断した日本らしさの平均値について分析する。

## オ 同一曲の「日本度」「心地よさ度」のそれぞれの平均値についての分析

### 仮説 3 の検証

仮説 3 生徒がより日本らしさを感じる演奏は視聴して心地よい。

演奏から日本らしさを感じる度合いと心地よさとがどのような関係にあるか、同一曲について尋ねた「日本度」「心地よさ度」のそれぞれの平均に有意な差が認められるか 30 曲全てについて分析する。

---

<sup>32</sup> 項目名一覧は、p.12-p.14 表 2 参照。

( 2 ) 結果と考察

ア 異なるグループ間における全体平均値の差 (分散分析)

表9の通り、学校別、男女別、音楽経験別全体平均に、有意な差は無かった(網掛け表示)。特に学校による差はほとんどない事が数値にあらわれ、これを前提に今後の分析を進める。

表9 分散分析結果

質問項目全110項目 (実態・意見 = 50、視聴 = 60) の各平均値との分散分析

分散分析 : 一元配置

学校別概要

グループ	標本数	合計	平均	分散
鴻巣女子	110	324.3	2.95	0.55
夢野台	110	326.0	2.96	0.57
明石南	110	321.5	2.92	0.54
三木北	110	323.1	2.94	0.53
星陵	110	320.1	2.91	0.62
明石北	110	323.2	2.94	0.59
加古川西	110	321.7	2.92	0.58

分散分析表

有意な差は無い

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	0.21	6	0.03	0.06	1.00	2.11
グループ内	433.38	763	0.57			
合計	433.58	769				

男女別概要

グループ	標本数	合計	平均	分散
男子	110	311.92	2.84	0.55
女子	110	329.05	2.99	0.59

分散分析表

有意な差は無い

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	1.33	1	1.33	2.33	0.13	3.88
グループ内	124.68	218	0.57			
合計	126.01	219				

音楽経験別概要

グループ	標本数	合計	平均	分散
無し	110	318.06	2.89	0.56
和有り	110	333.74	3.03	0.50
洋有り	110	324.63	2.95	0.57

分散分析表

有意な差は無い

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
グループ間	1.13	2	0.56	1.04	0.36	3.02
グループ内	177.97	327	0.54			
合計	179.10	329				



## イ 項目の平均値と標準偏差

表 10 の通り、平均値及び標準偏差から、生活実態や日本音楽に対する経験、意見、志向が低い傾向にある事がわかる。その低さが何と関連するかクロス分析する。

表 10 平均値と標準偏差；実態・意見項目

項目番号	項目名	合計	標本数	平均値	標準偏差	中央値	最頻値
C01	朝食実態	2525	942	2.68	1.37	2	2
C02	昼食実態	2651	942	2.81	0.99	3	3
C03	衣服実態	2136	942	2.27	1.36	2	1
C04	トナ	1493	942	1.58	0.89	1	1
C05	上履	3149	942	3.34	1.22	3	3
C06	入浴実態	3422	942	3.63	1.25	4	5
C07	機会僅少	2239	942	2.38	1.23	2	2
C08	身内	1725	942	1.83	1.16	1	1
C09	幼少記憶	1927	942	2.05	1.33	1	1
C10	所持	1246	942	1.32	0.90	1	1
C11	春の海	1422	942	1.51	1.05	1	1
C12	六段	1657	942	1.76	1.15	1	1
C13	越天楽	2317	942	2.46	1.51	2	1
C14	勸進帳	1844	942	1.96	1.36	1	1
C15	鹿の遠音	1379	942	1.46	0.96	1	1
D01	朝食	2936	942	3.12	1.23	3	3
D02	昼食	2773	942	2.94	1.03	3	3
D03	衣服	1495	942	1.59	0.81	1	1
D04	入浴	3725	942	3.95	1.18	4	5
D05	映画	2591	942	2.75	1.10	3	3
D06	時代劇・映像	3974	942	4.22	1.13	5	5
D07	時代劇・BGM	3471	942	3.68	1.25	4	5
D08	デザート	2423	942	2.57	1.09	3	3
D09	飲料	2236	942	2.37	1.14	2	2
D10	和食店	3228	942	3.43	1.20	4	4
D11	レストラン	3400	942	3.61	1.18	4	4
D12	居住	2510	942	2.66	1.09	3	3
D13	宿泊予約	2619	942	2.78	1.07	3	3
D14	宿泊夕食	2916	942	3.10	1.12	3	3
D15	宿泊朝食	3140	942	3.33	1.20	3	3
D16	旅行	2344	942	2.49	1.37	2	1
D17	日本音楽・鑑賞	2515	942	2.67	1.08	3	3
D18	演奏世代	3514	942	3.73	1.03	4	3
D19	堅苦しさ	2752	942	2.92	1.11	3	2
D20	疎遠	2919	942	3.10	1.09	3	3
D21	癒し	2952	942	3.13	0.99	3	3
D22	祭好き	3902	942	4.14	1.05	4	5
D23	囃子	2535	942	2.69	1.17	3	3
D24	伝統自演	2908	942	3.09	0.99	3	3
D25	自他不問	1959	942	2.08	1.03	2	1
D26	学外	2570	942	2.73	1.08	3	3
D27	箏自演	2762	942	2.93	1.26	3	4
D28	三味線自演	2924	942	3.10	1.27	3	4
D29	尺八自演	2611	942	2.77	1.21	3	3
D30	和太鼓自演	3042	942	3.23	1.26	3	4
D31	有料演奏	1637	942	1.74	0.94	1	1
D32	洋風アレンジ	2499	942	2.65	1.18	3	2
D33	和風アレンジ	2567	942	2.73	1.15	3	3
D34	英訳	2457	942	2.61	1.22	3	2
D35	和訳	1914	942	2.03	1.13	2	1

表 11 平均値と標準偏差；視聴項目

表 11 の通り、視聴曲については、項目即ち楽曲の違いや心地よさの違いにより大きな差がある。クロス分析、t 検定により検証する。

項目番号	合計	標本数	平均値	標準偏差	中央値	最頻値
A01	4626	942	4.91	0.31	5	5
B01	3498	942	3.71	0.94	4	4
A02	3813	942	4.05	0.88	4	4
B02	3123	942	3.32	0.98	3	3
A03	3841	942	4.08	0.85	4	4
B03	3248	942	3.45	0.99	3	3
A04	4143	942	4.40	0.84	5	5
B04	2609	942	2.77	0.96	3	3
A05	3324	942	3.53	1.06	4	3
B05	2468	942	2.62	0.95	3	3
A06	3565	942	3.78	1.04	4	4
B06	3584	942	3.80	0.88	4	4
A07	1897	942	2.01	0.89	2	2
B07	2826	942	3.00	1.08	3	3
A08	2552	942	2.71	1.04	3	2
B08	2880	942	3.06	0.84	3	3
A09	2168	942	2.30	1.07	2	2
B09	2536	942	2.69	0.88	3	3
A10	2229	942	2.37	0.99	2	2
B10	2706	942	2.87	0.92	3	3
A11	3575	942	3.80	0.97	4	4
B11	3891	942	4.13	0.89	4	5
A12	3619	942	3.84	1.01	4	4
B12	3220	942	3.42	0.99	3	3
A13	4107	942	4.36	0.78	5	5
B13	3179	942	3.37	0.95	3	3
A14	2014	942	2.14	0.86	2	2
B14	3192	942	3.39	0.93	3	3
A15	2954	942	3.14	0.99	3	3
B15	2885	942	3.06	0.86	3	3
A16	2373	942	2.52	0.93	3	3
B16	2280	942	2.42	0.89	2	3
A17	4411	942	4.68	0.81	5	5
B17	2437	942	2.59	1.12	3	3
A18	3651	942	3.88	0.94	4	4
B18	2332	942	2.48	0.84	3	3
A19	2421	942	2.57	0.96	3	3
B19	1774	942	1.88	0.88	2	1
A20	1276	942	1.35	0.63	1	1
B20	2764	942	2.93	0.97	3	3
A21	2411	942	2.56	1.04	3	3
B21	3146	942	3.34	1.00	3	3
A22	2081	942	2.21	0.85	2	2
B22	3064	942	3.25	0.86	3	3
A23	3217	942	3.42	0.99	3	4
B23	2025	942	2.15	0.86	2	2
A24	3190	942	3.39	0.93	4	4
B24	2689	942	2.85	0.90	3	3
A25	2517	942	2.67	0.84	3	3
B25	2536	942	2.69	0.79	3	3
A26	3230	942	3.43	0.94	4	4
B26	3197	942	3.39	0.86	3	3
A27	2482	942	2.63	0.83	3	3
B27	2707	942	2.87	0.83	3	3
A28	3639	942	3.86	0.98	4	4
B28	2327	942	2.47	0.84	3	3
A29	3549	942	3.77	0.91	4	4
B29	2293	942	2.43	0.89	2	3
A30	3530	942	3.75	0.98	4	3
B30	2164	942	2.30	0.96	2	3

## ウ 日常生活及び音楽環境と日本音楽に対する生徒の志向（3重クロス分析）

### 仮説1の検証

**仮説1 日本音楽に対する生徒の志向は、日常生活及び音楽環境やそれらに付随する意見と関連がある。**

3重クロス集計結果（表12～表24）のうち、Dim欄の数は1対1の2変数の組合わせ（=1）か2対1の3変数の組合せ（=2）を示し、nk欄は尺度数の組合わせ、AIC<sup>33</sup>欄は値が正の時、質問項目同士は独立し関連を重視しない。 Diff欄は1位上のAICとの差を示す<sup>34</sup>。このAICの小さい順に30位まで表示し、その1位または頻度の高い項目を含まれるモデルをグラフ<sup>35</sup>に表し、～の項目と実態、意見、演奏項目との関連を探る。

### 20「日本音楽には親しみがもてない」（項目名；疎遠）

(I) 「疎遠」と実態全15項目との関わり

表12の通り、AICが正でない（網掛表記）のは13位まで、全15項目中13項目となっている。

楽曲（太字表記＝13位まで）の認知度の低さとの関連は容易に推察できるが、日常生活の西洋化が大きく関連している事が示された。

グラフ1（p.43）に1位の「機会僅少」との関わりを示す。日頃、日本音楽に接する機会が少ないことが日本音楽に親しみをもてないという結果が表れている。

表12

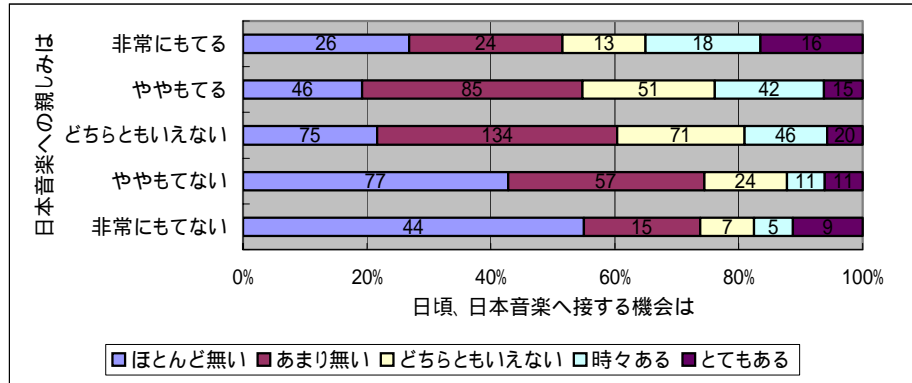
No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	機会僅少 疎遠	1	5	<b>-60.35</b>	
2	身内 疎遠	1	5	-32.24	28.11
3	<b>春の海</b> 疎遠	1	5	-25.80	6.44
4	衣服実態 疎遠	1	5	-25.40	0.40
5	六段 疎遠	1	5	-23.98	1.42
6	越天楽 疎遠	1	5	-14.98	9.00
7	ドラ 疎遠	1	5	-10.71	4.27
8	幼少記憶 疎遠	1	5	-7.64	3.07
9	朝食実態 疎遠	1	5	-6.92	0.72
10	勸進帳 疎遠	1	5	-6.76	0.17
11	入浴実態 疎遠	1	5	-3.47	3.29
12	所持 疎遠	1	5	-1.48	1.99
13	<b>鹿の遠音</b> 疎遠	1	5	-0.89	0.59
14	朝食実態 + 機会僅少 疎遠	2	25	1.28	2.17
15	上履 疎遠	1	5	6.84	5.56
16	昼食実態 疎遠	1	5	7.59	0.75
17	機会僅少 + 越天楽 疎遠	2	25	8.20	0.62
18	衣服実態 + 機会僅少 疎遠	2	25	9.08	0.87
19	上履 + 機会僅少 疎遠	2	25	10.48	1.41
20	機会僅少 + 六段 疎遠	2	25	11.30	0.82
21	機会僅少 + 身内 疎遠	2	25	11.85	0.55
22	機会僅少 + 幼少記憶 疎遠	2	25	15.83	3.98
23	入浴実態 + 機会僅少 疎遠	2	25	19.89	4.05
24	機会僅少 + 勸進帳 疎遠	2	25	23.81	3.92
25	機会僅少 + 春の海 疎遠	2	25	25.36	1.55
26	昼食実態 + 機会僅少 疎遠	2	25	28.78	3.43
27	朝食実態 + 入浴実態 疎遠	2	25	34.68	5.90
28	ドラ + 機会僅少 疎遠	2	25	37.04	2.36
29	朝食実態 + 衣服実態 疎遠	2	25	39.69	2.65
30	機会僅少 + 鹿の遠音 疎遠	2	25	40.58	0.89

<sup>33</sup> 赤池情報量基準（AIC: Akaike's Information Criterion）

<sup>34</sup> 高嶋裕一 システム理論講義録第12章より引用

<sup>35</sup> グラフ中の用語は質問項目に応じて、よりわかり易いよう表現を変えた。

グラフ 1



(オ) 「疎遠」と意見項目のうち生活 11 項目との関わり

表 13 の通り、AIC が 表 13

正でない（網掛表記）のは 14 位まで、全 11 項目中 10 項目となっている。

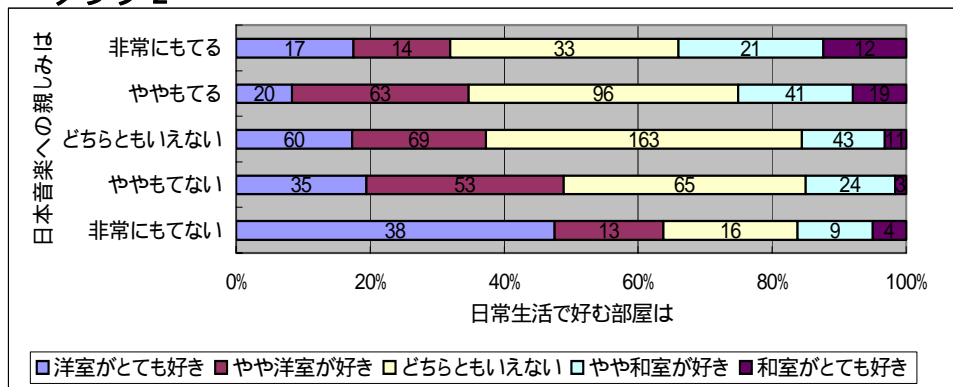
実態に関しては必ずしも本人の意思によってきまったものとも限らない（家族、特に親に決定権がある場合等）のに対して、意見項目は高校生自身の考えが反映し、西洋化の浸透が日本音楽を遠ざける事を示している。

1 位の「居住」との関わりを表したグラフ 2 から、和室を

好まない程、日本音楽に親しみをもてない傾向であることがわかる。

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	居住 疎遠	1	5	-61.46	
2	宿泊予約 疎遠	1	5	-56.06	5.41
3	飲料 疎遠	1	5	-30.95	25.10
4	宿泊朝食 疎遠	1	5	-13.54	17.41
5	昼食 疎遠	1	5	-12.71	0.83
6	デザート 疎遠	1	5	-12.16	0.55
7	朝食 疎遠	1	5	-9.00	3.16
8	宿泊夕食 疎遠	1	5	-7.61	1.39
9	昼食 + 居住 疎遠	2	25	-3.66	3.95
10	飲料 + 宿泊予約 疎遠	2	25	-3.27	0.39
11	衣服 疎遠	1	5	-2.38	0.89
12	入浴 疎遠	1	5	-1.99	0.38
13	居住 + 宿泊予約 疎遠	2	25	-1.89	0.10
14	朝食 + 宿泊予約 疎遠	2	25	-0.03	1.86
15	昼食 + 宿泊予約 疎遠	2	25	4.67	4.70
16	旅行 疎遠	1	5	11.42	6.75
17	朝食 + 居住 疎遠	2	25	13.24	1.82
18	宿泊予約 + 旅行 疎遠	2	25	14.51	1.27
19	宿泊予約 + 宿泊朝食 疎遠	2	25	16.99	2.48
20	飲料 + 宿泊朝食 疎遠	2	25	20.07	3.08
21	飲料 + 居住 疎遠	2	25	20.47	0.40
22	デザート + 居住 疎遠	2	25	23.86	3.39
23	居住 + 旅行 疎遠	2	25	25.77	1.91
24	デザート + 宿泊予約 疎遠	2	25	28.70	2.92
25	入浴 + 居住 疎遠	2	25	28.81	0.11
26	居住 + 宿泊朝食 疎遠	2	25	29.91	1.10
27	デザート + 宿泊朝食 疎遠	2	25	30.50	0.59
28	入浴 + 宿泊予約 疎遠	2	25	31.44	0.94
29	居住 + 宿泊夕食 疎遠	2	25	31.60	0.16
30	衣服 + 居住 疎遠	2	25	32.26	0.67

グラフ 2



(カ) 「疎遠」と意見項目のうち鑑賞及び伝統・郷土、演奏 24 項目との関わり

表 14 の通り、AIC 表 14

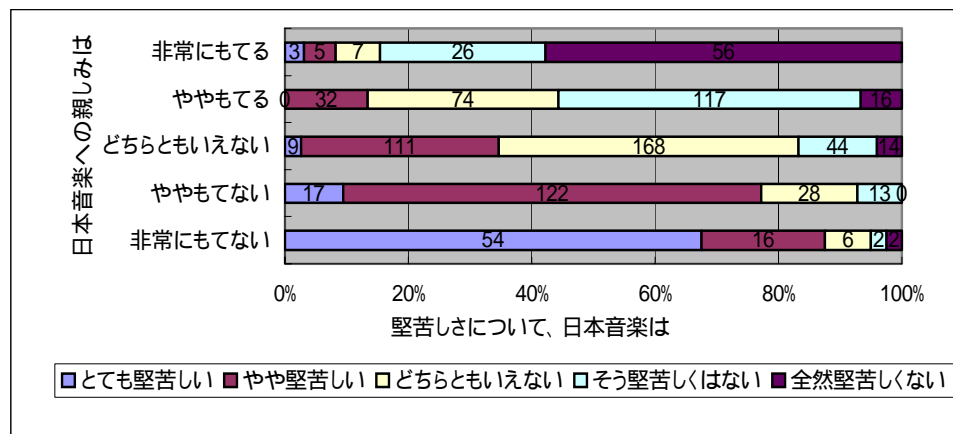
が正でない(網掛表記)のは 30 位まで全 24 項目中 23 項目となり、AIC もたいへん小さな値となっている。これらの上位の中に「日本音楽は堅苦しい」(D19; 堅苦しさ)が多数含まれており(太字表記) 表 8 (p.37) 基礎データにおける日本音楽経験者の少な

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	堅苦しさ + 癒し 疎遠	2	25	-665.72	
2	日本音楽・鑑賞 + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-661.56	4.16
3	堅苦しさ 疎遠	1	5	-658.25	3.31
4	堅苦しさ + 学外 疎遠	2	25	-654.40	3.85
5	堅苦しさ + 三味線自演 疎遠	2	25	-613.29	41.11
6	堅苦しさ + 尺八自演 疎遠	2	25	-609.40	3.90
7	堅苦しさ + 伝統自演 疎遠	2	25	-608.07	1.33
8	有料演奏 + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-588.36	19.70
9	堅苦しさ + 箏自演 疎遠	2	25	-588.34	0.02
10	演奏世代 + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-564.68	23.66
11	英訳 + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-560.98	3.70
12	和風アルバム + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-548.26	12.72
13	堅苦しさ + 祭好き 疎遠	2	25	-546.24	2.02
14	堅苦しさ + 自他不問 疎遠	2	25	-543.96	2.27
15	洋風アルバム + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-541.23	2.73
16	堅苦しさ + 和太鼓自演 疎遠	2	25	-537.93	3.31
17	和訳 + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-536.27	1.66
18	時代劇・BGM + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-536.19	0.08
19	時代劇・映像 + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-535.51	0.68
20	堅苦しさ + 囃子 疎遠	2	25	-525.24	10.27
21	レストラン + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-524.18	1.06
22	和食店 + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-522.09	2.09
23	映画 + 堅苦しさ 疎遠	2	25	-513.43	8.66
24	日本音楽・鑑賞 + 癒し 疎遠	2	25	-357.40	156.04
25	日本音楽・鑑賞 疎遠	1	5	-318.43	38.97
26	癒し + 学外 疎遠	2	25	-318.06	0.37
27	演奏世代 + 癒し 疎遠	2	25	-313.89	4.16
28	日本音楽・鑑賞 + 学外 疎遠	2	25	-308.99	4.91
29	日本音楽・鑑賞 + 演奏世代 疎遠	2	25	-303.82	5.17
30	演奏世代 + 学外 疎遠	2	25	-300.45	3.37

実技を経験して回答している者は多くなく、校内外での鑑賞による判断に至っていないと思われる。

その頻出した「堅苦しさ」をグラフ 3 に表した。日本音楽に親しみがもてないのは日本音楽を堅苦しいと感じることにひとつの原因があると言える。

グラフ 3



D17「日本音楽を鑑賞することは好きだ」(項目名; 日本音楽・鑑賞)

(I)「日本音楽・鑑賞」と実態全 15 項目との関わり

表 15 の通り、AIC 表 15

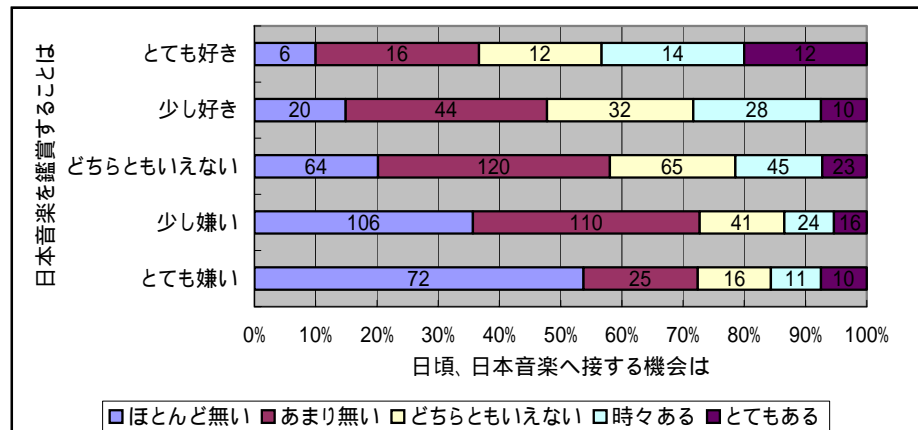
が正でない(網掛表記)のは 18 位まで、全 15 項目中 12 項目となっている。特に「日頃、日本音楽に親しむ機会がない」(C07; 機会僅少)が頻出(太字表記 = 18 位まで)し、日本音楽を鑑賞することの好き嫌いが、日頃耳にする機会に左右される事がわかる。既に起用されてはいるが、CM や BGM

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	機会僅少 日本音楽・鑑賞	1	5	-78.69	
2	衣服実態 + 機会僅少 日本音楽・鑑賞	2	25	-57.94	20.75
3	身内 日本音楽・鑑賞	1	5	-42.87	15.07
4	衣服実態 日本音楽・鑑賞	1	5	-34.71	8.16
5	機会僅少 + 身内 日本音楽・鑑賞	2	25	-23.40	11.31
6	勤進帳 日本音楽・鑑賞	1	5	-21.33	2.07
7	幼少記憶 日本音楽・鑑賞	1	5	-20.16	1.17
8	ドラマ 日本音楽・鑑賞	1	5	-18.18	1.98
9	機会僅少 + 勤進帳 日本音楽・鑑賞	2	25	-18.14	0.04
10	春の海 日本音楽・鑑賞	1	5	-17.61	0.53
11	越天楽 日本音楽・鑑賞	1	5	-15.28	2.34
12	所持 日本音楽・鑑賞	1	5	-14.87	0.41
13	機会僅少 + 越天楽 日本音楽・鑑賞	2	25	-8.17	6.70
14	入浴実態 + 機会僅少 日本音楽・鑑賞	2	25	-8.11	0.06
15	六段 日本音楽・鑑賞	1	5	-6.41	1.70
16	上履 + 機会僅少 日本音楽・鑑賞	2	25	-5.18	1.22
17	機会僅少 + 幼少記憶 日本音楽・鑑賞	2	25	-5.15	0.04
18	ドラマ + 機会僅少 日本音楽・鑑賞	2	25	-0.94	4.21
19	朝食実態 + 機会僅少 日本音楽・鑑賞	2	25	1.74	2.68
20	鹿の遠音 日本音楽・鑑賞	1	5	3.60	1.85
21	朝食実態 日本音楽・鑑賞	1	5	3.74	0.15
22	機会僅少 + 春の海 日本音楽・鑑賞	2	25	3.79	0.05
23	機会僅少 + 六段 日本音楽・鑑賞	2	25	3.92	0.13
24	機会僅少 + 鹿の遠音 日本音楽・鑑賞	2	25	6.18	2.26
25	衣服実態 + 身内 日本音楽・鑑賞	2	25	6.85	0.67
26	昼食実態 日本音楽・鑑賞	1	5	7.11	0.26
27	上履 日本音楽・鑑賞	1	5	7.17	0.06
28	入浴実態 日本音楽・鑑賞	1	5	12.30	5.13
29	衣服実態 + 幼少記憶 日本音楽・鑑賞	2	25	18.58	6.28
30	衣服実態 + 勤進帳 日本音楽・鑑賞	2	25	25.50	6.92

等に、より多く起用されると傾向が変化するかもしれない。学校教育にのみ機会増加を求めるには限界がある。

グラフ 4 は、1 位の「機会僅少」との関わりを示す。日頃、日本音楽に接する機会が少ないことが日本音楽を鑑賞するのを好まない傾向へと結び付けているのがよくわかる。

グラフ 4



(オ)「日本音楽・鑑賞」と意見項目のうち生活 11 項目との関わり

表 16 の通り、AIC 表 16

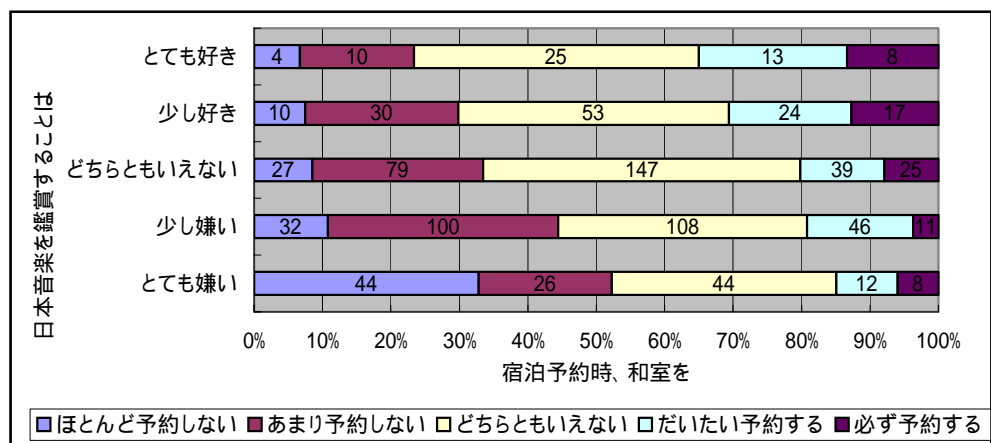
が正でない（網掛表記）のは 10 位まで、全 11 項目中 9 項目となっている。高校生にとって、自ら宿泊を予約する機会はそう多い事ではないが、修学旅行準備の部屋割の際にグループやクラスで必ず話題にあがり、高校生のこだわりに触れる事項である。

この「宿泊予約」の AIC 値が最小となっ

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	宿泊予約 日本音楽・鑑賞	1	5	-47.70	
2	デザート 日本音楽・鑑賞	1	5	-28.79	18.91
3	居住 日本音楽・鑑賞	1	5	-27.62	1.17
4	飲料 日本音楽・鑑賞	1	5	-20.44	7.18
5	宿泊夕食 日本音楽・鑑賞	1	5	-14.04	6.40
6	宿泊朝食 日本音楽・鑑賞	1	5	-10.59	3.44
7	衣服 日本音楽・鑑賞	1	5	-8.19	2.41
8	昼食 日本音楽・鑑賞	1	5	-6.12	2.07
9	宿泊予約 + 旅行 日本音楽・鑑賞	2	25	-3.92	2.20
10	旅行 日本音楽・鑑賞	1	5	-1.84	2.08
11	朝食 日本音楽・鑑賞	1	5	8.00	9.84
12	入浴 日本音楽・鑑賞	1	5	8.72	0.72
13	デザート + 宿泊予約 日本音楽・鑑賞	2	25	17.98	9.26
14	宿泊予約 + 宿泊朝食 日本音楽・鑑賞	2	25	23.17	5.19
15	朝食 + 宿泊予約 日本音楽・鑑賞	2	25	25.65	2.48
16	居住 + 宿泊予約 日本音楽・鑑賞	2	25	26.20	0.55
17	デザート + 居住 日本音楽・鑑賞	2	25	30.12	3.93
18	宿泊予約 + 宿泊夕食 日本音楽・鑑賞	2	25	31.03	0.91
19	昼食 + 宿泊予約 日本音楽・鑑賞	2	25	33.19	2.16
20	飲料 + 宿泊予約 日本音楽・鑑賞	2	25	36.05	2.85
21	デザート + 宿泊夕食 日本音楽・鑑賞	2	25	36.28	0.23
22	デザート + 飲料 日本音楽・鑑賞	2	25	41.36	5.09
23	入浴 + 宿泊予約 日本音楽・鑑賞	2	25	41.56	0.20
24	宿泊朝食 + 旅行 日本音楽・鑑賞	2	25	47.61	6.05
25	衣服 + 宿泊予約 日本音楽・鑑賞	2	25	49.73	2.12
26	飲料 + 宿泊朝食 日本音楽・鑑賞	2	25	49.86	0.13
27	昼食 + デザート 日本音楽・鑑賞	2	25	50.29	0.43
28	飲料 + 居住 日本音楽・鑑賞	2	25	51.60	1.31
29	衣服 + デザート 日本音楽・鑑賞	2	25	51.97	0.37
30	入浴 + デザート 日本音楽・鑑賞	2	25	52.94	0.98

おり、グラフ 5 に表してみた。宿泊予約時に洋室を選びたいと思うほど、日本音楽を鑑賞することを好まない傾向にある。

グラフ 5



(カ)「日本音楽・鑑賞」と意見項目のうち鑑賞及び伝統・郷土、演奏 23 項目との関わり

表 17 (p.47) の通り、AIC が正でない（網掛表記）のは 30 位まで全 23 項目

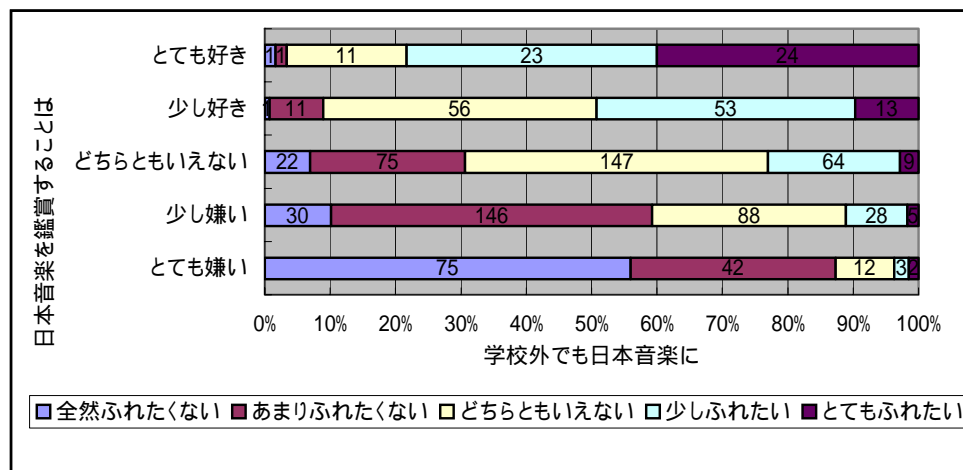


中 23 項目全てとなり、  
AIC もたいへん小さな  
値となっている。

特に「学校以外の  
場でも日本音楽にふ  
れてみたい」(D26 ;  
学外) は多く含まれ  
(太字表記)、グラフ  
6 に示す通り、日本音  
楽を鑑賞することを好  
まない場合、学校外で  
までふれたいとは思わ  
ない傾向が強い。

幼少からの地域活動、  
伝統芸能との密接な連  
携の必要性をあらため  
て感じた。

グラフ 6



**D24「自国の伝統音楽がなにかしら演じられる方がよい」(項目名; 伝統自演)**

(※)「伝統自演」と実態全 15 項目との関わり

表 18 (p.47) の通り、AIC が正でない(網掛表記)のは 6 位まで、全 15 項目  
中 6 項目にとどまっている。日本音楽の鑑賞と同様に「日頃、日本音楽に親しむ

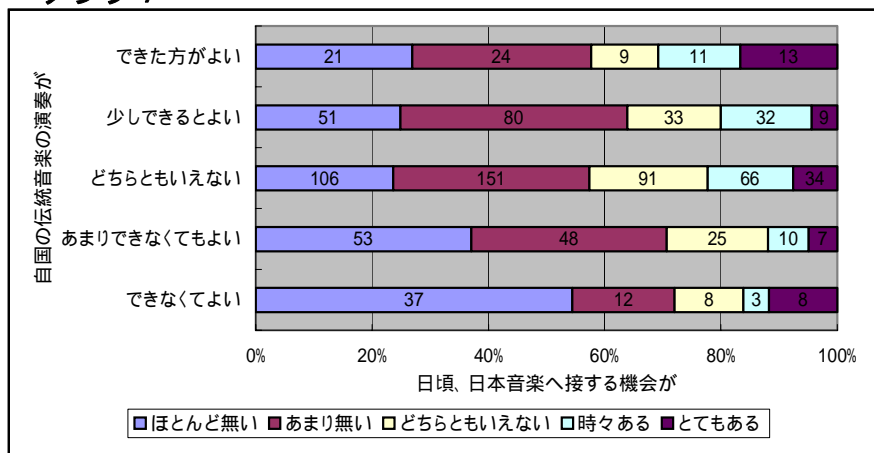


機会がない」(C07; 機会僅少)が1位となっているが、鑑賞と違い、実技には楽器の調達というさらに大きな壁が存在し、現場で用意の困難さを多く耳にする。口-テーションを含む賃借等、やっと取り揃えても教師自身の経験不足という問題がある。グラフ7からは、日頃接する機会が少なくても、演奏はできた方がよいと思っている生徒が予想以上に多いことがわかる。機会をふやす事を保障する予算配分、研修機会の増加等に加え、外部講師や地元伝統芸能に携わる方たちとの意思疎通が肝要である。

表 18

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	機会僅少 伝統自演	1	5	-26.97	
2	衣服実態 伝統自演	1	5	-24.71	2.26
3	入浴実態 伝統自演	1	5	-12.14	12.58
4	勸進帳 伝統自演	1	5	-11.68	0.45
5	越天楽 伝統自演	1	5	-0.52	11.16
6	身内 伝統自演	1	5	-0.46	0.06
7	春の海 伝統自演	1	5	1.12	1.58
8	鹿の遠音 伝統自演	1	5	1.55	0.43
9	ドラ 伝統自演	1	5	5.17	3.62
10	所持 伝統自演	1	5	6.78	1.62
11	六段 伝統自演	1	5	8.07	1.29
12	昼食実態 伝統自演	1	5	8.13	0.06
13	上履 伝統自演	1	5	8.79	0.66
14	幼少記憶 伝統自演	1	5	11.81	3.03
15	朝食実態 伝統自演	1	5	16.40	4.58
16	衣服実態 + 機会僅少 伝統自演	2	25	40.42	24.02
17	機会僅少 + 越天楽 伝統自演	2	25	41.22	0.80
18	機会僅少 + 勸進帳 伝統自演	2	25	42.68	1.47
19	衣服実態 + 入浴実態 伝統自演	2	25	50.07	7.38
20	入浴実態 + 機会僅少 伝統自演	2	25	52.04	1.98
21	機会僅少 + 幼少記憶 伝統自演	2	25	52.96	0.91
22	昼食実態 + 衣服実態 伝統自演	2	25	55.20	2.25
23	上履 + 入浴実態 伝統自演	2	25	59.16	3.96
24	衣服実態 + ドラ 伝統自演	2	25	64.64	5.48
25	機会僅少 + 身内 伝統自演	2	25	64.83	0.19
26	上履 + 機会僅少 伝統自演	2	25	65.21	0.39
27	ドラ + 機会僅少 伝統自演	2	25	66.00	0.78
28	入浴実態 + 勸進帳 伝統自演	2	25	66.25	0.26
29	衣服実態 + 身内 伝統自演	2	25	66.43	0.18
30	入浴実態 + 越天楽 伝統自演	2	25	66.56	0.13

グラフ7



(ク)「伝統自演」と意見項目のうち生活11項目との関わり

表19の通り、AICが正でない(網掛表記)のは6位まで、全11項目中6項目にとどまっている。上位を見ると

表 19

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	宿泊予約 伝統自演	1	5	-29.28	
2	居住 伝統自演	1	5	-24.35	4.94
3	入浴 伝統自演	1	5	-17.62	6.73
4	飲料 伝統自演	1	5	-7.69	9.93
5	宿泊夕食 伝統自演	1	5	-4.88	2.80
6	宿泊朝食 伝統自演	1	5	-4.10	0.79

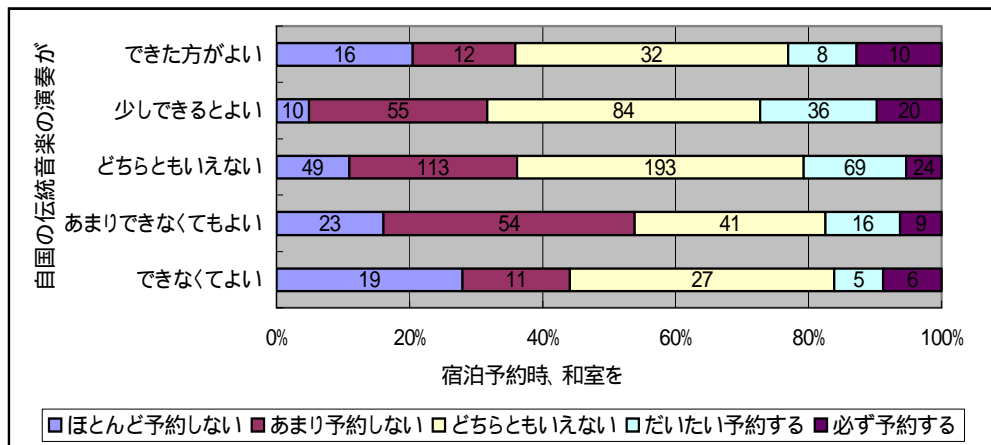
日本音楽鑑賞と同様、宿泊施設や居住空間に和・洋どちらを選択するかの意味が関連している結果となった。

ただし、AIC が負ではあるものの値はさほど小さくない。1位の「宿泊予約」をグラフ8に表した通り、和室希望の有無にかかわらず、伝統音楽の演奏ができた方がよいか、という問には大きな差のない回答が寄せられていることがわかる。

表 19(続き)

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
7	デザート 伝統自演	1	5	0.25	4.35
8	朝食 伝統自演	1	5	4.30	4.05
9	昼食 伝統自演	1	5	6.43	2.14
10	旅行 伝統自演	1	5	13.92	7.48
11	衣服 伝統自演	1	5	14.11	0.19
12	居住 + 宿泊予約 伝統自演	2	25	34.26	20.15
13	朝食 + 宿泊予約 伝統自演	2	25	37.81	3.55
14	入浴 + 宿泊予約 伝統自演	2	25	40.45	2.64
15	デザート + 居住 伝統自演	2	25	44.20	3.75
16	入浴 + デザート 伝統自演	2	25	46.22	2.02
17	昼食 + 宿泊予約 伝統自演	2	25	47.12	0.90
18	デザート + 宿泊予約 伝統自演	2	25	47.13	0.01
19	入浴 + 居住 伝統自演	2	25	49.69	2.56
20	飲料 + 居住 伝統自演	2	25	50.10	0.41
21	飲料 + 宿泊予約 伝統自演	2	25	53.36	3.26
22	入浴 + 飲料 伝統自演	2	25	54.09	0.73
23	デザート + 宿泊朝食 伝統自演	2	25	55.38	1.29
24	宿泊予約 + 旅行 伝統自演	2	25	56.20	0.82
25	居住 + 宿泊夕食 伝統自演	2	25	56.29	0.09
26	昼食 + 居住 伝統自演	2	25	56.79	0.50
27	居住 + 宿泊朝食 伝統自演	2	25	57.38	0.59
28	朝食 + 入浴 伝統自演	2	25	58.67	1.29
29	居住 + 旅行 伝統自演	2	25	59.16	0.49
30	宿泊予約 + 宿泊朝食 伝統自演	2	25	59.66	0.50

グラフ 8



(ケ) 「伝統自演」と意見項目のうち鑑賞及び伝統・郷土 17 項目との関わり

表 20 の通り、AIC が正でない（網掛表記）のは 30 位まで全 17 項目中 16 項目となり、AIC もたいへん小さな値となっている。特に「どこからともなくお囃子が聞こえてく

表 20

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	疎遠 + 囃子 伝統自演	2	25	-205.59	
2	癒し + 囃子 伝統自演	2	25	-174.97	30.62
3	日本音楽・鑑賞 + 囃子 伝統自演	2	25	-174.73	0.24
4	囃子 伝統自演	1	5	-168.79	5.93
5	堅苦しさ + 囃子 伝統自演	2	25	-156.22	12.57
6	疎遠 伝統自演	1	5	-146.59	9.63
7	演奏世代 + 囃子 伝統自演	2	25	-138.09	8.50
8	癒し 伝統自演	1	5	-122.49	15.61
9	和風ルーツ + 囃子 伝統自演	2	25	-120.35	2.14
10	日本音楽・鑑賞 伝統自演	1	5	-118.60	1.75
11	英訳 + 囃子 伝統自演	2	25	-118.35	0.25
12	洋風ルーツ + 囃子 伝統自演	2	25	-106.51	11.84

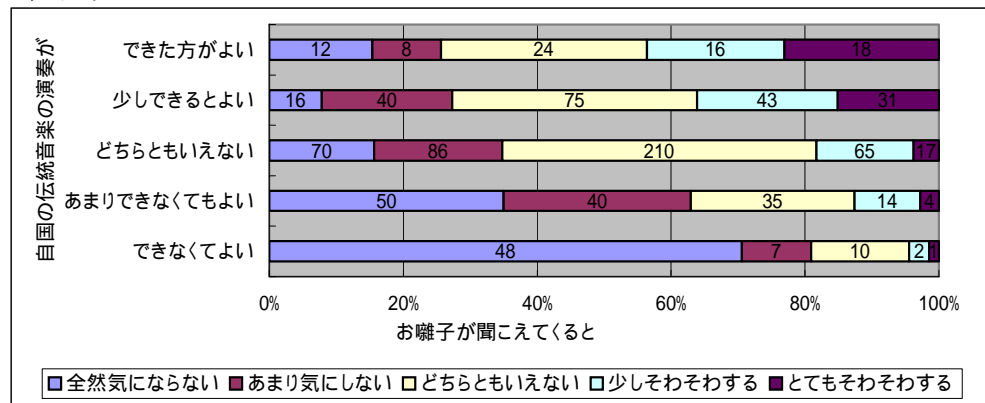
るとそわそわしてくる」

表 20(続き)

(D23 ; 囃子)は頻出(太字表記)し、グラフ9に表す通り、お囃子を聞いてそわそわしてくる気持ちと、伝統音楽を演奏できた方がよい、と思う気持ちには、関係が深いことがわかった。

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
13	疎遠 + 癒し 伝統自演	2	25	-103.08	3.43
14	時代劇・映像 + 疎遠 伝統自演	2	25	-97.96	5.13
15	時代劇・映像 + 囃子 伝統自演	2	25	-97.94	0.01
16	映画 + 囃子 伝統自演	2	25	-95.78	2.17
17	日本音楽・鑑賞 + 疎遠 伝統自演	2	25	-94.39	1.39
18	和訳 + 囃子 伝統自演	2	25	-93.75	0.64
19	有料演奏 + 囃子 伝統自演	2	25	-93.15	0.59
20	和食店 + 囃子 伝統自演	2	25	-88.45	4.71
21	疎遠 + 祭好き 伝統自演	2	25	-86.44	2.01
22	映画 + 疎遠 伝統自演	2	25	-86.31	0.13
23	レストラン + 囃子 伝統自演	2	25	-85.68	0.63
24	祭好き + 囃子 伝統自演	2	25	-83.06	2.62
25	堅苦しさ + 癒し 伝統自演	2	25	-81.69	1.37
26	有料演奏 + 疎遠 伝統自演	2	25	-80.88	0.81
27	日本音楽・鑑賞 + 癒し 伝統自演	2	25	-80.02	0.86
28	洋風アレンジ + 疎遠 伝統自演	2	25	-79.96	0.06
29	堅苦しさ 伝統自演	1	5	-79.30	0.66
30	和風アレンジ + 疎遠 伝統自演	2	25	-77.38	1.92

グラフ 9



D27「実際に自分で箏を演奏したい」(項目名; 箏自演)

(D)「箏自演」と実態全 15 項目との関わり

表 21 の通り、AIC 表 21

が正でない(網掛表記)のは 22 位まで、全 15 項目中 14 項目となっている。

頻出(太字表記)している「日本の祭りや花火大会には浴衣・甚平等の和装をして出かける事が多

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	衣服実態 箏自演	1	5	-100.12	
2	昼食実態 + 衣服実態 箏自演	2	25	-47.64	52.48
3	衣服実態 + 越天楽 箏自演	2	25	-44.02	3.62
4	衣服実態 + 機会僅少 箏自演	2	25	-33.43	10.58
5	衣服実態 + 春の海 箏自演	2	25	-29.61	3.82
6	機会僅少 箏自演	1	5	-28.31	1.30
7	衣服実態 + 六段 箏自演	2	25	-28.13	0.18
8	勸進帳 箏自演	1	5	-26.40	1.72
9	越天楽 箏自演	1	5	-25.70	0.70
10	六段 箏自演	1	5	-24.44	1.26
11	朝食実態 + 衣服実態 箏自演	2	25	-21.74	2.70
12	衣服実態 + 身内 箏自演	2	25	-20.34	1.41
13	衣服実態 + 勸進帳 箏自演	2	25	-17.60	2.73
14	衣服実態 + 幼少記憶 箏自演	2	25	-17.40	0.21
15	衣服実態 + 上履 箏自演	2	25	-15.90	1.50
16	衣服実態 + ドラマ 箏自演	2	25	-13.62	2.28
17	幼少記憶 箏自演	1	5	-12.72	0.90

い」(C03; 衣服実態)

表 21(続き)

は最頻値が 1<sup>36</sup>でありたいへん低い値である一方、「箏自演」は最頻値が 4 で大きく数字が違う。AIC では、たいへん高い関連性を数値が示しているのは何故か。そこで、浴衣にかかわることで男女差に原因があるものと仮

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
18	衣服実態 + 入浴実態 箏自演	2	25	-10.22	2.50
19	身内 箏自演	1	5	-8.06	2.16
20	春の海 箏自演	1	5	-8.02	0.04
21	鹿の遠音 箏自演	1	5	-6.67	1.35
22	昼食実態 箏自演	1	5	-5.23	1.45
23	所持 箏自演	1	5	3.76	8.98
24	トマ 箏自演	1	5	5.91	2.15
25	上履 箏自演	1	5	5.93	0.03
26	衣服実態 + 鹿の遠音 箏自演	2	25	7.17	1.23
27	朝食実態 箏自演	1	5	10.14	2.97
28	衣服実態 + 所持 箏自演	2	25	14.81	4.67
29	機会僅少 + 越天楽 箏自演	2	25	15.17	0.36
30	機会僅少 + 六段 箏自演	2	25	18.08	2.91
26	衣服実態 + 鹿の遠音 箏自演	2	25	7.17	1.23
27	朝食実態 箏自演	1	5	10.14	2.97
28	衣服実態 + 所持 箏自演	2	25	14.81	4.67
29	機会僅少 + 越天楽 箏自演	2	25	15.17	0.36
30	機会僅少 + 六段 箏自演	2	25	18.08	2.91

定し、この 2 つの項目についてそれぞれ男女別の基本統計及び男女間の平均の t 検定を行ってみる。

表 22 の通り、基本統計量から衣服実態・箏自演どちらの項目をみても、女子が高く、t 検定の結果その差も有意(網掛表記)であった。男女それぞれが双方の項目において傾向が一致したことが、AIC の値にあらわれたといえる。

表 22

基本統計量(男女別)

衣服実態	女子	男子
平均	2.88	1.26
中央値(メジアン)	3	1
最頻値(モード)	4	1
標準偏差	1.30	0.70
分散	1.70	0.49
尖度	-1.18	12.84
歪度	0.03	3.42
範囲	4	4
最小	1	1
最大	5	5
合計	1684	452
標本数	584	358

箏自演	女子	男子
平均	3.35	2.24
中央値(メジアン)	4	2
最頻値(モード)	4	2
標準偏差	1.17	1.08
分散	1.37	1.16
尖度	-0.88	-0.75
歪度	-0.32	0.46
範囲	4	4
最小	1	1
最大	5	5
合計	1959	803
標本数	584	358

衣服実態 箏自演 男女の平均値の差

t-検定: 等分散を仮定した 2 標本による検定

衣服実態	女子	男子
平均	2.88	1.26
分散	1.70	0.49
観測数	584	358
自由度	940	
t	<b>21.67</b>	有意
P(T<=t) 両側	8.91608E-85	
t 境界値 両側	1.96	

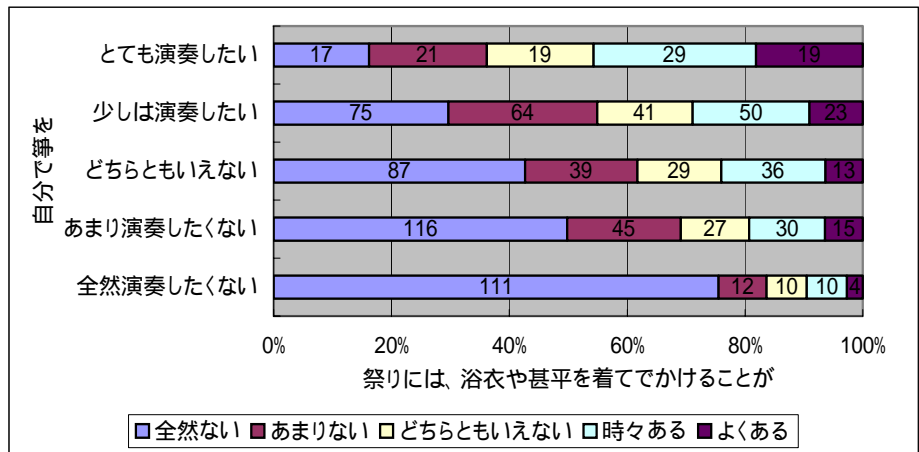
箏自演	女子	男子
平均	3.35	2.24
分散	1.37	1.16
観測数	584	358
自由度	940	
t	<b>14.56</b>	有意
P(T<=t) 両側	1.83405E-43	
t 境界値 両側	1.96	

<sup>36</sup> 巻末 2-2 基本統計量一覧を参照

「衣服実態」を

グラフ 10

グラフ 10 で見ると、浴衣を着用する機会が多い生徒の方が箏を演奏したいと思っていることがわかる。



(カ)「箏自演」と意見項目のうち生活 11 項目との関わり

表 23 の通り、AIC が正でない（網掛表記）のは 6 位まで、全 11 項目中 6 項目にとどまっている。

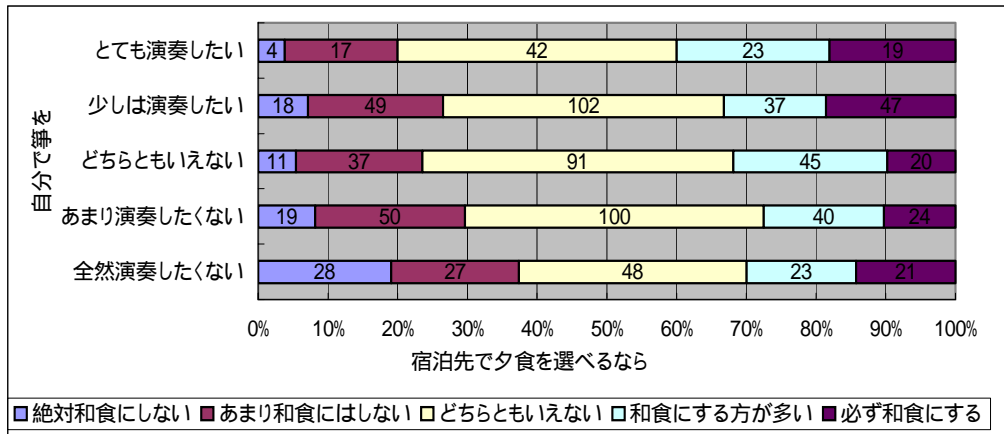
表 23

AIC の値もさほど小さくなく、生活と箏を自ら演奏したいという気持ちには関連は弱いといえる。

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	宿泊夕食 箏自演	1	5	-8.55	
2	入浴 箏自演	1	5	-4.84	3.71
3	旅行 箏自演	1	5	-4.82	0.01
4	居住 箏自演	1	5	-4.73	0.10
5	飲料 箏自演	1	5	-3.56	1.16
6	宿泊予約 箏自演	1	5	-0.31	3.26
7	宿泊朝食 箏自演	1	5	-0.22	0.09
8	昼食 箏自演	1	5	1.60	1.82
9	衣服 箏自演	1	5	3.08	1.48
10	朝食 箏自演	1	5	3.94	0.86
11	デザート 箏自演	1	5	6.63	2.69
12	飲料 + 宿泊夕食 箏自演	2	25	21.71	15.08
13	朝食 + 宿泊予約 箏自演	2	25	41.52	19.81
14	飲料 + 宿泊予約 箏自演	2	25	42.27	0.75
15	飲料 + 居住 箏自演	2	25	47.83	5.56
16	宿泊夕食 + 旅行 箏自演	2	25	54.60	6.77
17	居住 + 旅行 箏自演	2	25	55.00	0.40
18	デザート + 居住 箏自演	2	25	57.37	2.37
19	飲料 + 宿泊朝食 箏自演	2	25	58.78	1.40
20	宿泊朝食 + 旅行 箏自演	2	25	59.27	0.50
21	入浴 + 宿泊夕食 箏自演	2	25	60.78	1.51
22	入浴 + 居住 箏自演	2	25	61.24	0.45
23	宿泊予約 + 旅行 箏自演	2	25	63.00	1.76
24	入浴 + 宿泊予約 箏自演	2	25	63.03	0.03
25	朝食 + 飲料 箏自演	2	25	63.08	0.05
26	朝食 + 旅行 箏自演	2	25	63.15	0.08
27	昼食 + 宿泊朝食 箏自演	2	25	64.40	1.25
28	昼食 + 居住 箏自演	2	25	64.90	0.50
29	デザート + 宿泊夕食 箏自演	2	25	64.96	0.06
30	居住 + 宿泊夕食 箏自演	2	25	65.29	0.33

1 位の「宿泊夕食」をグラフ 11 (p.53) に示す通り、和食を選ぶ希望の有無にかかわらず、箏の演奏がしたいか、という問には大きな差のない回答が寄せられていることがわかる。

グラフ 11



(シ) 「箏自演」と意見項目のうち鑑賞及び伝統・郷土 17 項目との関わり

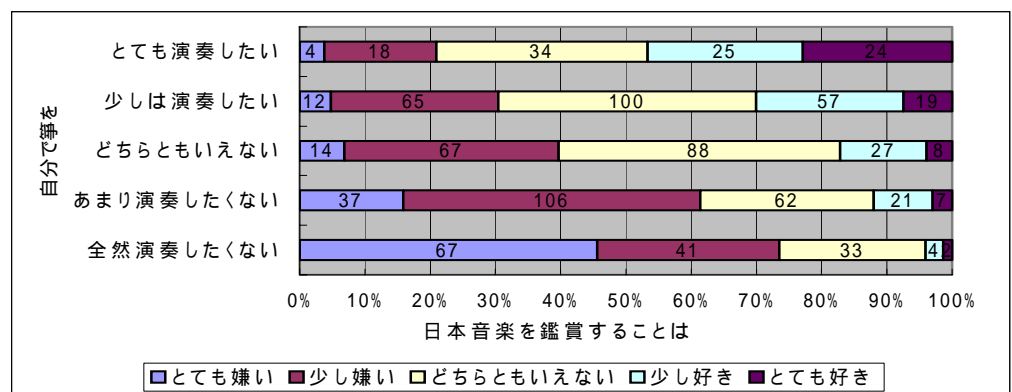
表 24 の通り、AIC 表 24

が正でない（網掛表記）  
のは 30 位まで全 17 項  
目中 17 項目全てとなり  
AIC もたいへん小さな  
値となっている。

「日本音楽を鑑賞する  
事は好きだ」（D17；日  
本音楽・鑑賞）が特に  
多く（太字表記）表れ、  
グラフ 12 に示した通り  
鑑賞の好き嫌いど、箏  
の自演希望との強い関  
連がわかる。

No.	Model	Dim	nk	AIC	Diff
1	日本音楽・鑑賞 箏自演	1	5	-201.92	
2	有料演奏 箏自演	1	5	-160.71	41.22
3	日本音楽・鑑賞 + 癒し 箏自演	2	25	-159.55	1.15
4	洋風アルジ + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-157.13	2.42
5	日本音楽・鑑賞 + 疎遠 箏自演	2	25	-156.49	0.63
6	疎遠 箏自演	1	5	-151.56	4.93
7	日本音楽・鑑賞 + 堅苦しさ 箏自演	2	25	-151.37	0.19
8	有料演奏 + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-149.83	1.54
9	有料演奏 + 疎遠 箏自演	2	25	-144.74	5.09
10	日本音楽・鑑賞 + 囃子 箏自演	2	25	-144.53	0.21
11	英訳 + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-138.52	6.01
12	和風アルジ + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-129.69	8.83
13	時代劇・映像 + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-127.78	1.90
14	リスト + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-125.50	2.28
15	映画 + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-125.11	0.39
16	疎遠 + 囃子 箏自演	2	25	-122.36	2.75
17	癒し 箏自演	1	5	-117.43	4.93
18	日本音楽・鑑賞 + 演奏世代 箏自演	2	25	-114.59	2.85
19	有料演奏 + 癒し 箏自演	2	25	-114.35	0.24
20	和食店 + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-112.41	1.94
21	リスト + 疎遠 箏自演	2	25	-112.06	0.35
22	和風アルジ + 疎遠 箏自演	2	25	-105.67	6.39
23	和訳 + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-102.52	3.14
24	日本音楽・鑑賞 + 祭好き 箏自演	2	25	-100.84	1.68
25	疎遠 + 癒し 箏自演	2	25	-98.95	1.89
26	時代劇・BGM + 日本音楽・鑑賞 箏自演	2	25	-95.70	3.25
27	有料演奏 + 堅苦しさ 箏自演	2	25	-94.27	1.43
28	有料演奏 + 洋風アルジ 箏自演	2	25	-93.59	0.68
29	英訳 + 疎遠 箏自演	2	25	-93.31	0.28
30	堅苦しさ 箏自演	1	5	-93.21	0.10

グラフ 12



---

以上の通り、「疎遠」との間には対象項目全 49 項目中 46 項目が、「日本音楽・鑑賞」との間には全 49 項目中 44 項目が、「伝統自演」との間には全 43 項目中 28 項目が、「箏自演」との間には全 43 項目中 37 項目が挙がり、大変強い関連を示した。よって、**仮説 1 は立証された**といってよい。このことから、西洋化は、生徒たちの生活のみならず音楽や意見の中にまで大変広くかつ強く浸透している事がわかる。急に生活環境を変える事はほとんど不可能であり、幼少時からの経験の記憶を一切取り去る事もできない。通り一遍的な日本音楽の与え方では、ますます距離が離れていくに違いなかるう。しかし日本音楽に対して少なからず関心を寄せている事も事実で、授業を通じて地域との連携も深めながら一過性のブームで終わらないよう継続的な取り組みが必要である。

その継続的な取り組みを始めるにあたり、ここまで広く強く西洋音楽に慣れ親しんだ生徒たちが、拒絶することなく心地よく日本音楽にも親しむことができるには、どのようなきっかけを与えたらよいのか。そもそも、生徒たちは、視聴する音楽に対して、日本らしさをどのようなところに求めているのだろうか。

そこで、実際に音楽を聴き、演奏する姿を見て、どれだけ日本らしさを捉えるのか、p.33-p.36 に挙げた視聴曲を次ページにまとめ、検証を進めて行く。



p.33-p.36 に挙げた視聴曲のまとめ

表 25

視聴曲一覧

聴取順	所要時間(秒)	楽曲	作曲者	演奏者	楽曲伝統	形態伝統	備考
1	30	春の海	宮城道雄	尺八；山本邦山 箏；中島靖子	2	3	小6 共通鑑賞教材(旧)
2	32	春の海	宮城道雄	フルート；金昌国 ハープ；桑原すみれ	2	1	小6 共通鑑賞教材(旧)
3	21	赤とんぼ	山田耕筰	合唱；日本合唱協会	2	1	中1 共通表現教材(旧)
4	22	さくら	日本古謡	指揮；栗山文昭 合唱；東京アルカディア・コール	3	1	中1 共通表現教材(旧)
5	25	荒城の月	滝廉太郎	グラモフォン混声合唱団	2	1	中2 共通表現教材(旧)
6	20	花	滝廉太郎	指揮；岡本仁 ピアノ；田中瑤子 合唱；くにたちカンマーコール	1	1	中3 共通表現教材(旧)
7	30	「四季」より「春」	ビヴァルディ	砂崎知子箏アンサンブル	1	3	中1 共通鑑賞教材(旧)
8	22	井岡山太陽紅	趙曼琴	中国古箏；伍芳	1	1	中国古箏
9	31	Folk Symphony伝々傳DenDenDen	三木稔	指揮；田村拓男 演奏；オーケストラアジア	2	2	民族楽器 日・中・韓オーケストラ
10	55	シンフォニック・ヴァリエーション「南道アリラン」	白大雄	指揮；朴範薫 演奏；オーケストラアジア	1	2	民族楽器 日・中・韓オーケストラ
11	15	鳥唄	宮沢和史	THE BOOM	2	2	Jポップ
12	27	明けもどろ	知名定男	Nenes ネーネーズ	2	2	沖縄ポップ
13	30	モダン	吉田健一	津軽三味線；吉田良一郎 吉田健一	2	3	三味線
14	35	游-YUU-	上妻宏光	津軽三味線；上妻宏光	2	2	三味線とバンド
15	37	海流-KAIRYU-	木下伸一	指揮；十束尚宏 演奏；東京シティフィルハーモニック管弦楽団 太鼓；林英哲 津軽三味線；木下伸一	2	2	三味線・和太鼓とオーケストラ
16	28	韋駄天～鋼～烈風	Ajo	打究人 タケ -Da.K.T.-	2	3	和太鼓アンサンブル
17	48	雅楽「平調越天楽」		室内序式部職楽部	3	3	雅楽 管絃
18	23	雅楽「平調越天楽」		東儀秀樹 1999.4.3NHK総合放送 課外授業ようこそ先輩	3	2	リコーダー(箏) 鍵盤ハーモニカ(笙) ホンゴ(羯鼓)
19	34	遭遇 番	石井眞木	指揮；石井眞木 雅楽；芝祐靖と伶楽舎 演奏；新日本フィルハーモニー交響楽団	2	2	雅楽とオーケストラ
20	53	G A G A K U	ウィントン・マルサリス	ウィントン・マルサリス楽団	2	1	ジャズコンボ
21	17	ひこぼしの涙	東儀秀樹	東儀秀樹	1	2	箏とキーボード
22	18	星空につつまれて	東儀秀樹	箏；東儀秀樹 指揮；リオ・ケルメス 演奏；フィラハーモニー室内管弦楽団	1	2	箏とオーケストラ
23	17	虚空	石井眞木	龍笛；赤尾三千子 打楽器；細谷一郎 植松透 板倉利之	2	2	龍笛と打楽器
24	26	田楽笛即興曲	一噌幸弘	田楽笛；一噌幸弘 和太鼓；ヒダノ修一 ギター；鬼努無月	2	2	田楽笛と和太鼓・ギター
25	18	天海	宮下伸	三十絃；宮下伸 打楽器；Y A S K A Z	1	2	三十絃箏と打楽器
26	29	祝宴(竹取物語から)	三宅一徳	箏座 尺八；渡辺峨山 十七絃；木田敦子 馬場信子 キーボード・大正琴；三宅一徳	1	2	箏・尺八・キーボード・打楽器アンサンブル
27	20	ZOOM	中村明一	KoKoo(コク) 尺八；中村明一 20絃・17絃；八木美知依 丸田美紀	1	2	箏・尺八アンサンブル
28	20	ノヴェンパーステップス	武満徹	指揮；岩城宏之 演奏；NHK交響楽団 尺八；横山勝也 琵琶；鶴田錦史	2	2	尺八・琵琶とオーケストラ
29	40	敦盛	坂田美子	おりひめ	2	2	琵琶・尺八・バンド
30	24	(音階)			3	3	和琴



エ 比較対照となる 2 曲計 20 組の日本らしさの平均値についての分析結果

仮説 2 の検証

仮説 2 生徒がより日本らしさを感じるのは日本の伝統音楽だけとは限らない。

視聴曲 30 曲<sup>37</sup>の中から同じ曲で和・洋双方の楽器を用いた演奏や、和・洋の共演、和楽器による洋楽演奏、洋楽器による日本の音階を用いた演奏、和楽器の伝統的な演奏とは異なった新たな演奏等、様々な曲の中から、比較対照となる 2 曲ずつ 20 組を選び出し、その楽曲伝統分類及び形態伝統分類の違いの有無と生徒が判断した日本らしさの平均値の差 (t 検定) とを照らし合わせ、両者の一致を判定する。「一致する」は下記、「一致しない」は の場合である。

楽曲伝統分類及び形態伝統分類に違いがあり、平均値に有意な差がある。

楽曲伝統分類及び形態伝統分類が同じであり、平均値に有意な差がない。

楽曲伝統分類及び形態伝統分類に違いがあり、平均値に有意な差がない。

楽曲伝統分類及び形態伝統分類が同じであり、平均値に有意な差がある。

楽曲伝統分類及び形態伝統分類の違いと平均値の高低とが逆転し、有意な差がある。

「一致する」ならば、生徒は日本らしさを伝統に結び付けていることになり、

「一致しない」ならば、生徒は日本らしさを必ずしも伝統に結び付けているとは限らないことを示す。

(ア) A01「春の海」-A02「春の海」；同曲冒頭を前者は和楽器のみ、後者は洋楽器のみによる演奏を、あえて映像をつけず音声によって行った。

形態伝統は A01 が高く、

平均値も同様で、その差は

有意である (網掛表記)。

判定；両者は一致している

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A01	2	3
A02	2	1

t-検定：等分散を仮定した 2 標本による検定

	A01	A02
平均	4.91	4.05
分散	0.10	0.77
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>28.35</b>	有意
P(T<=t) 両側	1.49E-147	
t 境界値 両側	1.96	

形態の違いを音色から判断している。

<sup>37</sup> 視聴曲一覧は前頁表 25 参照。

(イ) A03「赤とんぼ」-A04「さくら」; どちらも中学校 1 年生共通表現教材 (旧課程 = 現高校生が中学 1 年生の時) で、歌の演奏については合唱によるものだが、前者が四七抜き音階でオーケストラ伴奏、後者が都節でピアノ伴奏という点が異なる。

楽曲伝統は A04 が高く、  
 平均値も同様で、その差は有意である。

判定; 両者は一致している

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A03	2	1
A04	3	1

	A03	A04
平均	4.08	4.40
分散	0.73	0.70
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-8.22	有意
P(T<=t) 両側	3.626E-16	
t 境界値 両側	1.96	

楽曲の違いを音階で捉えている。

(ウ) A05「荒城の月」-A06「花」; 学年は違うがどちらも中学校共通表現教材 (旧課程) で、同じ作曲家 (滝廉太郎) の作品で、演奏は合唱及びピアノ伴奏によるものである。前者が原曲都節の短音階、後者は長音階という点が異なる。

楽曲伝統は A05 が高く、  
 平均値は A06 が高く、  
 その差は有意である。

判定; 両者は一致しない

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A05	2	1
A06	1	1

	A05	A06
平均	3.53	3.78
分散	1.13	1.07
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-5.29	有意
P(T<=t) 両側	1.353E-07	
t 境界値 両側	1.96	

楽曲の違いがあることは捉えているが日本らしさを求める点が異なる。

(イ) A07「四季」より「春」-A08「井岡山太陽紅」; 前者は箏曲合奏による洋楽の演奏、後者は中国古箏による独奏である。

形態伝統は A07 が高く、  
 平均値は A08 が高く、  
 その差は有意である。

判定; 両者は一致しない

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A07	1	3
A08	1	1

	A07	A08
平均	2.01	2.71
分散	0.80	1.08
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-15.55	有意
P(T<=t) 両側	2.272E-51	
t 境界値 両側	1.96	

たとえ箏の演奏であっても演じる楽曲が西洋音楽であると日本らしさが中国古箏よりも低くなる。

(オ) A07「四季」より「春」-A20「GAGAKU」;前者は和楽器による洋楽(音声のみ)、後者は洋楽器による雅楽風のフレーズを取り入れたジャズで(映像有り)ある。楽曲・形態双方で違いについては相殺するが、数値ではA07が高く、平均値はA07が高く、その差は有意である。

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A07	1	3
A20	2	1

	A07	A20
平均	2.01	1.35
分散	0.80	0.40
観測数	942	942
自由度	1882	
t	18.48	有意
P(T<=t) 両側	3.501E-70	
t 境界値 両側	1.96	

判定;両者は一致する

和楽器で西洋音楽を演奏する方に日本らしさを感じている。

(カ) A08「井岡山太陽紅」-A09「伝々傳」;前者は中国古箏による独奏、後者は同じ古箏を含む合奏(日本・中国・韓国)で木曾節をモチーフにしている。

両分類でA09が高く、平均値はA08が高く、その差は有意である。

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A08	1	1
A09	2	2

	A08	A09
平均	2.71	2.30
分散	1.08	1.15
観測数	942	942
自由度	1882	
t	8.37	有意
P(T<=t) 両側	1.111E-16	
t 境界値 両側	1.96	

判定;両者は一致しない

オーケストラアジアの木曾節の合奏よりも中国古箏の独奏の方が日本らしさを感じている。

(キ) A08「井岡山太陽紅」-A30「和琴による音階」;前者は中国古箏による独奏、後者は和琴による音階上下行である。

両分類共にA30が高く、平均値も同様で、その差は有意である。

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A08	1	1
A30	3	3

	A08	A30
平均	2.71	3.75
分散	1.08	0.97
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-22.24	有意
P(T<=t) 両側	1.833E-97	
t 境界値 両側	1.96	

判定;両者は一致している

和琴をより強く日本らしいと捉えている。

(ク) A09「伝々傳」-A10「南道アリラン」; どちらも同じ演奏者(オーケストラア  
 ジア、指揮者は異なる)で、前者は木曾節をモチーフに、後者はアリランを  
 モチーフにした演奏となっている。

楽曲伝統は A09 が高く、  
 平均値は A10 が高く、  
 その差は有意でない。  
判定 ; 両者は一致しない

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A09	2	2
A10	1	2

	A09	A10
平均	2.30	2.37
分散	1.15	0.99
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-1.36	有意でない
P(T<=t) 両側	0.1741399	
t 境界値 両側	1.96	

旋律の違いにはあまりこだわらずに日本らしさを求めている。

(ケ) A11「島唄」-A12「明けもどろ」; どちらも沖縄音階を用いているが、前者  
 は男声ボーカル、後者は民族衣装・髪型を纏った女声アンサンブルである。

両分類共に同じで、  
 平均値も同様であり、  
 その差は有意でない。  
判定 ; 両者は一致している

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A11	2	2
A12	2	2

	A11	A12
平均	3.80	3.84
分散	0.93	1.03
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-1.02	有意でない
P(T<=t) 両側	0.3060371	
t 境界値 両側	1.96	

両曲とも平均値が高く、琉球音階に強く日本らしさを感じている。

(コ) A13「モダン」-A14「游-YUU-」; 前者は三味線のみ、後者はバンドが加わ  
 る。

形態伝統は A13 が高く、  
 平均値も同様であり、  
 その差は有意である。  
判定 ; 両者は一致している

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A13	2	3
A14	2	2

	A13	A14
平均	4.36	2.14
分散	0.61	0.73
観測数	942	942
自由度	1882	
t	58.86	有意
P(T<=t) 両側	0	
t 境界値 両側	1.96	

三味線が演奏されていてもバンド演奏というスタイルによって日本らしさが  
 著しく下がっている。

(ガ) A15「海流」-A16「韋駄天～鋼～烈風」；前者は和太鼓・三味線とオーケストラ、後者はダンスパフォーマンスも加わった和太鼓アンサンブルである。

形態伝統は A16 が高く、

平均値は A15 が高く、

その差は有意である。

判定；両者は一致しない

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
	A15	2 2
A16	2 3	

	A15	A16
平均	3.14	2.52
分散	0.99	0.87
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>13.89</b>	有意
P(T<=t) 両側	7.838E-42	
t 境界値 両側	1.96	

楽曲の組み合わせよりも見た目から受ける印象（ダンスパフォーマンス）に影響を受けている。

(ジ) A15「海流」-A28「ノヴェンバーステップス」；どちらもオーケストラと和楽器の共演で、前者は和太鼓、三味線と、後者は尺八、琵琶である。

両分類共に同じで、

平均値は A28 が高く、

その差は有意である。

判定；両者は一致しない

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
	A15	2 2
A28	2 2	

	A15	A28
平均	3.14	3.86
分散	0.99	0.97
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>-15.96</b>	有意
P(T<=t) 両側	6.972E-54	
t 境界値 両側	1.96	

昨今、和太鼓・三味線は TV 等を通じ多くの発信を続けることで、生徒にとっては尺八・琵琶よりもポピュラー化して映ったものと思われる。

(ク) A17 雅楽「平調越天楽」-A18 雅楽「平調越天楽」；どちらも同じ曲で、前者は雅楽器で、後者はリコーダーを始めとする洋楽器で、両者の差は有意であった。

形態伝統は A17 が高く、

平均値も同様で、

その差は有意である。

判定；両者は一致している

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
	A17	3 3
A18	3 2	

	A17	A18
平均	4.68	3.88
分散	0.65	0.89
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>19.96</b>	有意
P(T<=t) 両側	1.534E-80	
t 境界値 両側	1.96	

雅楽器のみの方に、より日本らしさを感じている。

(七) A19「遭遇 番」-A20「G A G A K U」; 前者は雅楽とオーケストラ、後者は雅楽風のフレーズを取り入れたジャズである。

形態伝統は A19 が高く、

平均値は A19 が高く、

その差は有意である。

判定 ; 両者は一致している

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A19	2	2
A20	2	1

	A19	A20
平均	2.57	1.35
分散	0.91	0.40
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>32.55</b>	有意
P(T<=t) 両側	1.05E-184	
t 境界値 両側	1.96	

雅楽風のフレーズであっても、西洋楽器のみで演奏することには日本らしさをあまり感じない。

(八) A19「遭遇 番」-A22「星空につつまれて」; 前者は雅楽とオーケストラ、後者は箏箏とオーケストラの共演である。

楽曲伝統は A19 が高く、

平均値は A19 が高く、

その差は有意である。

判定 ; 両者は一致している

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A19	2	2
A22	1	2

	A19	A22
平均	2.57	2.21
分散	0.91	0.73
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>8.65</b>	有意
P(T<=t) 両側	1.118E-17	
t 境界値 両側	1.96	

どちらもオーケストラとの共演だが、音楽の違いを少なからず捉えている。

(九) A21「ひこぼしの涙」-A22「星空につつまれて」; どちらも箏箏のソロだが、前者は電子音源の伴奏、後者はオーケストラとの共演である。

両分類共に同じで、

平均値は A21 が高く、

その差は有意である。

判定 ; 両者は一致しない

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A21	1	2
A22	1	2

	A21	A22
平均	2.56	2.21
分散	1.09	0.73
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>7.98</b>	有意
P(T<=t) 両側	2.598E-15	
t 境界値 両側	1.96	

オーケストラの演奏している姿が映像として影響しているものと思われる。

(f) A23「虚空」-A24「田楽笛即興曲」; どちらも笛がメインで、前者は西洋打楽器と、後者は和太鼓とギターが加わる。

両分類共に同じで、

平均値の差は有意でない。

判定; 両者は一致している

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A23	2	2
A24	2	2

	A23	A24
平均	3.42	3.39
分散	0.98	0.86
観測数	942	942
自由度	1882	
t	0.65	有意でない
P(T<=t) 両側	0.5172794	
t 境界値 両側	1.96	

どちらも笛に日本らしさを感じているものと思われる。

(g) A25「天海」-A26「祝宴」; 前者は三十絃と西洋打楽器、後者は箏と尺八で音階は西洋音階である。

両分類共に同じで、

平均値は A26 が高く、

その差は有意である。

判定; 両者は一致しない

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A25	1	2
A26	1	2

	A25	A26
平均	2.67	3.43
分散	0.71	0.88
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-18.46	有意
P(T<=t) 両側	4.629E-70	
t 境界値 両側	1.96	

奏でられる旋律や和音が西洋音楽であっても使用している楽器に注目し、和楽器が多い方に日本らしさを感じている。

(h) A26「祝宴」-A27「ZOOM」; どちらも箏を用いたアンサンブルで分類は同じだが、前者の箏の奏法は爪で、後者は桴で叩く。

両分類共に同じで、

平均値は A26 が高く、

その差は有意である。

判定; 両者は一致しない

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A26	1	2
A27	1	2

	A26	A27
平均	3.43	2.63
分散	0.88	0.69
観測数	942	942
自由度	1882	
t	19.47	有意
P(T<=t) 両側	4.908E-77	
t 境界値 両側	1.96	

奏法の違いを敏感に捉えている。

(ト) A28「ノヴェンバーステップス」-A29「敦盛」; どちらも琵琶が使用され、前者は尺八・オーケストラと、後者は尺八・キーボード等に加え歌がメインとなる。

両分類ともに同じで、  
 平均値は A28 が高く、  
 その差は有意である。

聴取順	楽曲伝統	形態伝統
A28	2	2
A29	2	2

	A28	A29
平均	3.86	3.77
分散	0.97	0.82
観測数	942	942
自由度	1882	
t	2.19	有意
P(T<=t) 両側	0.0286627	
t 境界値 両側	1.96	

判定 ; 両者は一致しない

キーボードが日本らしさを弱くする一因であることが予想される。

一致した . . . . . (ア) (イ) (オ) (カ) (ク) (コ) (ス) (セ) (ソ) (チ)

一致しない . . . . . (ウ) (エ) (カ) (ク) (サ) (シ) (タ) (ツ) (テ) (ト)

以上の通り、楽曲伝統・形態伝統分類の違いと平均値の違いとの組合せの判定は、全 20 組中、一致したのが 10 組、一致しなかった（太字表記）のが 10 組であった。従って、**仮説 2 を立証できる十分な結果を得られなかった**。ただし、データの示す数値から、演奏法や音色、演奏者の構成など音声と映像の両方から特徴の際立った所に注目しながら日本の伝統音楽を日本らしさに結び付けていること、逆に日本の伝統音楽ではないものにも強く日本らしさを感じ取っていることがわかる。これらは、伝統の要素や特徴を明示しつつも決してそれだけを強調せず、和・洋それぞれの良さを巧みに融合させ授業に導入していく工夫が肝要であることを示唆した。

そして、生徒たちが心地よく日本音楽に親しむことができるよう授業展開するための選曲や編曲に際し、伝統音楽にも、それ以外の音楽にも向けられている日本らしさというものが、視聴して心地よいと感じる気持ちとどのような関係にあるかを次項で検証する。



## オ 同一曲の「日本度」「心地よさ度」のそれぞれの平均値についての分析結果

### 仮説3の検証

#### 仮説3 生徒がより日本らしさを感じる演奏は視聴して心地よい。

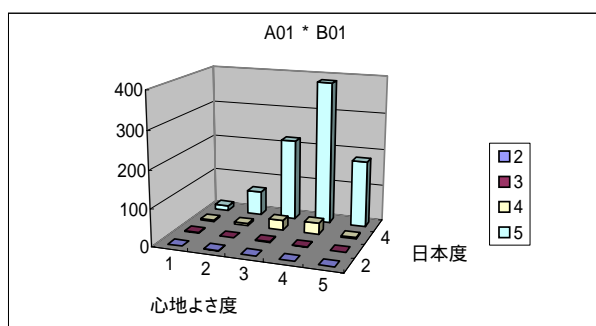
演奏から日本らしさを感じる度合いと心地よさとがどのような関係にあるかと、同一曲について尋ねた「日本度」「心地よさ度」のそれぞれの平均に有意な差が認められるかを30曲全てについて分析する(クロス集計<sup>38</sup>とt検定)。

相関については、その表記を「無(一致係数; 0.2未満)」「弱(同0.2以上)」「中(同0.4以上)」「強(同0.7以上)」の4段階で記し、「無」でない、すなわち「弱」以上の数値が認められる場合は網掛表記とした。また、有意差(t検定表中、網掛表記)がある場合は、「日本度」「心地よさ度」の隔たりが認められることになる。

#### A01-B01 「春の海」

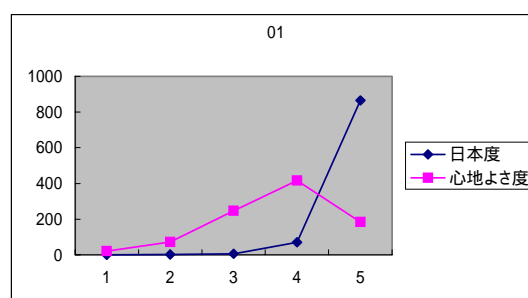
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関; 弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差; 有り



標本数	942
A01	4種類
B01	5種類
自由度	12
加2乗	64.17
尤度比	34.28

ピアソンの一致係数 **0.25** 相関; 弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	0	1	5	71	865	942
心地よさ度	20	73	248	417	184	942

t-検定: 等分散を仮定した2標本による検定

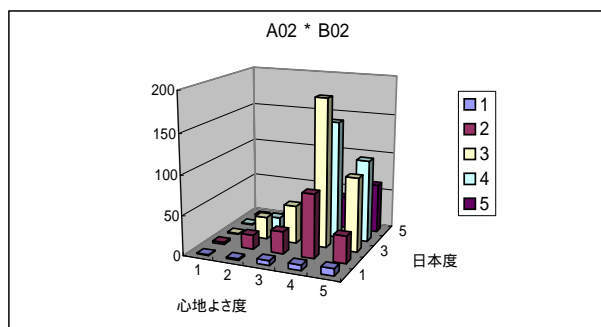
	A01	B01
平均	4.91	3.71
分散	0.10	0.87
観測数	942	955
自由度	1895	
t	<b>37.44</b>	有意
P(T<=t)	0.00	
t 境界値	1.96	

<sup>38</sup> 小邨孝明, 1999 『クロス表集計マクロ』 龍谷大学

## A02-B02 「春の海」

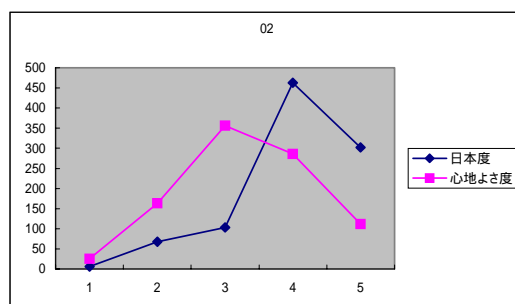
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A02	5種類
B02	5種類
自由度	16
が2乗	78.17
尤度比	75.03

ピアソンの一致係数 **0.28** 相関；弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	6	68	103	463	302	942
心地よさ度	25	163	356	286	112	942

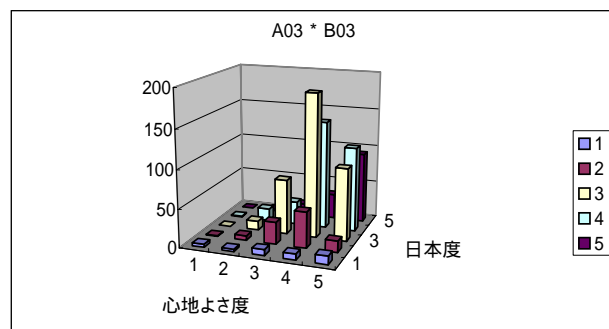
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A02	B02
平均	4.05	3.32
分散	0.77	0.95
観測数	942	955
自由度	1895	
t	<b>17.19</b>	有意
P(T<=t)	1.2E-61	
t 境界値	1.96	

## A03-B03 「赤とんぼ」

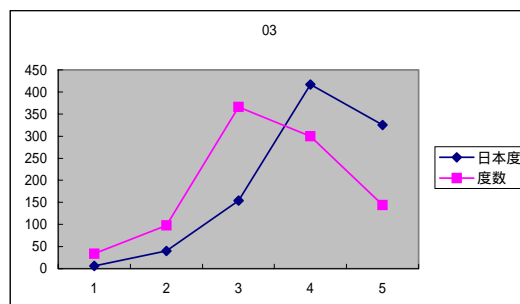
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；中

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A03	5種類
B03	5種類
自由度	16
が2乗	179.77
尤度比	131.34

ピアソンの一致係数 **0.40** 相関；中



	1	2	3	4	5	合計
日本度	6	40	154	417	325	942
度数	34	98	366	300	144	942

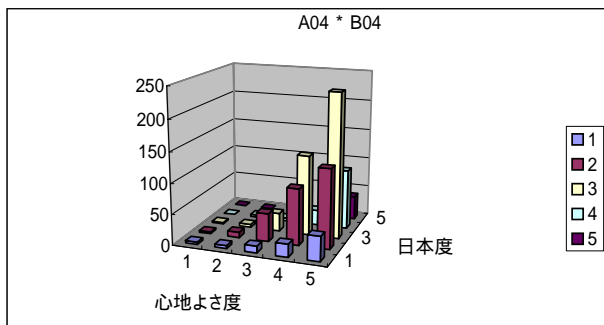
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A03	B03
平均	4.08	3.45
分散	0.73	0.98
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>14.78</b>	有意
P(T<=t)	7.6E-47	
t 境界値	1.96	

## A04-B04 「さくら」

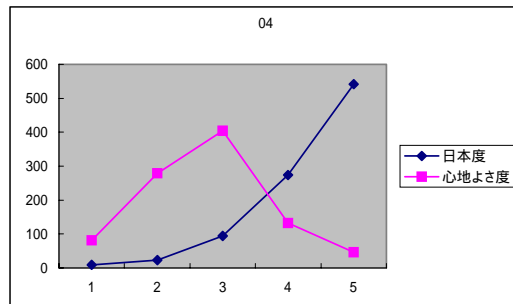
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A04	5種類
B04	5種類
自由度	16
カイ2乗	79.90
尤度比	76.81

ピアソンの一致係数 0.28 相関；弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	9	23	94	274	542	942
心地よさ度	81	279	404	132	46	942

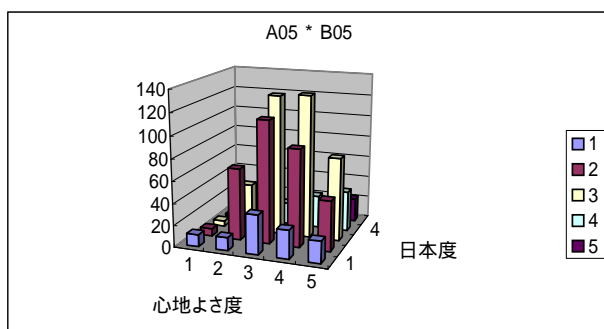
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A04	B04
平均	4.40	2.77
分散	0.70	0.92
観測数	942	942
自由度	1882	
t	39.21	有意
P(T<=t)	2E-246	
t 境界値	1.96	

## A05-B05 「荒城の月」

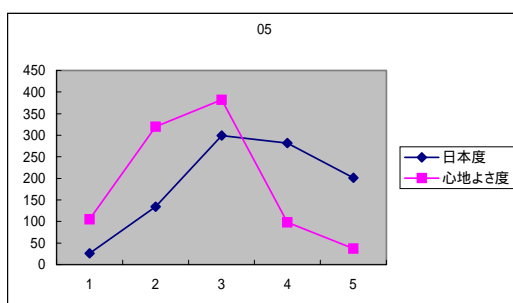
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A05	5種類
B05	5種類
自由度	16
カイ2乗	103.03
尤度比	87.51

ピアソンの一致係数 0.31 相関；弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	26	134	299	282	201	942
心地よさ度	105	320	382	98	37	942

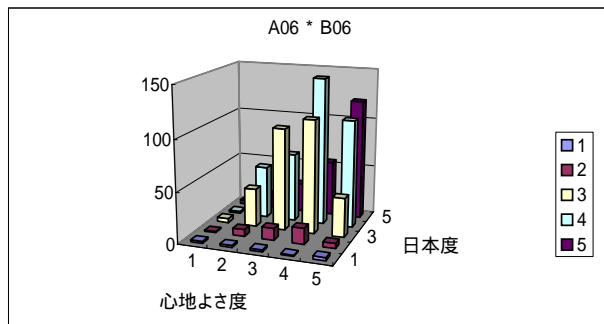
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A05	B05
平均	3.53	2.62
分散	1.13	0.90
観測数	942	942
自由度	1882	
t	19.57	有意
P(T<=t)	8.5E-78	
t 境界値	1.96	

## A06-B06 「花」

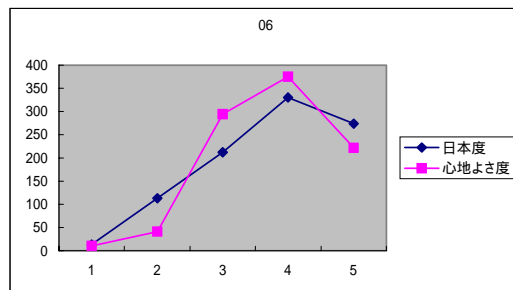
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；なし



標本数 942  
A06 5種類  
B06 5種類  
自由度 16  
加2乗 155.58  
尤度比 137.44

ピアソンの一致係数 0.38 相関；弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	13	113	212	330	274	942
心地よさ度	10	41	294	375	222	942

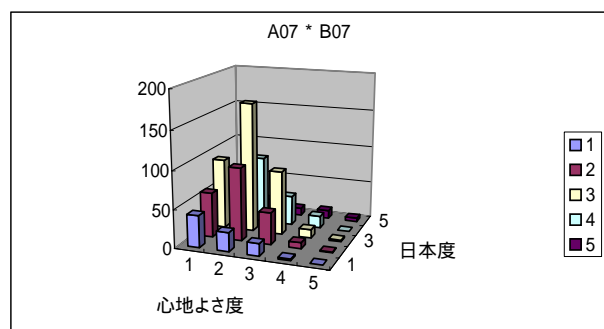
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A06	B06
平均	3.78	3.80
分散	1.07	0.78
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-0.45	有意でない
P(T<=t)	0.65	
t 境界値	1.96	

## A07-B07 「四季」より「春」

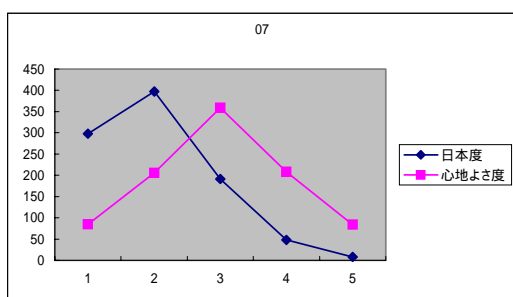
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A07 5種類  
B07 5種類  
自由度 16  
加2乗 87.02  
尤度比 72.75

ピアソンの一致係数 0.29 相関；弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	298	397	191	48	8	942
心地よさ度	85	206	359	208	84	942

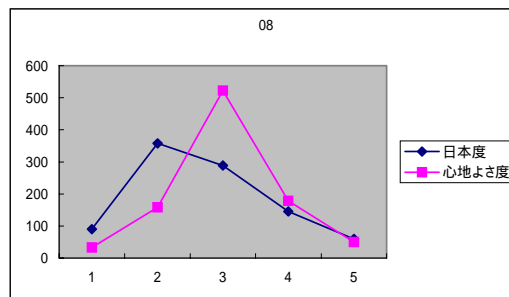
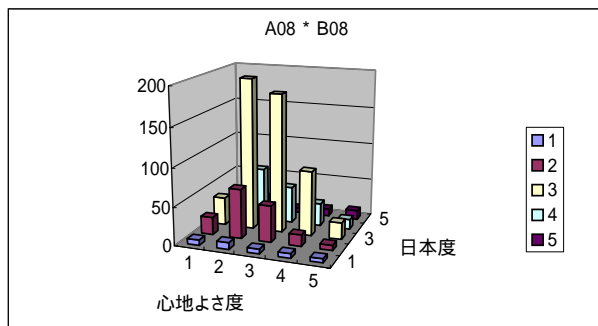
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A07	B07
平均	2.01	3
分散	0.80	1.16
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-21.629	有意
P(T<=t)	7.7E-93	
t 境界値	1.96	

## A08-B08 「井岡山太陽紅」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A08	5種類
B08	5種類
自由度	16
カイ2乗	63.57
尤度比	53.42

ピアソンの一致係数 0.25 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	90	358	289	146	59	942
心地よさ度	33	158	523	178	50	942

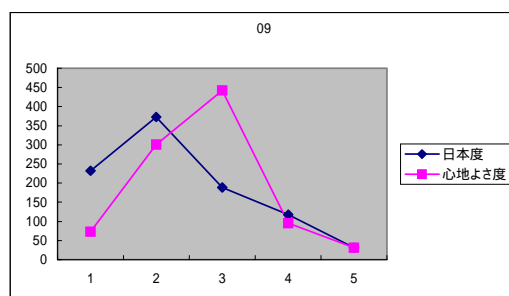
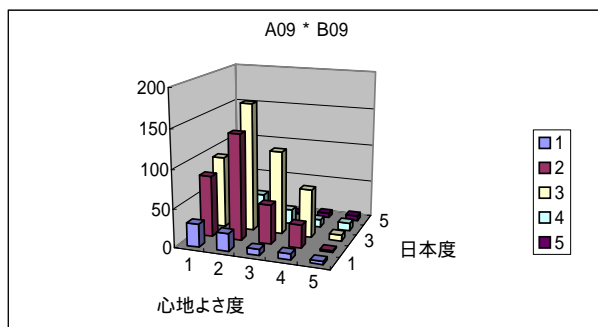
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A08	B08
平均	2.71	3.06
分散	1.08	0.71
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-7.99	有意
P(T<=t)	2.4E-15	
t 境界値	1.96	

## A09-B09 「伝々傳」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A09	5種類
B09	5種類
自由度	16
カイ2乗	93.79
尤度比	71.85

ピアソンの一致係数 0.30 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	232	373	189	117	31	942
心地よさ度	73	301	442	95	31	942

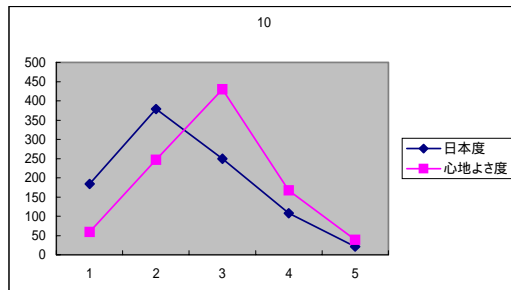
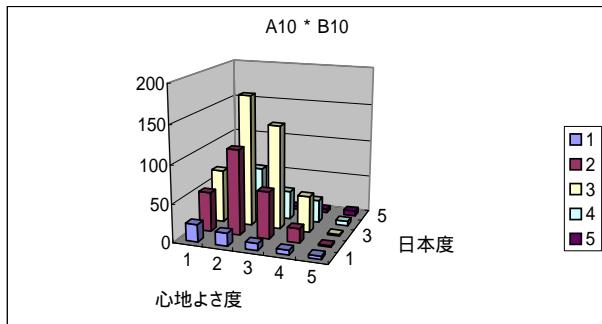
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A09	B09
平均	2.30	2.69
分散	1.15	0.77
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-8.66	有意
P(T<=t)	1E-17	
t 境界値	1.96	

### A10-B10 「南道アリラン」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A10 5種類  
B10 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 102.63  
尤度比 76.31

	1	2	3	4	5	合計
日本度	184	379	250	108	21	942
心地よさ度	59	247	430	167	39	942

t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

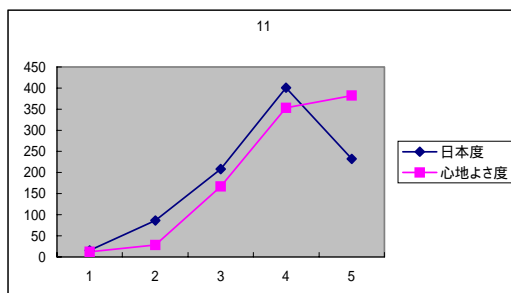
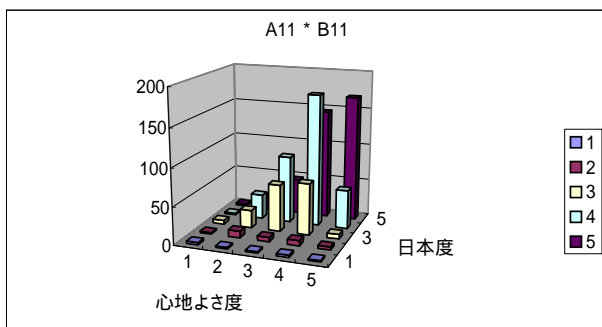
	A10	B10
平均	2.37	2.87
分散	0.99	0.84
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>-11.498</b> 有意	
P(T<=t)	1.3E-29	
t 境界値	1.96	

ピアソンの一致係数 **0.31** 相関；弱

### A11-B11 「島唄」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；中

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A11 5種類  
B11 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 232.65  
尤度比 203.73

	1	2	3	4	5	合計
日本度	15	86	208	401	232	942
心地よさ度	12	28	167	353	382	942

t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

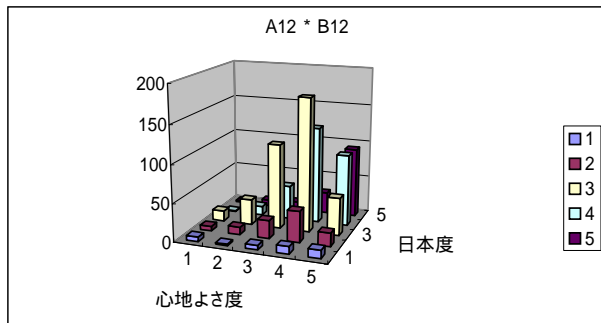
	A11	B11
平均	3.80	4.13
分散	0.93	0.80
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>-7.82</b> 有意	
P(T<=t)	8.9E-15	
t 境界値	1.96	

ピアソンの一致係数 **0.45** 相関；中

## A12-B12 「明けもどろ」

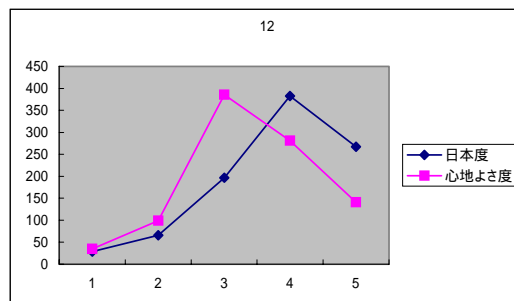
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；中

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A12 5種類  
B12 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 198.89  
尤度比 187.46

ピアソンの一致係数 **0.42** 相関；中



	1	2	3	4	5	合計
日本度	29	66	197	383	267	942
心地よさ度	35	99	386	281	141	942

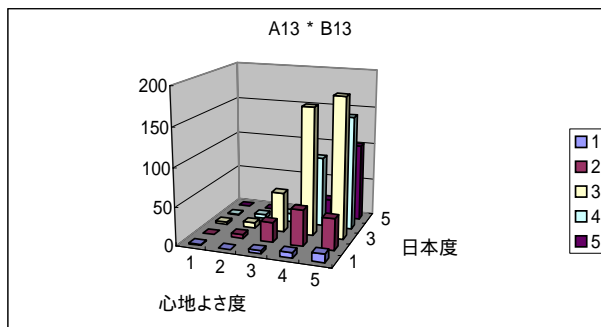
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A12	B12
平均	3.84	3.42
分散	1.03	0.98
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>9.19</b>	有意
P(T<=t)	1E-19	
t 境界値	1.96	

## A13-B13 「モダン」

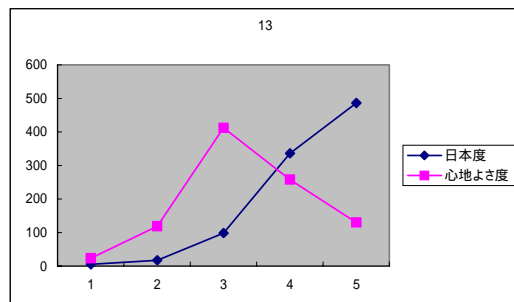
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A13 5種類  
B13 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 93.59  
尤度比 94.33

ピアソンの一致係数 **0.30** 相関；弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	5	17	98	336	486	942
心地よさ度	23	119	412	258	130	942

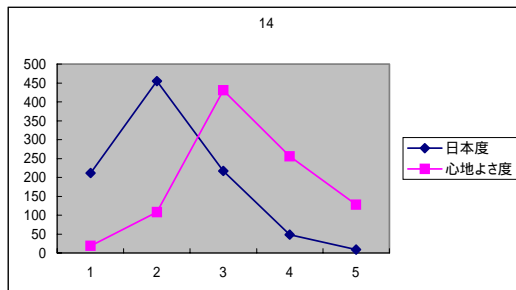
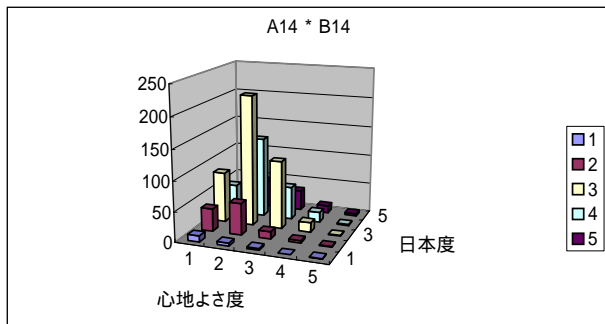
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A13	B13
平均	4.36	3.37
分散	0.61	0.91
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>24.51</b>	有意
P(T<=t)	2E-115	
t 境界値	1.96	

### A14-B14 「游-YUU-」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A14 5種類  
B14 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 57.27  
尤度比 53.56

ピアソンの一致係数 0.24 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	212	455	217	49	9	942
心地よさ度	19	108	431	256	128	942

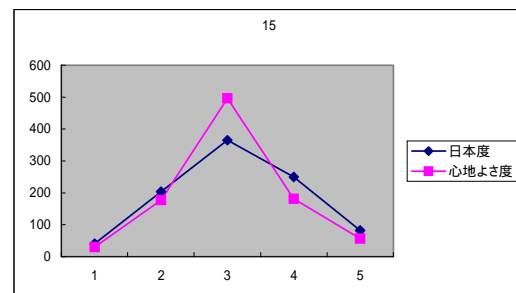
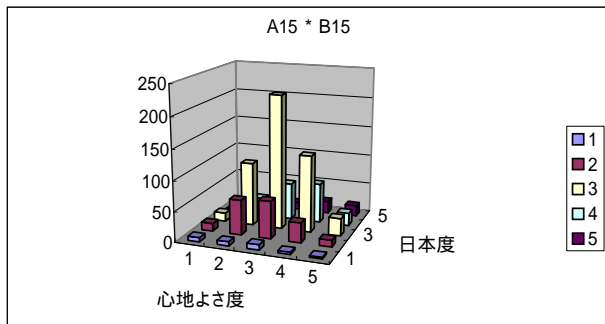
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A14	B14
平均	2.14	3.39
分散	0.73	0.86
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-30.421	有意
P(T<=t)	1E-165	
t 境界値	1.96	

### A15-B15 「海流」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；なし



標本数 942  
A15 5種類  
B15 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 118.96  
尤度比 94.90

ピアソンの一致係数 0.33 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	41	204	365	250	82	942
心地よさ度	30	177	496	182	57	942

t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

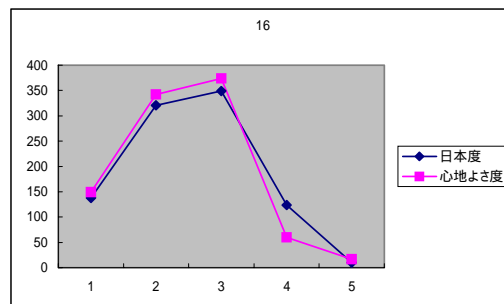
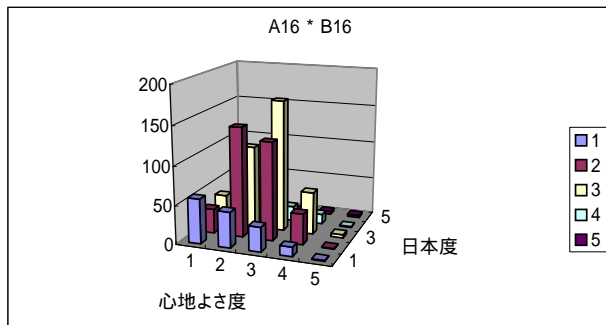
	A15	B15
平均	3.14	3.06
分散	0.99	0.75
観測数	942	942
自由度	1882	
t	1.71	有意でない
P(T<=t)	0.09	
t 境界値	1.96	



## A16-B16 「韋駄天～鋼～烈風」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A16	5種類
B16	5種類
自由度	16
が2乗	159.91 有意確率
尤度比	113.77 有意確率

ピアソンの一致係数 0.38 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	138	321	349	124	10	942
心地よさ度	149	342	374	60	17	942

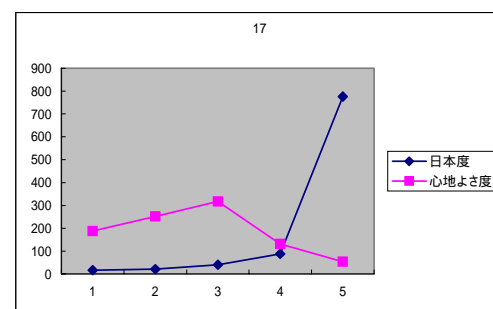
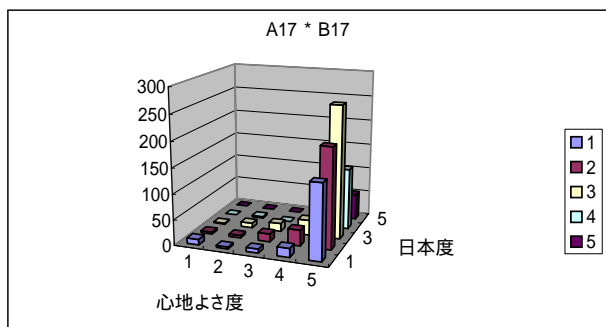
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A16	B16
平均	2.52	2.42
分散	0.87	0.80
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>2.35</b>	有意
P(T<=t)	0.02	
t 境界値	1.96	

## A17-B17 雅楽「平調越天楽」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A17	5種類
B17	5種類
自由度	16
が2乗	46.02 有意確率
尤度比	53.07 有意確率

ピアソンの一致係数 0.22 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	17	21	40	88	776	942
心地よさ度	188	252	317	131	54	942

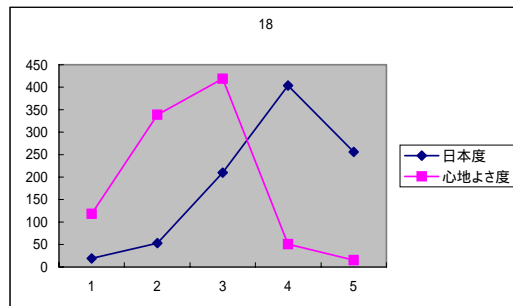
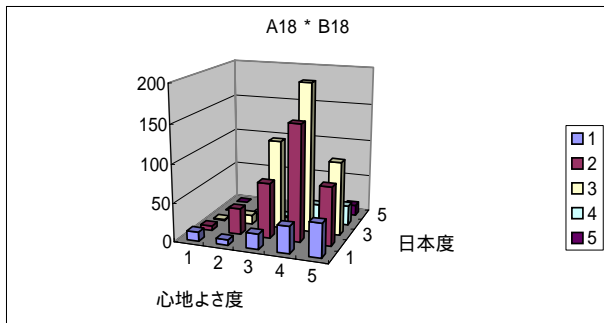
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A17	B17
平均	4.68	2.59
分散	0.65	1.26
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>46.45</b>	有意
P(T<=t)	0	
t 境界値	1.96	

### A18-B18 雅楽「平調越天楽」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A18 5種類  
B18 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 141.87  
尤度比 129.20

ピアソンの一致係数 0.36 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	19	53	210	404	256	942
心地よさ度	118	339	419	51	15	942

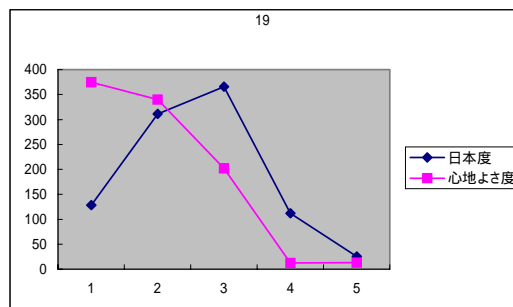
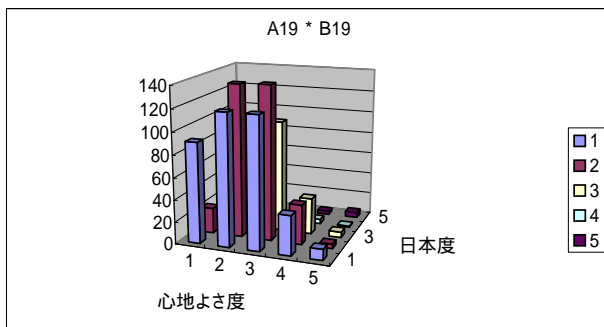
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A18	B18
平均	3.88	2.48
分散	0.89	0.70
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>34.07</b>	有意
P(T<=t)	1E-198	
t 境界値	1.96	

### A19-B19 A19「遭遇 番」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A19 5種類  
B19 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 157.33  
尤度比 111.16

ピアソンの一致係数 0.38 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	128	311	366	112	25	942
心地よさ度	375	340	202	12	13	942

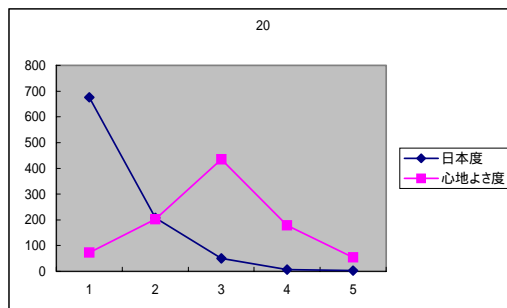
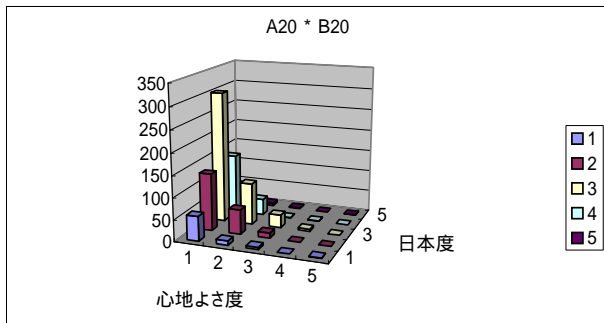
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A19	B19
平均	2.57	1.88
分散	0.91	0.77
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>16.22</b>	有意
P(T<=t)	1.8E-55	
t 境界値	1.96	

## A20-B20 「G A G A K U」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942

A20 5種類  
B20 5種類

自由度 16  
加2乗 39.70  
尤度比 41.70

ピアソンの一致係数 0.20 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	676	208	50	6	2	942
心地よさ度	73	202	435	178	54	942

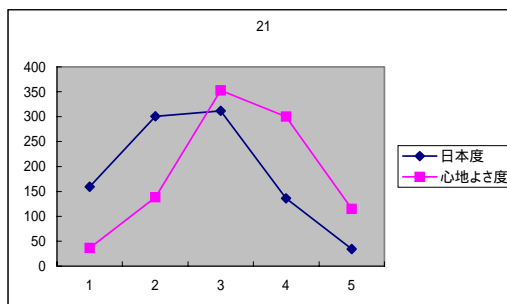
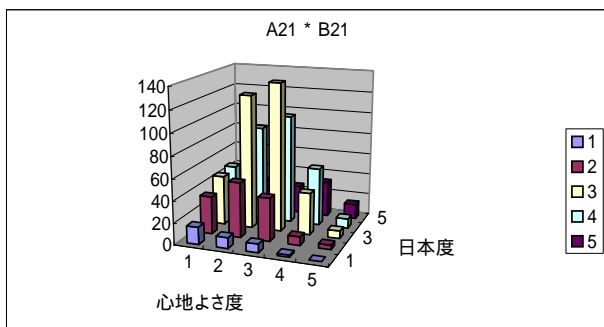
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A20	B20
平均	1.35	2.93
分散	0.40	0.94
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-41.906	有意
P(T<=t)	1E-271	
t 境界値	1.96	

## A21-B21 「ひこぼしの涙」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942

A21 5種類  
B21 5種類

自由度 16  
加2乗 99.77  
尤度比 86.91

ピアソンの一致係数 0.31 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	159	301	312	136	34	942
心地よさ度	36	138	353	300	115	942

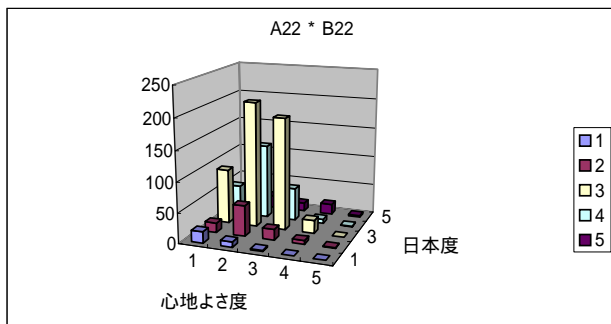
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A21	B21
平均	2.56	3.34
分散	1.09	0.99
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-16.595	有意
P(T<=t)	7.9E-58	
t 境界値	1.96	

## A22-B22 「星空につつまれて」

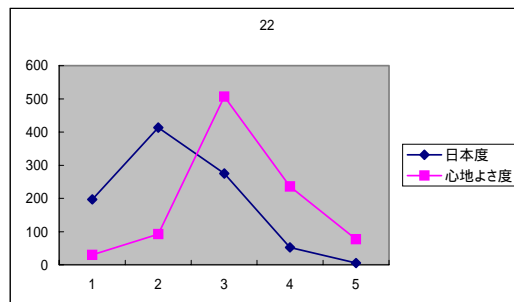
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A22 5種類  
B22 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 132.49  
尤度比 105.26

ピアソンの一致係数 0.35 相関；弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	197	413	275	52	5	942
心地よさ度	30	92	507	236	77	942

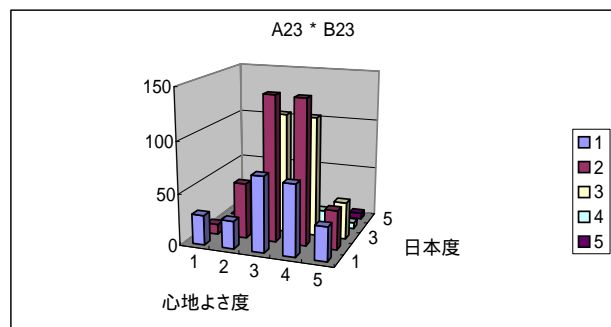
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A22	B22
平均	2.21	3.25
分散	0.73	0.74
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-26.451	有意
P(T<=t)	2E-131	
t 境界値	1.96	

## A23-B23 「虚空」

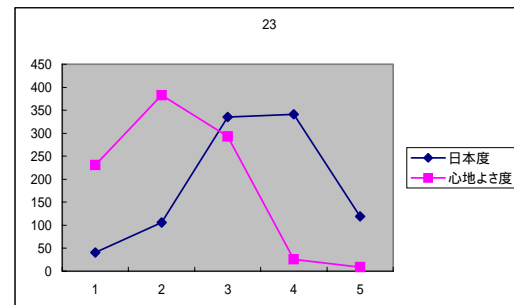
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A23 5種類  
B23 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 100.76  
尤度比 89.46

ピアソンの一致係数 0.31 相関；弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	41	106	335	341	119	942
心地よさ度	231	383	293	26	9	942

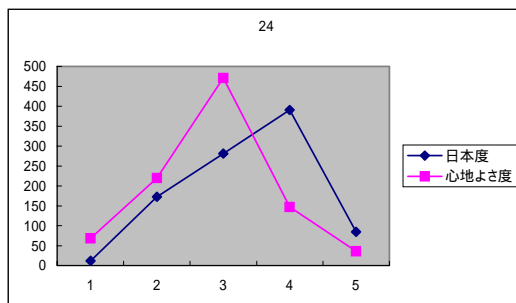
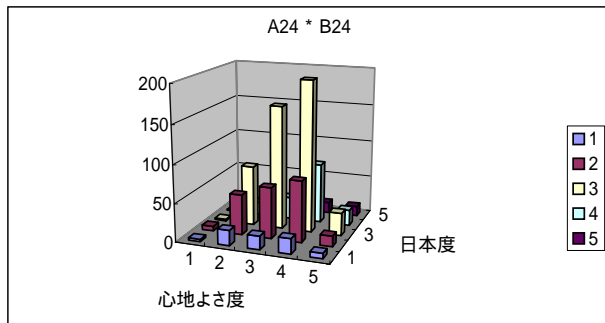
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A23	B23
平均	3.42	2.15
分散	0.98	0.73
観測数	942	942
自由度	1882	
t	29.67	有意
P(T<=t)	5E-159	
t 境界値	1.96	

## A24-B24 「田楽笛即興曲」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A24 5種類  
B24 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 86.44  
尤度比 73.04

ピアソンの一致係数 0.29 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	12	173	281	391	85	942
心地よさ度	68	220	471	147	36	942

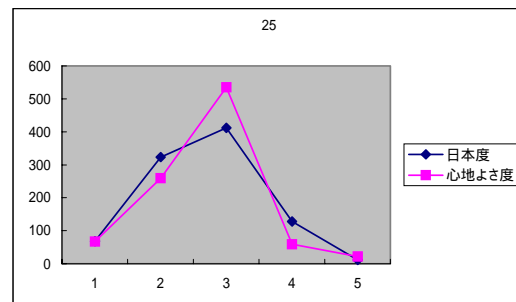
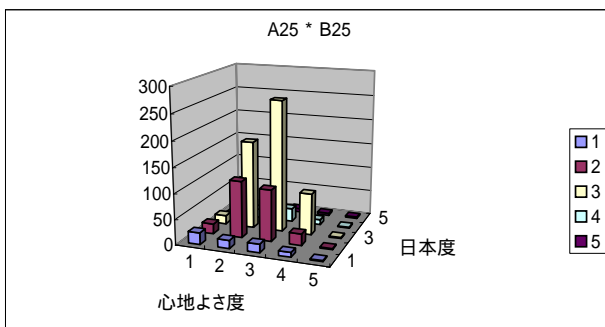
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A24	B24
平均	3.39	2.85
分散	0.86	0.81
観測数	942	942
自由度	1882	
t	12.6196	有意
P(T<=t)	4.2E-35	
t 境界値	1.96	

## A25-B25 「天海」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；なし



標本数 942  
A25 5種類  
B25 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 147.98  
尤度比 98.54

ピアソンの一致係数 0.37 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	68	323	412	128	11	942
心地よさ度	67	259	535	59	22	942

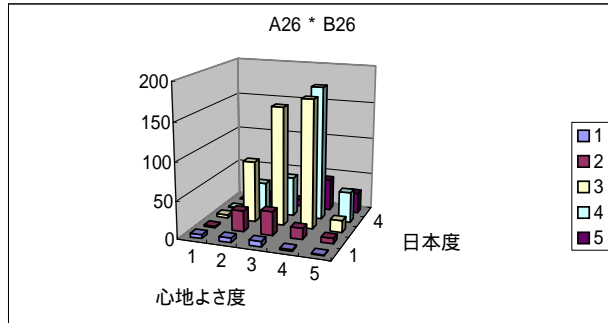
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A25	B25
平均	2.67	2.69
分散	0.71	0.62
観測数	942	942
自由度	1882	
t	-0.54	有意でない
P(T<=t)	0.59	
t 境界値	1.96	

## A26-B26 「祝宴」

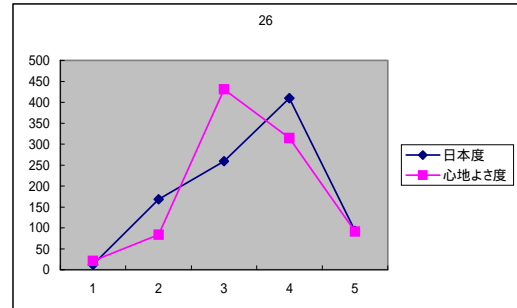
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；中

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；なし



標本数 942  
A26 5種類  
B26 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 240.89  
尤度比 176.63

ピアソンの一致係数 **0.45** 相関；中



	1	2	3	4	5	合計
日本度	12	168	259	410	93	942
心地よさ度	21	84	431	315	91	942

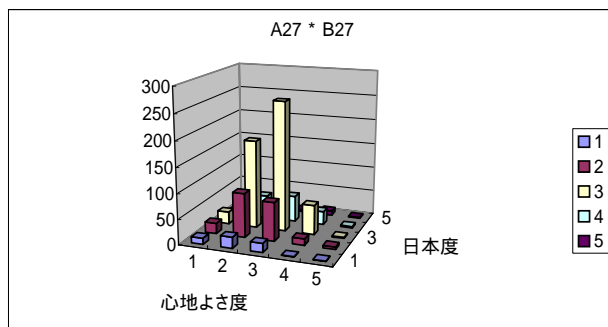
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A26	B26
平均	3.43	3.39
分散	0.88	0.74
観測数	942	942
自由度	1882	
t	0.84	有意でない
P(T<=t)	0.40	
t 境界値	1.96	

## A27-B27 「ZOOM」

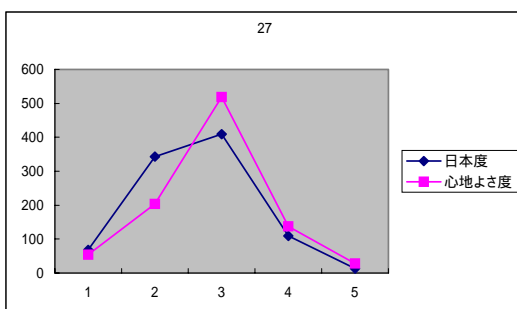
日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数 942  
A27 5種類  
B27 5種類  
自由度 16  
カイ2乗 82.59  
尤度比 75.06

ピアソンの一致係数 **0.28** 相関；弱



	1	2	3	4	5	合計
日本度	68	343	409	109	13	942
心地よさ度	54	204	519	137	28	942

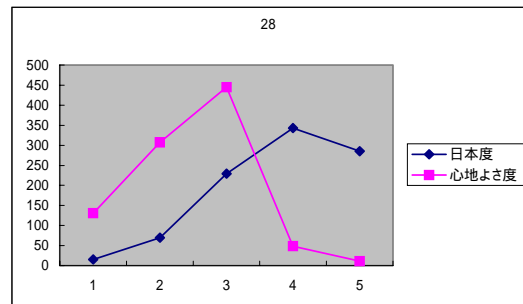
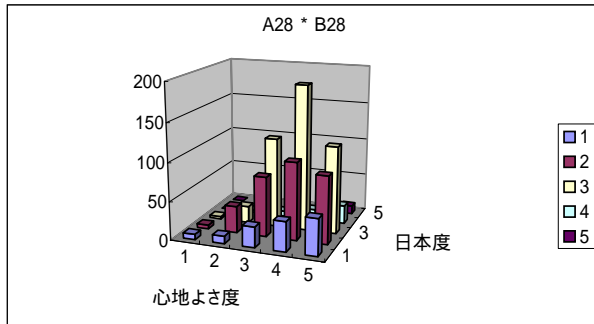
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A27	B27
平均	2.63	2.87
分散	0.69	0.69
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>-6.23</b>	有意
P(T<=t)	5.9E-10	
t 境界値	1.96	

## A28-B28 「ノヴェンバーステップス」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A28	5種類
B28	5種類
自由度	16
カイ2乗	73.02
尤度比	69.86

ピアソンの一致係数 0.27 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	15	70	229	343	285	942
心地よさ度	131	307	445	48	11	942

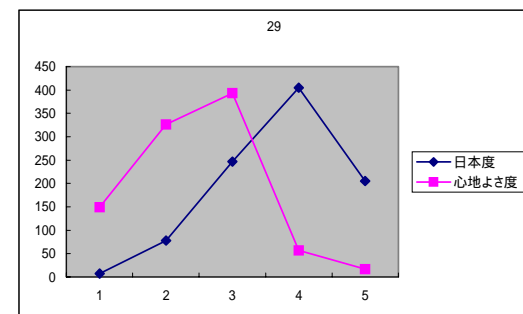
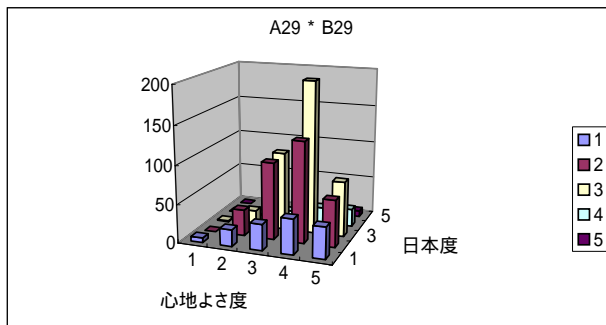
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A28	B28
平均	3.86	2.47
分散	0.97	0.70
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>33.09</b>	有意
P(T<=t)	1E-189	
t 境界値	1.96	

## A29-B29 「敦盛」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A29	5種類
B29	5種類
自由度	16
カイ2乗	83.11
尤度比	78.12

ピアソンの一致係数 0.28 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	7	78	247	405	205	942
心地よさ度	149	326	393	57	17	942

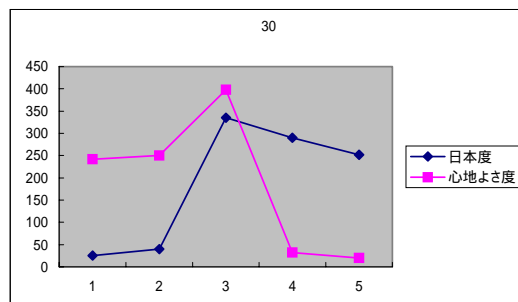
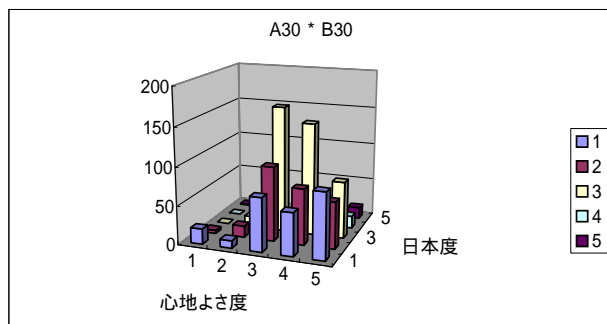
t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A29	B29
平均	3.77	2.43
分散	0.82	0.79
観測数	942	942
自由度	1882	
t	<b>32.18</b>	有意
P(T<=t)	2E-181	
t 境界値	1.96	

## A30-B30 「和琴による音階」

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との相関；弱

日本らしさを感じる度合い(A)と心地よさ(B)との平均値の有意差；有り



標本数	942
A30	5種類
B30	5種類
自由度	16
カイ2乗	115.49
尤度比	119.71

ピアソンの一致係数 0.33 相関；弱

	1	2	3	4	5	合計
日本度	25	40	335	290	252	942
心地よさ度	242	250	398	32	20	942

t-検定：等分散を仮定した2標本による検定

	A30	B30
平均	3.75	2.30
分散	0.97	0.92
観測数	942	942
自由度	1882	
t	32.39	有意
P(T<=t)	3E-183	
t 境界値	1.96	

相関 強・・・該当無し

中・・・3,11,12,26

弱・・・1,2,4,5,6,7,8,9,10,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,23,24,25,  
27,28,29,30 \*上記「中」の該当曲を除く全曲

無・・・該当無し

有意差あり・・・1,2,3,4,5,7,8,9,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,22,23,24,  
27,28,29,30 \*有意差なし、の6,15,25,26の4曲を除く全曲

以上の通り、全30曲中4曲に「中」程度の相関が見られ、残りの26曲は「弱」であり、強い相関は認められなかった。また、全30曲中26曲に有意差があり「日本度」「心地よさ度」の隔たりが認められ、よって、**仮説3は棄却**された。

心地よさは伝統そのものにあるのではなく、聴きやすさや馴染みやすさを考慮した洋の東西を問わない幅広い取り扱いの必要性を示唆するものである。これらをふまえ今後の選曲や編曲に臨みたい。



---

### (3) まとめと反省

最後に、検証の結果を整理する。

仮説 1 日本音楽に対する生徒の志向は、日常生活及び音楽環境やそれらに付随する意見と関連がある。

たいへん強い関連を示し、仮説 1 は立証された。

仮説 2 生徒がより日本らしさを感じるのは日本の伝統音楽だけとは限らない。

仮説 2 を立証できる十分な結果は得られなかった。

仮説 3 生徒がより日本らしさを感じる演奏は視聴して心地よい。

仮説 3 は棄却された。

仮説の形成、質問文作成、視聴曲選定、調査実施、仮説検証にあたっては、入念な準備・検討を経て取り組んだつもりでいたが、上記「仮説 2 の結果」に示した通り、熟慮・徹底さに欠け詰めが甘かったことが如実に表れてしまった。3 つの仮説には連なりがなく形成そのものに不自然さが残り、質問項目は、予備調査 GP 分析結果(p.23)で有意差のない 9 項目を本調査に全項目残したことで、視聴曲は予備調査を実施せず精選に欠けたことが加わり全体量としては大きすぎた。無回答などの欠損値が多かったのはそれが一因とも考えられる。視聴曲は特徴を顕著に示す部分を短時間におさめようとしすぎ設定に影響を及ぼし、検証に至っては可能な限り多くの分析を行えるだけの統計学を事前に学び十分な時間をかけるべきであったと痛感している。

このような状態にあっても、貴重なデータは様々な示唆を提供してくれる。高校生にとって、日本音楽は生活の中から生まれてくるもの、経験の中から自然と芽生えてくるものとは決して言い難い。かといって日本音楽の全てを拒絶しているわけではない。例えば演奏を聴いての心地よさは、視聴曲 1・2 曲目「春の海」において、箏・尺八による演奏がフルート・ハーブによる演奏を上回る数字が出ている<sup>39</sup>。また、関連の強かった祭好きな精神も選曲や演奏スタイルの工夫によって活かされるであろう。ほとんど未知である状態へ、敬遠する事なく心地よく受け入れられるような選曲及び演奏形態、編曲についてを、我々指導者は細やかな配慮・豊富なアイデアをもって成すべきである。西洋音楽で培われた知識や実技指導法・音楽観を十分いかして日本音楽指導の接点を模索し、専門家の指導を仰ぎつつ自身がその「通訳」となる事を目指して授業に臨む事によって「芸術の幅広い」活動を提供できるにちがいない。

---

<sup>39</sup> 両者の差は有意であった。t 分析結果は巻末 2-3 参照。

---

## 3 . 授業実践

### 箏を用いた授業

#### 【5】 目的

平成 15 年 4 月から実施された高等学校新指導要領には、音楽 の「内容の取り扱い」において「我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする」とある。そこで伝統的な和楽器として「箏」をとりあげ、和楽器を使用した授業の実践を通じて、日常触れることが少ない日本の伝統音楽を直接体験し、日本音楽理解への導入となるよう、授業を構築することを目的とする。

#### 【6】 方法と内容

##### ( 1 ) 実施校と人数

筆者の所属する埼玉県立鴻巣女子高等学校（現在は研修中）において、新課程平成 15 年度「音楽 」受講者全員を対象に実施した。人数内訳は、授業時に 2 クラスずつの合併となり、1 - 1・2 (31 名)、1 - 3・4 (20 名)、1 - 5・6 (20 名) の 3 講座となっている。

なお、指導計画 4 時間の内の 2 時間目 ( p.76-p.77 ) については、本調査協力校の兵庫県立夢野台高等学校の「音楽 」3 講座においても実施し、人数内訳は、1 - 1・2 (37 名)、1 - 3・4・5 (44 名)、1 - 6・7 (46 名) の 3 講座となっている。

##### ( 2 ) 期日と実施会場

期日は、平成 15 年 9 月 9 日(火)第 1 校時～同 17 日(水)第 6 校時までで、「音楽 」計 12 時間 ( 上記 3 講座 × 4 時間、本調査実施含む ) を用いて行った。

会場については各講座 4 時間のうち、1 時間目は平常使用している音楽室を使用し、あとの 3 時間は箏曲部部室 ( 合宿棟和室 ) を借用し実施した。1 時間目のみ音楽室を使用した理由は、本調査実施と紙箏作成のために机等の備品が必要だったからである。

---

なお、夢野台高等学校においては、平成 15 年 10 月 2 日(木)第 3 校時～同 3 日(金)第 5 校時までの「音楽」計 3 時間を同校音楽室にて行った。

### (3) 内容

和楽器の扱いは、その調達や技法指導の困難さを耳にすることが多い。そこで指導にあたって、次の 2 点に焦点を当て進めていくこととする。

(ア)受講人数に対して少ない楽器数の場合、各グループに 1 面の使用となる。今回、箏曲部の快諾により生徒用 6 面を拝借し、グループの人員配置は 31 名の講座で最大 6 名となる。本指導計画では、1 面合奏(1 面を複数名で同時演奏)を予定してないので、待機時間が大変多くなる計算である。この時間を有効に利用し、かつ実演時に役立つ方法について検討を重ねた。

(イ)今回扱う曲目は、八橋検校『六段の調』初段平調子(=以後「六段」)、宮沢和史『島唄』、A.メンケン『美女と野獣』の 3 曲である。とくに「六段」は著名な冒頭部に「引き色」が用いられ、曲を印象付けると共に箏独特の奏法と音色が使用される。この箏独特の奏法を味わうのに効果的な方法について検討した。

### (4) 内容の展開

#### (ア)簡易練習器「紙箏」作成

グループ活動における問題点の一つ、待機時間の有効利用、及び機会の少ない希少な実物体験(実演)時に役立つ方法として、簡易練習器「紙箏(かみごと)」<sup>40</sup>作成の検討を行った。

西洋楽器の器楽(鍵盤楽器)指導の中で、現在ではあまり例を見ないがピアノの学習指導例で待機中に紙鍵盤を用いることがある。白鍵黒鍵の「段差」はないものの運指の手立てには効を奏していると思われるが、箏については佐賀県でテキスト(B4 版=実物よりも縮小サイズ)に印刷されたページを素手でなぞる記事が発表されていた。これを参考に実物大(絃間サイズ)で試作してみたが、紙鍵盤と違い、どこの絃を弾いているかがよくわからず、他の方法を探らなければならないことが判明した。

---

<sup>40</sup> 筆者が命名した。

---

第一条件としては、やはり右手親指、人差し指、中指で絃を弾く際の「ひっかかり」感である。これがないと、空中を通過するだけに終わり絃と絃の間隔が全くつかめないからである。この「平面上ではない、立体的な構造」を考慮した、さらに第二条件でもある「金銭的に問題なく作成できる」簡易練習器の素材・部材となりそうな物を求めて、DIY センターや材木問屋、雑貨店、ホームセンター等を探し回ったが、該当する物はなかった。

次に廃品利用を考え、ペットボトルでの製作を試みるが立体感やひっかかり感はつかめるものの、切り口の処理が容易でなく、授業で作らせることを考えると加工の際の技術だけでなく、製作後の切り口未処理による怪我の憂慮が先行した。困ったあげく、失礼を承知で、遂には福山の和楽器職人（山田流箏）の方へ直接相談し良策を乞うが、昨今の日本音楽導入の件で全国の小中学校等をわたりあるく職人の方をしても、現時点において簡易練習器の類は全国的にも例を見ず、前出の佐賀県の事例ぐらいしか思い当たらないとのことであった。

再度、自作の道を省みて、実物の原寸を再確認するために絃間、甲から絃までの高さを物差しを使用せず（今回は物差しで採寸した）、B4 サイズの不要紙を用いて折り曲げながら採寸したところ、意外な発見に巡り会えたのである。『折るだけで可能?』の思いから、授業中に生徒が製作する前提で以下の条件を満たせるよう試行錯誤を重ねていった。

できるだけ作業が単純であること（折り紙としての折り方が難しくないことや、はさみ等器具の使用を最小限度に抑えること）

実物との大きさ（絃間と甲から絃までの高さ）が極めて近いこと

1回の使用で破損しないような適度な耐久性があること

高額な経費がかからないこと

これらの条件を元にいよいよ「紙箏」完成となる。 に関しては、山折り、谷折りをそれぞれ点線、実線で明記し、折っていく順に番号を付け、作業の手順が容易に解釈できるよう刷り込んだ。また、はさみの使用は作業工程上1回だけにとどめ、セロハンテープによる貼付け作業は15cm前後の長さが6本のみとした。 については、A4、A3、B5、B4と学校現場で調達容易なサイズの内紙の中から の条件（作業行程の簡略）とも関係するA3用紙が最適であった。 については、新聞の折込チラシで試作を続ける中、やはり厚手の

---

---

用紙が「ひっかかり感」をより強く感じさせることが実証されたが、印刷及び用紙代の事を考慮すると通常の中質紙または上質紙（いずれも再生紙を使用した）でも使用には耐えることがわかった。できれば上質紙の方がよい。

以上、完成した簡易練習器「紙箏」を授業で使用し効果的なグループ活動へと結び付けるよう試みたい。なお、「紙箏」はワードでは天地逆さ文字が使用できなかったので職場で一太郎にて作成・印刷した。実物を巻末資料 3-1 へ、また箏曲授業研究会での講習用テキストを同 3-2 へ載せる。

#### (1)簡易版との比較演奏

「六段」の「引き色」に始まる箏独特の奏法と音色 この特徴ある音楽を味わうために、導入曲として多用される「さくらさくら」をあえて使用せずいきなり「六段」をとりあげることにした。しかし、他にも「強押し」「弱押し」「かき爪」「わり爪」「後押し」等、多くの奏法を行うには困難が生ずることが予想される。そこで、奏法を簡略化した簡易版<sup>41</sup>を作成し、慣れたところで従来の奏法を行い、両者の比較から、箏独特の音色は奏法からも生まれることを発見させ、日本音楽導入への足がかりとしたい。

### 【3】授業の実際と考察

#### (1) 題材名

和楽器「箏」の体験（第1学年）

#### (2) 題材について

新学習指導要領音楽 の「内容の取り扱い」において「我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする」とある。そこで今回は和楽器「箏」を選び、その体験を通じて、日常触れることが少ない日本音楽に親しみがもてるよう授業を組み立てていく。少ない楽器数や時間でも、箏の持つ独特な音色の味わいや奏法をより多く体験できるよう工夫・配慮して進めたい。

#### (3) 指導目標

(ア) 箏の音色そのものを味わい、様々な奏法を用いての基本的な演奏ができるようにする。

---

<sup>41</sup> 六段・簡易版は巻末資料 3-3 参照

(イ) 箏の直接体験を通じて、日本音楽に興味・関心をもつようにする。

(ウ) 日本音楽と西洋音楽との接点・共通点の有無やそれぞれのよさについて再考させる。

(4) 教材

(ア) 八橋検校『六段の調』初段

(イ) 宮沢和史『島唄』

(ウ) メンケン『美女と野獣』

(5) 題材の指導計画及び指導の展開(全4時間)

時	主な活動 [ ]内は配当時間(分)	指導上の留意点
1	<p>・実態/意識調査(於;音楽室)。 [20]</p> <p>・箏の楽器説明と鑑賞実施。 [5]</p> <p>・折紙練習器『紙箏(かみごと)』制作。</p> <p>・紙箏使用の親指・人差し指・中指の基本動作及び平調子の説明。『六段』冒頭(12</p>	<p>・成績には一切関係ないが質問文の内容を読み間違えたり回答欄のずれ等が無い様、注意を促す。</p> <p>・琴との違いや楽器各部の名称・調弦(平調子)説明。調子はあえてピアノを用いて指示。さらに『六段の調』初段(以下『六段』)冒頭部をピアノ実演で紹介後、VTRによる『六段』の鑑賞。 *授業メモ記入(以下、 )</p> <p>・時間短縮のため貸借せずに済む様、はさみとセロハンテープは各自持参する旨、予め連絡しておく。</p> <p>・ここでもあえてピアノで弾きながら、紙箏上の指の動きと平調子を確認する。続いて『六段』縦譜配布、読み方説明の後、引き色・かき爪・</p>

時	主な活動 [ ]内は配当時間(分)	指導上の留意点
1	<p>拍 = 簡易版)の一斉練習。 [ 8 ]</p> <p>・ 次回のグループ提示及びグループ内番号決定(生徒に一人)の指示。 [ 2 ]</p>	<p>わり爪・後押しを除いた簡易版(ピアノの範奏も同様)で全員一斉に紙箏上で練習する。余裕があれば同じ部分をかき爪・わり爪のみ(右手のみで可能 = 紙箏の限界)入れて同様に練習する。なお、七弦(折り紙の山、尾根部分)のみマーキングしてもよいこととする。</p> <p>・ 使用可能な箏の面数分のグループを予め作る(人数は均等)。また可能であれば経験者を分配できるとよい。</p>
2	<p>・ 『六段』範奏(於; 箏曲部部屋) [ 3 ]</p> <p>・ 「い」「ろ」「は」各 2 班ずつ計 6 班の 1 及び 2 番の生徒が爪を選び、1 番の生徒は箏の右(龍頭)手前へ正座し、左斜め 45 度(時計の 10~11 時)の方を体ごと向く。基本姿勢が確認できたら全員で『六段』簡易版を演奏する。2 回繰り返したら 2 番の人と交代する。 [12]</p>	<p>・ 指定の場所へ着席(正座の極意も指示)した後、縦譜の見方を再確認してから鑑賞させる。</p> <p>・ ローテーションをスムーズに進行するため次に実演する人は予め前の人が演奏しているうちに適宜爪合わせを済ませる。正座する際は首だけでなく体ごと斜めに向ける。右の膝頭が「斗~巾」弦の柱の前に付く要領である。3 番以降の生徒は、前時に制作した紙箏で模擬演奏練習する。実物の箏で演奏する際は、龍額へ紙箏をのせ目安としてもよい。実物の箏の演奏を終えたらローテーションの指定位置へ移動しすぐ授業メモを記入する。</p>

時	主な活動 [ ]内は配当時間(分)	指導上の留意点
2	<p>・引き色・かき爪・わり爪・後押しを再度説明し、上記同様に進める。 [12]</p> <p>・オ九、オハ、ッ斗、ヲ斗の奏法を説明し、各班毎に担当部分の練習をする。 [20]</p> <p>・1回だけ各班1番の生徒によるリレー演奏を行う。時間に余裕があれば2番以降の生徒も行う。 [3]</p>	<p>・紙箏では左手に関わる奏法(引き色・後押し)が模倣できない難点がある。実物の演奏時に実感させる。また、実演後すぐに簡易版との違いをメモさせる。</p> <p>・強押しは1音上がるまでしっかり押さえる。押し後は指示(ハ)がない限り響きが消える数拍後まで押し続ける。すぐ離すと突き色(ッ)の様になるので注意する。</p> <p>・実演以外の生徒は紙箏を使用せず静かに鑑賞する。共通部分を全員で、続いて「い」「ろ」「は」の順でリレーしてゆく。次回はりレー実演しなかった生徒から始めることを指示しておく。</p>
3	<p>・各班毎に『六段』担当部分の練習(前回の復習)。 [15]</p> <p>・前回りレー実演しなかった生徒による演奏を行う。 [5]</p> <p>・音階の異なる他の曲を演奏するために、一三八の3弦を調弦する。柱を移動する際は、柱を倒すことの無い様に十分慎重に取り扱わせる。 [5]</p>	<p>・前回りレー実演しなかった生徒から始め、ローテーションをスムーズに行って一人当たりの練習時間を確保する。</p> <p>・実演以外の生徒は紙箏を使用せず静かに鑑賞する。</p> <p>・まず、三と八はそれぞれ半音下げる(左にずらす)。結果的に三は六の、八は斗の、各完全5度下となる。一は短3度高くする(右にずらす)。結果的に一は四の完全5度上となる。独特な調弦なので便宜上、「一三八(いざや)調子」と呼ぶこととする。</p>



時	主な活動 [ ]内は配当時間(分)	指導上の留意点
3	<p>・『島唄』の最後の部分(97拍～)を各班毎に練習する。 [20]</p> <p>・各班代表者による演奏。 [5]</p>	<p>・オ六は一(3 = 中指で弾く)でも演奏可能。押し手はオ斗だけで十分、と感じる生徒には勧めるとよい。逆に箏の独特な奏法で、という生徒にはオ六ハで挑戦させる。</p> <p>・実演以外の生徒は紙箏を使用せず静かに鑑賞する。</p>
4	<p>・前回実演しなかった生徒による『島唄』の部分演奏を行う。 [5]</p> <p>・『美女と野獣』の中間部分(65拍～116拍)を各班毎に練習する。 [20]</p> <p>・総ざらい 『美女と野獣』(部分) 『島唄』(部分) 平調子へ調弦 『六段』(リレー) [15]</p> <p>・まとめアンケート実施。 [5]</p>	<p>・実演以外の生徒は紙箏を使用せず静かに鑑賞する。</p> <p>・オ六は一(3 = 中指で)でも演奏可能。『島唄』同様、生徒各自に選択させる。</p> <p>・それぞれの曲を誰が演奏するか、各班毎に選出し、『美女と野獣』出演に決定した生徒はすぐに爪を用意する。これまでの鑑賞時同様、実演以外の生徒は紙箏を使用せず静かに鑑賞する。</p> <p>・最後に、4時の授業を終えての「アンケート記入」を行うが、毎回の「授業メモ」を参照する。</p>

## (6) 結果と考察

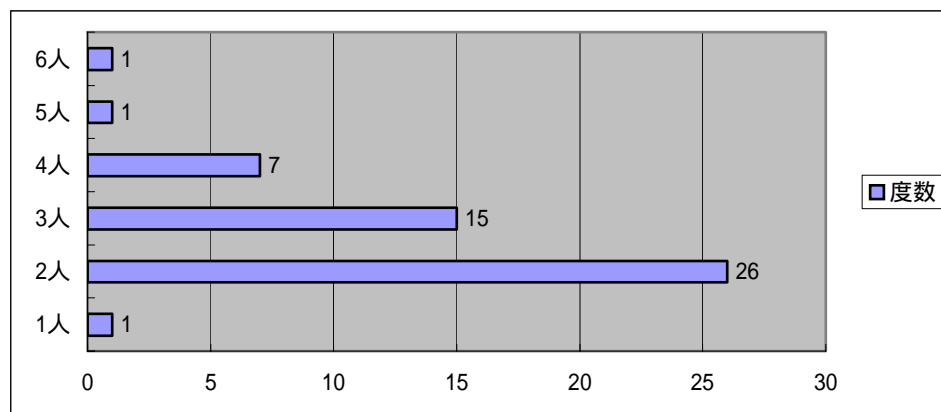
現任の音楽担当者が立てた年間計画（通常授業）への支障を最小限に抑えるため、1講座4時間を限度とみなし新課程1年次生全クラスをいただき、その中で本調査及び終了後調査記入も予定して臨んだ。1時間目のクラスは、文化祭準備の時期と重なり朝の打合せに時間を割かれる等、授業開始が大幅におくれたことに加え、本調査回答時間が予定を上回り、また紙箏作成時間にも大きな個人差が生じ、ローテーションに手間取る等、結局は実施計画の4分の3弱を消化するに至らなかった。従って、終了調査用紙<sup>42</sup>の記入もB01～B21までとC1～C5（自由記述）のみに限定し記入せざるを得ない結果となってしまった。突然のハプニングはいたしかたないが、時間配分の見通しの甘さを痛感した。調査時間を除いて6時間は必要である。しかし、そのような中でも、アンケートC項目の回答から、紙箏製作及びその利用と効果、簡易版と通常演奏との比較は今回の新たな試みとしてひとつの成果を生んだといえ、また今回の短い時間での箏体験は、少なからずも生徒に好印象を与えることができた、今後の日本音楽受け入れに貢献できたと、という手ごたえを読み取れた。そのC項目の集計結果をここに記す。

C1；箏の練習は、何人に一面が授業を受ける側の限界だと思うか。

2人が限界と判断した者が多い。

練習時における箏1面あたりの限界人数

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	合計
度数	1	26	15	7	1	1	51
比率	2.0%	51.0%	29.4%	13.7%	2.0%	2.0%	100.0%



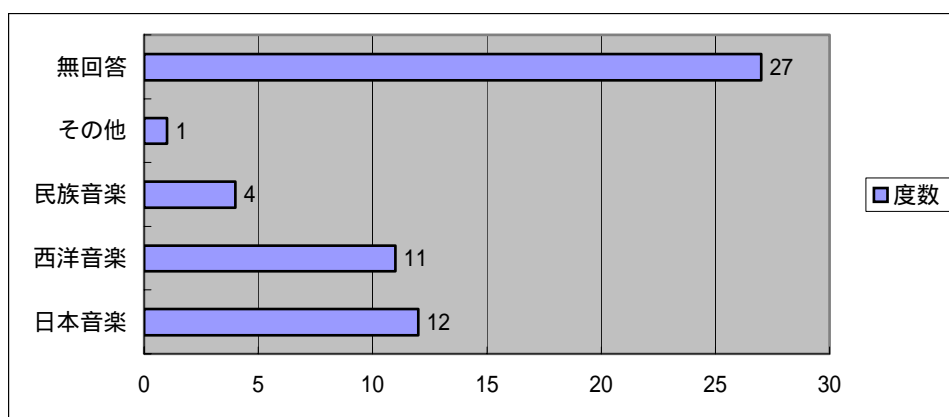
<sup>42</sup> 巻末資料 3-4 参照

C 3 ; 今後、さらに箏で演奏したい曲

C 5 の回答を優先するよう促したため無回答が多いが、回答のあった中では和・洋の比率が互角、即ち和楽器で西洋音楽を演奏したいという意見のあらわれである。

複数回答有り

	日本音楽	西洋音楽	民族音楽	その他	無回答	延合計
度数	12	11	4	1	27	55
比率	21.8%	20.0%	7.3%	1.8%	49.1%	100.0%

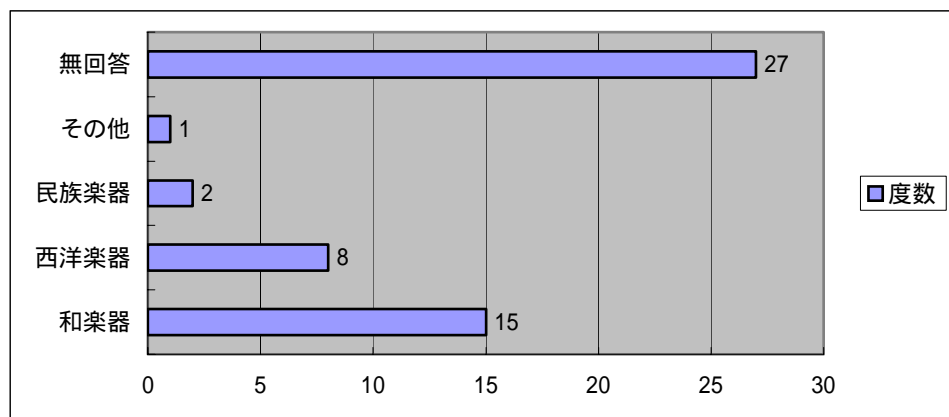


C 4 ; 今後、さらに箏以外で演奏したい楽器

無回答が多いものの、回答者の中では和楽器が多い。

複数回答有り

	和楽器	西洋楽器	民族楽器	その他	無回答	延合計
度数	15	8	2	1	27	53
比率	28.3%	15.1%	3.8%	1.9%	50.9%	100.0%



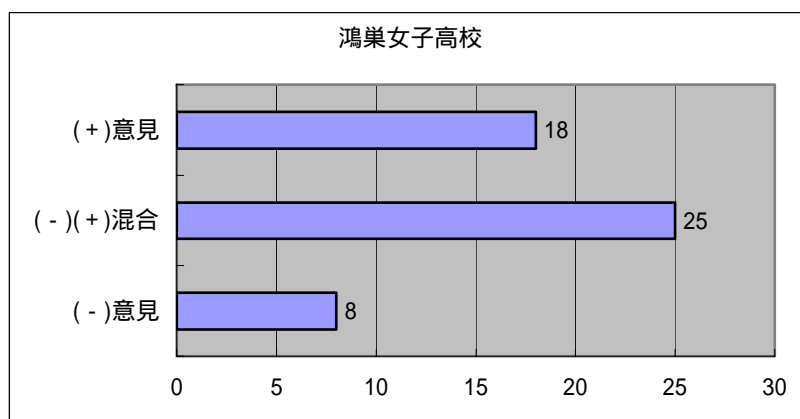
C 5 ; 自由回答「今回の授業についての感想」

(+)のみ、(-)と(+)混合、(-)のみ、の3種類にわけた。

混合意見のほとんどが、(+)に転じる言葉が多い。具体的な自由回答は、p.84-p.87 参照。なお、本調査実施校の兵庫県立三木北高等学校から、平成15年12月8日付で回答をいただいたので併せて表記する。

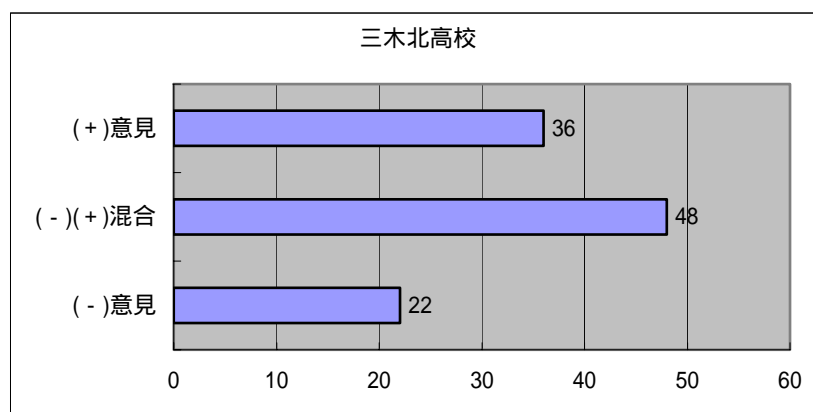
鴻巣女子高校

	(-)意見	(-)(+)混合	(+)意見	合計
度数	8	25	18	51
比率	15.7%	49.0%	35.3%	100.0%



三木北高校

	(-)意見	(-)(+)混合	(+)意見	合計
度数	22	48	36	106
比率	20.8%	45.3%	34.0%	100.0%

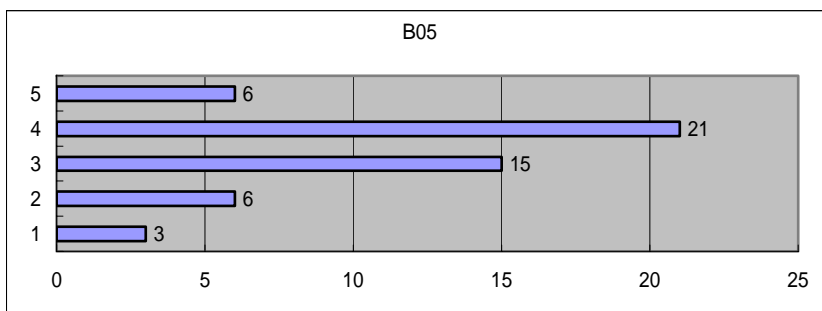


紙箏に関しては、「紙箏による右手親指 / 人差し指 / 中指の基本動作は感覚的に理解できた」( B05 ) に対して肯定的な意見が多かった。また、「紙箏による六段の簡易版による練習は、本演奏に役立った」( B09 ) に対しても高い傾向にある。

ただし、自由回答中には、「紙箏は音が出ないのでイメージがわからず、全然意味がなかった。」「紙箏自信が動き全く練習にならなかった。」( 文字・表現等、表記は一切無修正 ) のような指摘もあり、使用方法に改良の余地が残されており、今後改善へ向けさらなる検討が必要である。

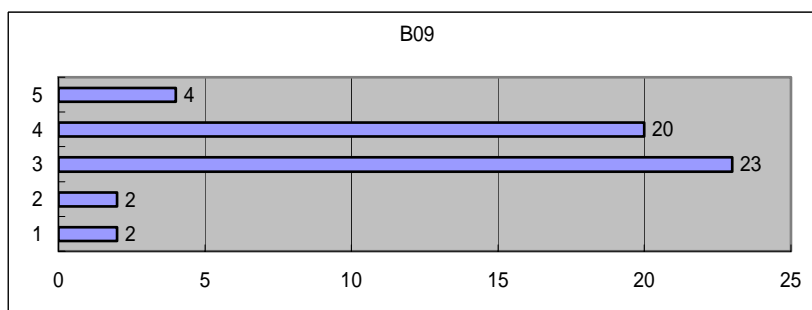
B05 「紙箏による右手親指 / 人差し指 / 中指の基本動作は感覚的に理解できた」

	1	2	3	4	5	合計
度数	3	6	15	21	6	51
比率	5.9%	11.8%	29.4%	41.2%	11.8%	100.0%



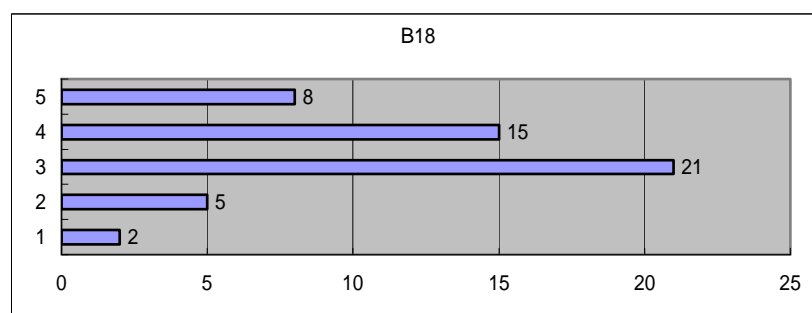
B09 「紙箏による六段の簡易版による練習は、本演奏に役立った」

	1	2	3	4	5	合計
度数	2	2	23	20	4	51
比率	3.9%	3.9%	45.1%	39.2%	7.8%	100.0%



次に、簡易版と従来の演奏法との比較であるが、「六段において、かき爪 / わり爪 / 引き色 / 後押しの奏法を加えた演奏と、簡易版との違いが理解できた」( B 18 ) に対しては、多数が肯定的であった。

	1	2	3	4	5	合計
度数	2	5	21	15	8	51
比率	3.9%	9.8%	41.2%	29.4%	15.7%	100.0%



簡易版の実践にあたっては、「六段」におけるかき爪、わり爪はさほど困難な奏法でもないことから、今後は最初から従来どおりの奏法で行うほうが良いと判断した。また、今回は模範演奏のみになってしまったが、ポピュラー曲や西洋の伝統音楽についてもレパートリーへ積極的に加えたい。

最後に、生徒たちから寄せられた自由回答の全文を載せる。調査の貴重なデータと共に、これらの言葉ひとつひとつをかみしめ、これからの現場へ十分活かしていけるよう、研究心を忘れることなく誠心誠意授業に臨み、生徒へと還元して行きたい。

鴻巣女子高等学校

(-)のみ

生田流はむずかしかった

なんかあんま面白くなかった。

もっとたくさんひきたかった。

部活では三角の爪だったから四角い爪はひきにくかった

つめがいたかった。むずかしい。

すごくムズかしかった。つめが痛かった。手が小さくて手がなかなか手がとどかなくて大変だった。

はじめて演奏してみても見た目よりずっと難しいことがわかった。

やっぱりピアノとはぜんぜんちがうから演奏するのがちょっと大変だった。

すごいわずかしくてよくわからなかった

リズムががくふをよんだだけではわからなくてむずかしかった。

(-)と(+)

最初はむずかしそうでもちょっと不安だったけどひいてみるととてもおもしろかった。またやってみたい。

難しかったけど楽しかった。もっともっと練習したかった。少しだけ弾けてうれしかったです。ありがとうございました。

むずかしくて大変だったけど新鮮な感じでとても楽しかったです

すすむのが早くてあまりおいつけませんでした。むずかしかったです。でもいい経験になりました

鳥唄、美女と野獣もひきたかった。楽しく授業ができた

ことはひいたことなかったのになかなかむずかしかった。でもとてもたのしくできた。

ことは難しかったです。指づかいがこまかかったです。でも楽しかった。

短い時間だったけど、けっこう上手に弾けるようになったと思います。

むずかしかったけど楽しくてよかった。またやりたい

あまり箏の体験できないのでおもしろかったです。ムズかしかったけどやれば楽しい。またやりたい。

箏はとてもむずかしかったけど楽しかった。1人で曲をひけるようになりたかった。

はじめ良くわからなくて...って感じだったけど以外に楽しかった。

ことはむずかしくて大変だった。でも弾けるとうれしかった。

初めてやってみて少しむずかしかったのですがたのしかったです。もしまたできる時間があればやりたいと思いました。

箏はすごくむずかしかった。でもなんとかできてよかったです。

けっこう難しかったけど、前よりは技術の方は理解できたと思います。

初めて弾いた箏はいいにむずかしかったけど、楽しく弾けて良かったです。

ちょっとむずかしかったけど、楽しかった。ひけるようになるとたのしい。

すごくたのしかったです。もっと時間があればいいと思う。六段の調をちゃんとさいごまでできるようにしたかった。

足がしびれて大変だったけど、おもしろかった。あまりうまくできなかったけど初めてひいたからすごくしんせんな感じがした。

意外と弾いてみるとむずかしくて、しかも楽譜も読みずらくて...でも今まで一度も弾いたことがなかったのでもいい経験になってよかった。

すごく楽しかった。もっと時間があればよいと思った。

楽しかった！けどけっこうむずかしかったし、あまりひけなかった。もう少し箏をやりたい。

箏をはじめてひいてみて、すごくむずかしいと思った。でも、とても楽しかった。もっともっと、やってみてほしいと思った。箏をひいてよかった。

そうぞうよりかんたんでたのしかったです。でもちょっとむずかしかった。

生まれてはじめて箏をひいたけどたのしかったです。もっと弾きたかった。いい体験が出来て良かったと思う。

ムズかしくてうまくできなかったけど、楽しかった。

ゆびがいたいけど、とても楽しくできた。もっと弾いてみたいと思った。

今回初めて箏をひいてみて少ししか出来なかったけど、とても楽しかったのでまたやってみてほしいと思いました

生田流はむずかしくて時間がかかっていたけど、楽しくてよかった。

---

### (+)のみ

とても楽しかった。普段、箏を弾くことがないのですごくいい経験になった。

わかりやすく楽しかった

はじめての体験で楽しくった

中学ではあまりえんそうすることができなかったの、とても楽しくできて良かったと思います。

日本のがっきにふれてよかったです。またきかいがあったらやりたいです。

たのしかった

けっこう楽しかった。またやってみたいです。

日頃さわることがないから新鮮だったし楽しかった。日本の文化に触れた感じがしました。

けっこうたのしかった。

以外とかんたんで、おもしろかった。音がキレイだった。

中学の時も授業でやったことがあったけど、押手などはやらなかったの、本格的で楽しかった。

少ない時間だったけど、初めて箏を学べてヨカッタ。どうも、お世話になりました。

あまりふだん「こと」をさわるきかいがなかったので実際にひけてよかった。

ことを引くのは初めてだったけど、たのしかった。また引きたいと思いました。

めったにできないことを4時間でできてよかった。

割と覚えやすくひくのも楽しかったと思う

中学の時に箏はやったことがあったけれど、その時よりもできるようになったのでよかったです。またやりたいです。

はじめて、ことをひいてみて、たのしかった。すごくいい音で日本っぽくてよかった。またひいてみたいと思った

ふだん、ふれることのできない楽器にふれることができてよかった。

私は(1週目)公欠であまりいかなかったんですけどけっこうおもしろかったです。ありがとうございました。

私はフルートをやっていますが箏もなかなかおもしろくてイイと思いました。いろいろなテクニックがあってすごいと思いました。

とても楽しかった。またいつかやってみたいとおもいました。

## 三木北高等学校

### (-)のみ

「六段」は難しかった。箏は大きくて家でできないの別の物がしたかった。

昔な感じがした。

弦が多く、縦譜も読みにくい。左手が加わると何も演奏できない。

思ったより難しくてリコーダーのように指が演奏をなかなか覚えられず苦戦した。

やるんだったらもう少し奥深く行きたかった。

**紙琴は音が出ないのでイメージがわからず、全然意味がなかった。**

思ったよりもとても難しかった。

難しかった。今までで一番難しかった。

時間がもう少し欲しい。4人に1面はさすがに無理だ。

とても難しく、あまり練習できず、うまくできなかった。

難しかった。もっと時間が欲しい。

難しくなかなか弾けなかった。どの弦が何番かつかみにくかった。

思っていたより難しくびっくりした。もう少し練習したかった。

難しく、番号も見にくかった。

初めて弾きました。見ていて簡単だと思ったが実際はとても難しかった。

難しかった。

他の楽器もしたい

難しく自分より人がうまく聞こえた。

なかなか順番が来ず、時間が少なく大変。

**紙琴自信が動き全く練習にならなかった。**

つかれた。

左手の使い方がとても難しかった。



---

## (-)と(+)

難しくあまり弾けなかった。「美女と野獣」「鳥唄」は堅苦しくなくて良かった。  
難しかったけど和楽器にふれる機会が少なかったのでもいい経験になった。  
楽しかった。見た目より難しかった。  
難しかったけど、それなりにきれいな音が出て楽しかった。  
夢中になれた。やりづらかった。もっと違う曲をやりたかった。  
初めてで、うまく弾けなかった。けど楽しかった。  
簡単そうに見えたが実際はスムーズに進まなかった。いい経験になった。  
正座はきつかった。曲になっていくと気持ちがよかった。いい経験をした。  
できる友達がいてなじみやすかった。リズム感がなくてためでした。うまくなる前に終わって残念だけど楽しかった。  
難しかったけどおもしろかった。  
とても難しかった。音色が独特だと思った。  
心配したがちゃんと弾けて楽しかった。  
初めてで難しく感じたが、おもしろかった。後少し時間が欲しい。  
難しかったけど楽しかった。でもまたしたいとは思わない。  
小学校の経験がありできたが、「六段」は難しい。もう少し簡単な曲がしたかった。  
弾いたのは初めてで、楽しかった。でもちょっと難しかった。  
思ったより難しく苦戦。体験できて良かった。  
簡単そうに見えたが難しい。特に左手の奏法が追いつかず。でももっとやりたかった。  
あまりふれることがなかったので良かった。もっと触っていたい。心残り、でも楽しかった。  
初めてで緊張。触れる機会が少ないので、演奏しているとおもしろい。  
初めてで難しい。弦が堅くいい音が出ない。とても短い。また演奏したい。  
簡単そうに見えたがいろいろな技法があって、ほんのすこしの音の違いがあった。親しみを持った。  
時間が少なかったけどこの授業はとても楽しかった。もっとやりたい。  
初めてでよかった。慣れてなく難しかったけど少しずつできるようになって嬉しい。  
最初なせ和楽器に親しみ持たないといけないのか疑問に思ったが、それほど悪い物ではなかった。  
不安があったが、知識が増え演奏できるようになり嬉しい。  
今までにないくらい楽しかった。もっといろいろな楽器がしたい。  
音色良かった。指使いが難しい。機会があればぜひ弾きたい。  
機会に恵まれ嬉しい。難しさが分かった。見ているのとは違い戸惑った。でも凄く楽しかった。  
不安だったが少し練習すれば弾けるように慣れた。思ったより楽しかった。  
初めてで、大変。いい経験できた。また演奏してみたい  
初めてで難しかったけどおもしろかったので良かった。  
強押しとかうまくいくと嬉しかった。もっと練習したかった。  
ビデオでは簡単そうだったが実際は上手にできなかつた。普段できない楽器ができて良かった。  
初めてで難しそうに思えたが、やってみるととても楽しかった。  
いい経験ができた。はじめは難しいと思ったが、次第に慣れ楽しんで演奏できて良かった。  
初めてでよい体験ができた。時間がちょっと少ないと思った。  
触ってみたいと思っていたので嬉しい。もっと長い時間かけてうまくなるまでやりたい。  
あまり充実せず。前から一度やりたかったのでよい機会だった。  
凄く楽しかったけど難しかった。またやりたいです。  
難しかったけどいい経験ができた。  
初めてで難しかったが、楽しくできた。  
短時間だが楽しめた。  
楽しかったけど、慣れるまで難しい。もっと時間があれば楽しめたのでは。残念。  
楽しかったが難しかった。爪が飛んで聞くから指が痛い。  
練習すれば簡単。あまり好きではない。自分のリズムと違うから。  
難しそうで嫌でしたが、鳥唄など知っている曲があったらリズムが分かりやりやすい。  
短時間で残念。もっと深く勉強したい。楽しかった。また機会があればやってみたい。

---

---

## (+)のみ

結構箏のことが分かった。少しでも弾けるようになって良かった。

今までにしたことがないことができて良かった。

日常生活であまり経験することのない体験ができて良かった。

軽い気持ちでしたが奏法を覚えていくうちに、だんだん楽しくなってきた。とてもいい体験だった。

結構楽しくできた。

楽譜が分かりやすかったので、ピアノよりも簡単に弾くことができた。

めったに弾けない箏に取り組めて良かった。楽しい授業でした。

今後経験できないので、箏の音色を直接聞いてよかった。分からないなりに楽しめた。

いい体験ができた。箏の音色の良さがわかってよかった。

自分とは無関係な物だと思っていたので、演奏できてとても嬉しく、楽しかった。また機会があればやってみたい。

なんかすごい。人気の曲でも弾けるからとても好きになれる気がする。もっと日本の楽器が人気になればいい。

小学校以来でとても楽しかった。毎年できたら凄いことだ。

有意義な時間。結構おもしろかった。

はじめてだったのでおもしろかった。

西洋楽器が多いので、和風の音が聞いて良かった。

友人と話し合いながら楽しくできた。

中学よりたくさん学べた。いろいろな発見や達成感を実感。無駄ではない。

とても勉強になる。好奇心があった。結構おもしろかった。

「和」が改めて好きになりました。

家でできないから、授業でできて良かった。

難しい楽器だと思いこんでいたが、じぶんでえんそうできて嬉しかった。なかなか楽しい。

一生涯経験しないと思っていた。日本の文化を少し理解できた気がする。

中学時代にしなかった左手の奏法があり、楽しめた。もう少しやりたい。

いろいろな奏法が学べて良かった。楽しかった。他の楽器も挑戦したい。

貴重な体験。またやりたい。

初めてでいい経験になった。またやってみたい。

授業がないと触れることがなかったのでいい経験になった。おもしろさも分かった。

中学時代は少ししかしなかったので、とても良い経験ができた。

いい経験になった

リコーダーより好きだ。

THE日本って感じが良かった。

今までしたことがなく楽しくできた。

なかなかおもしろかった。ピアノより簡単のような感じ

触れることのない楽器ができて良い経験

小学校以来で久々にできて良かった。

初めて弾く楽器は凄く楽しい。和楽器もいいと思った。

---

## 参考文献

---

## 参考文献

### 主要参考文献及び資料

#### 【文献】

- ・ 文部科学省，1999 『高等学校学習指導要領』
- ・ 望月由美子，2003 『音色特性を重視した日本音楽の指導』平成 14 年度上越教育大・大学院学校教育研究科学位論文
- ・ 中等科音楽教育研究会（編），2000 「第 3 部 資料編 . 音楽教育の歩み」『中等科音楽教育法 中学校・高等学校教員養成課程用』音楽之友社
- ・ 2001 年 4 月～2003 年 6 月 『教育音楽 中学高校版』音楽之友社（102 件の詳細は p.92）
- ・ 竹内好宏，2003 『インタラクティブ演奏ツールと邦楽演奏教育への応用』兵庫教育大学音楽教育学会平成 15 年度研究大会
- ・ 澤口俊之，1999 『幼児教育と脳』文藝春秋
- ・ R.T.C.プラット (Pratt.R.T.C.)，1987 「音楽的才能の遺伝」『音楽と脳 』サイエンス社
- ・ Freeman.J. 1974 “Musical and artistic talent in children.” Psychology of Music
- ・ 眞木内隆 / 細田恵美，2001 『日本の住宅・住環境における今後の課題』中央大学商学部 2001 年度卒業論文
- ・ 高嶋裕一，2003 『システム理論講義録第 12 章』岩手県立大学
- ・ 小邨孝明，1999 『クロス表集計マクロ』龍谷大学
- ・ 島崎篤子 / 加藤富美子，2001 『授業のための日本の音楽・世界の音楽』音楽之友社
- ・ 安藤正輝，1991 『生田流の箏曲』講談社
- ・ 山川直治，1990 『日本音楽の流れ』音楽之友社
- ・ 山川直治，1990 『邦楽』音楽之友社
- ・ 千葉優子，2000 『箏曲の歴史入門』音楽之友社
- ・ 東京芸術大学音楽取調係研究班（編），1976 『音楽教育成立への軌跡』音楽之友社
- ・ 中村洪介，1987 『西洋の音、日本の耳』春秋社
- ・ 田辺尚雄，1982 『邦楽用語辞典』東京堂出版
- ・ 田中正，1985 『新しい音楽教育研究法』音楽之友社
- ・ ロナルド・カバイエ (Roald Cavaye) / 西山志風，1989 『日本人の音楽教育』新潮選書
- ・ 小倉理三郎，1994 『日本音楽の源流を探る』芸術現代社

- 
- ・久保田敏子，1995『点描 日本音楽の世界』白水社
  - ・金子敦子，1995『大正琴の世界』音楽之友社
  - ・小山清茂 / 中西覚，1996『日本和声』音楽之友社
  - ・山口修 / 田中健次，2002『邦楽箏（こと）始め』カワイ楽譜
  - ・小野寺節子 / 斎藤紀子，1981『日本わらべ歌全集 8 埼玉神奈川のわらべ歌』柳原書店
  - ・小林責 / 油谷光雄，2000『狂言 ハンドブック改訂版』三省堂
  - ・高橋美樹，2000『郷土の音楽の教材化 地域に根ざした学校教育を目指して』『日本音楽教育学会編 音楽教育研究 2 音楽教育の実践的研究』音楽之友社
  - ・田上利光，2001『21世紀からの高校音楽授業』明治図書出版
  - ・竹内道敬，1996『日本音楽の基礎概念 日本音楽のなぜ』放送大学教育振興会
  - ・田中吉徳，1982『日本の音楽の指導法 表現と鑑賞との関連を図った実践』全音楽譜出版社
  - ・藤田洋，1997『歌舞伎 ハンドブック』三省堂
  - ・鈴木寛，2003『SMLの音楽科教育（ ）「できる」学習から「はまる」学習へ』実技教育研究第17号，兵庫教育大学学校教育学部附属実技教育研究指導センター
  - ・安藤正輝 / 他，2000『音楽教育フォーラムとワークショップ 記録』国際音楽の日 2000 IN 埼玉実行委員会
  - ・小野敬子，1999『日本の秋を表現しよう』全日本音楽教育研究会大会誌
  - ・寺澤千代子，1999『日本のひびきに親しもう』全日本音楽教育研究会大会誌
  - ・丸山妙子，1999『日本的感性を育てるための即興的活動』全日本音楽教育研究会大会誌
  - ・山内雅子，2001『日本の伝統音楽の指導』日本音楽教育学会シンポジウム関東例会誌  
《兵庫教育大学・卒業 / 学位論文》
  - ・森定満知子，1992『学位論文 感性に視点をのいた教材に関する研究』
  - ・前田圭子，1995『学位論文 音楽に対する情動的反応に関する研究』
  - ・佐藤大二，1996『学位論文 情動を喚起する認知的聴取と知覚的聴取の要因のちがいで』
  - ・橋本里美，1997『学位論文 音楽学習の妨げとなる要因の研究』
  - ・松阪育美，1999『卒業論文 音楽的経験が音楽行動に与える影響について』
  - ・名須川博，2003『学位論文 音楽における情動喚起と中学校音楽教育』

## 【教科書】

---

- 
- ・平成 15 年度版『新・高校生の音楽』音楽之友社
  - ・平成 15 年度版『Mousa 1』教育芸術社
  - ・平成 15 年度版『Tutti 1』教育出版

#### 【公開授業・報告資料・講演等】

- ・青木孝憲，1999『DTM を活用して「おはやし」をつくる』ローランド芸術文化振興財団職員室活用事例集 Vol.10
  - ・木村宏子，1999『「うしくび音頭」5年2組たんぼぼ学級バージョンをつくろう』
  - ・野尻あや子，1999『日本のふしに親しもう～DTMで「おはやし」づくり』
  - ・安立賢介，1999『総合学習に向けてマルチメディアを利用した音楽授業の実践研究』
  - ・有田伸 - 朗，2002『C A I コンピュータを活用した音楽科学習 自発的な学習を求めて<インターネットを活用した郷土の音楽>』
  - ・安藤純，2002『郷土の音楽に親しもう』
  - ・生野治穂，1998『第6回「音楽教育のためのメディア活用コンクール」<文部大臣奨励賞>受賞報告』ローランド芸術文化振興財団
  - ・池頭朋子，2001『特別寄稿』薩摩雅会会報第6号
  - ・石黒賢，1999『中学校1年 雅楽「越天楽」 - マルチメディアを活用したメディア・ミックスによる音楽科鑑賞授業 - 』ローランド芸術文化振興財団職員室活用事例集 Vol.10
  - ・市瀬香織『「手作り楽器～篠笛～自分の音発見」ときめく きらめく ひびきあう～生涯を支える音楽と感動的な出会いを求めて～』
  - ・梅田隆司『民衆音楽の歴史に触れてみよう 笛や太鼓などの和太鼓が民衆の生活の中で、どのように息づいてきたかを感じとろう』
  - ・階戸祥子『宮廷音楽の世界を味わってみよう！邦楽の源流ともいえる「雅楽」の魅力を感じ取り、悠久の響きに親しむ』
  - ・佐藤裕美『宮城県多賀城市立多賀城中学校音楽科学習指導案』1年2組学習指導案
  - ・清水秀晶，2002『下里ささら獅子舞の音楽を体験しよう』
  - ・直井洋子『「日本の音楽に親しもう」～生涯を支える音楽と感動的な出会いを求めて～』
  - ・村石紀代美，1998『栃木県大平町立大平南中学校音楽科研究授業』
  - ・永松一政 / 小林真理 / 倉田斉，2001『我が国の伝統音楽を題材とした学習指導の在り方』熊本県立教育センター音楽研究室
-

- 
- ・永山久夫，2002 講演『和食はこころを豊かにする』岐阜県県民文化ホール未来会館
  - ・多村正則，1999『建具の支援事業について』石川県田鶴浜町農村環境改善センター

#### 【新聞記事等】

- ・「伝統の篠笛に挑む」岩手日報，2000.7.9
- ・池辺晋一郎「子供たちに邦楽を、教育の新しい試み」読売新聞，2001.2.7
- ・「多難な“船出”、中学校で和楽器の実技」東京新聞，2002.1.5
- ・「教材向け開発で 明暗分ける邦楽器界」東京新聞，2002.1.12
- ・「総合的な学習・教育実践 阿波踊りを総合学習で舞う」現代教育新聞，2002.8.13
- ・小山観翁『歌舞伎はやさしい、おもしろい』東京新聞，2002.4.27
- ・「見て聴いて演じるためのお役立ち“伝統芸能グッズ”2種」東京新聞，2002.12.21
- ・「中学生を登場させて 團十郎と『勸進帳』を体験」東京新聞，2003.1.11
- ・「装いに広がる日本回帰・伝統の模様、素材ふんだんに」日本経済新聞，2003.1.18
- ・「やったあ!!『絵本太功記』 大人顔負け“名演技”」東京新聞，2003.2.1
- ・「家庭から寄贈された“休眠”三味線、箏が大活躍」東京新聞，2003.2.15
- ・明石要一「『今どきの子ども』アジア交流・表現できない日本らしさ」日本経済新聞，2003.2.15

---

## 謝 辞

2年間にわたり、日々あたたかく熱心にご指導いただきました鈴木寛先生に心から深く感謝いたします。鈴木先生の研究に臨む姿勢、豊富な発想、常に学生の身を案じ見守る寛容な心は、これから現場に復帰する自分にとって大変貴重なものでした。

また、日本音楽のご指導と共に貴重な資料を快く提供いただきました田中由美子先生、日頃の研究活動に対する的確なご助言をいただきました森川京子先生をはじめ芸術系音楽コースの諸先生方にも深くお礼申し上げます。

そして本研究をご支援ご協力くださいました兵庫県立夢野台高等学校の植村幸市先生をはじめとする兵庫県箏曲授業研究グループの同・星陵高等学校の正門邦子先生、同・明石南高等学校の山本めぐみ先生、同・明石北高等学校の竹谷将幸先生、同・三木北高等学校の戸塚綾子先生、同・加古川西高等学校の辛川和人先生、及び各校の調査にご協力いただいた生徒の皆さんに心から感謝いたします。

最後になりましたが、今回貴重な機会を与えていただきました、埼玉県教育委員会、新課程開始の年をはさむ時期にもかかわらず、私の研修を快諾していただきました埼玉県立鴻巣女子高等学校の山本公之校長先生、音楽担当の笹井奈穂美先生をはじめとする教職員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成 15 年 12 月 18 日

大串和久